



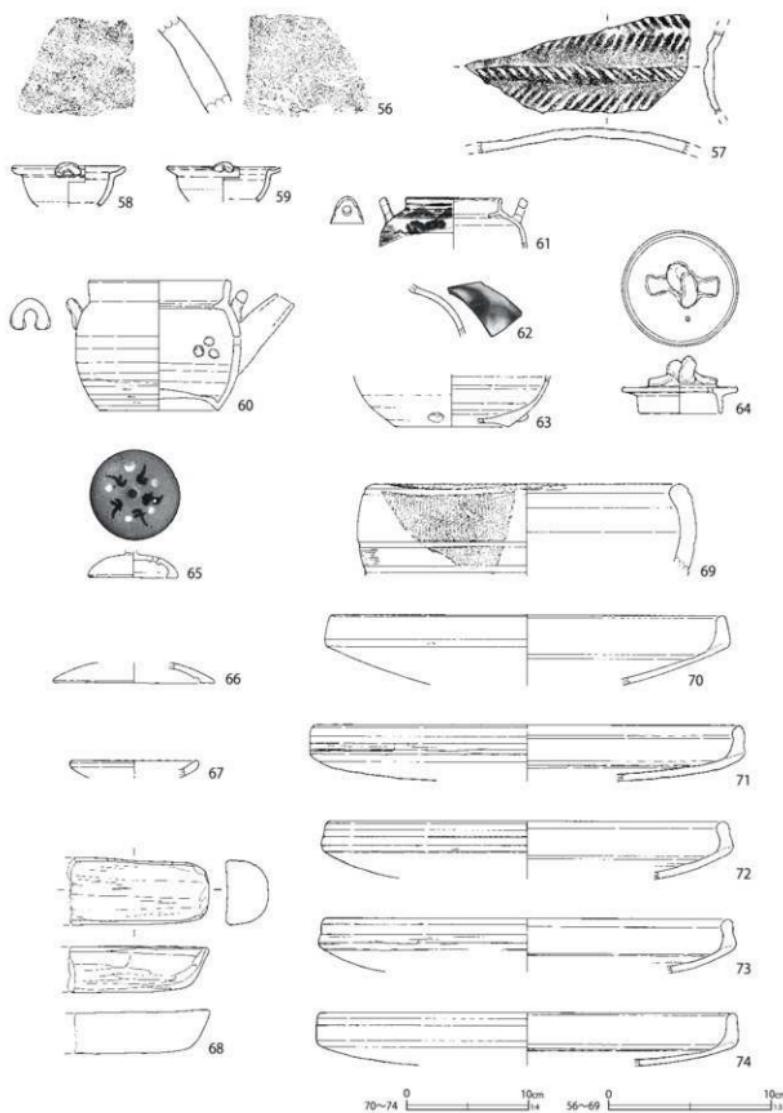
第389図 第226号土壤出土遺物（1）



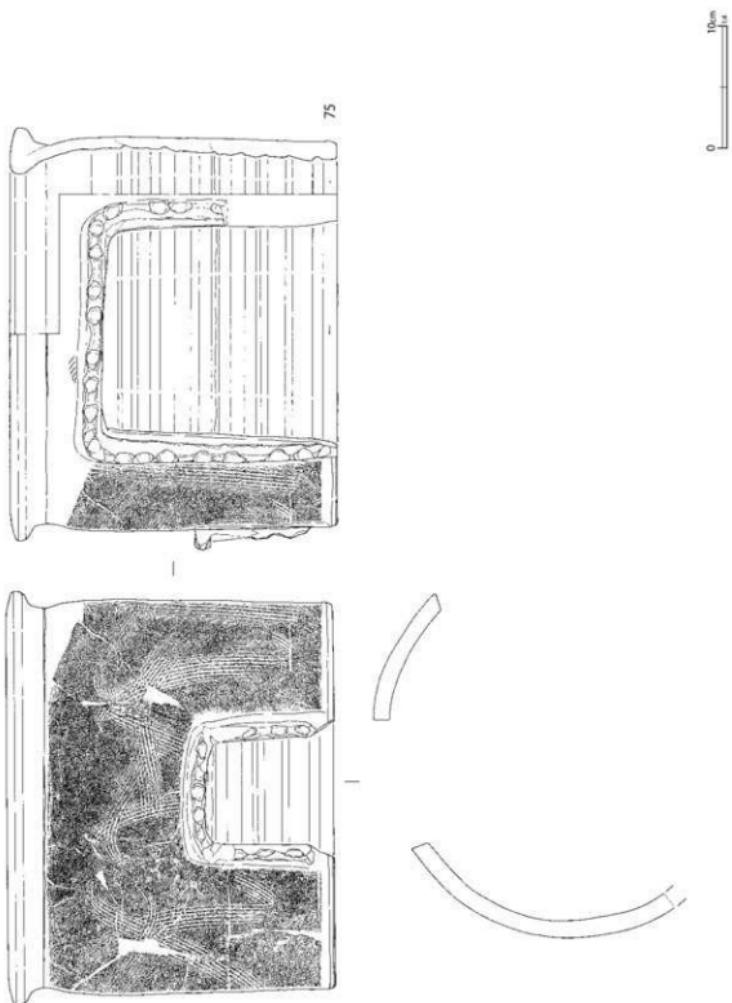
第390図 第226号土壤出土遺物（2）



第391図 第226号土壤出土遺物(3)



第392図 第226号土壤出土遺物（4）

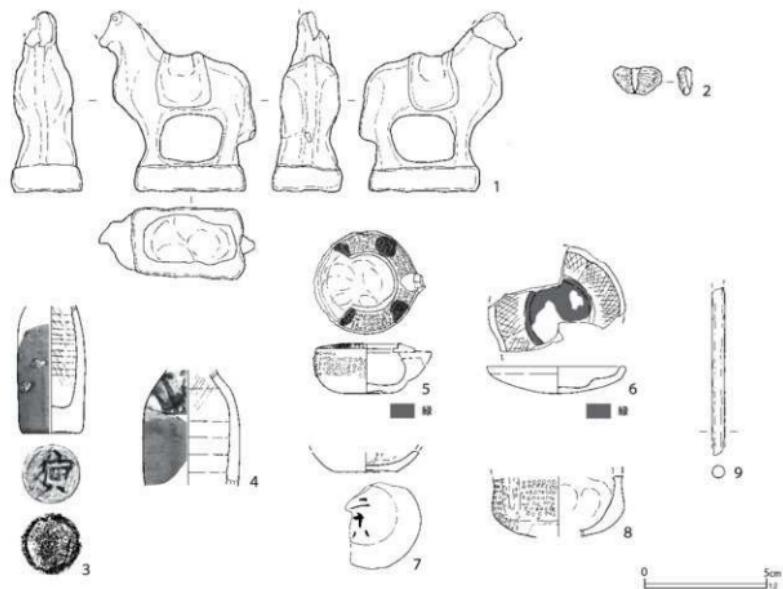


第393図 第226号土壤出土遺物(5)

第188表 第226号土壤出土遺物観察表(1)(第389~393図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	始土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	磁器	碗	10.5	6.0	3.9	-	70	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉・染付 (端反碗)	203-5
2	磁器	碗	10.6	5.9	4.1	-	100	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉・染付 (端反碗)	204-1
3	磁器	碗	10.5	6.0	4.2	-	60	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 (端反碗)	204-2
4	磁器	碗	(10.3)	6.1	4.3	-	55	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉・染付 焼き繙ぎ印 (白) 引く被附・煤付着 (端反碗)	204-3
5	磁器	碗	8.7	4.7	3.5	-	60	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 (端反碗) 同文別個体1あり	204-4
6	磁器	碗	(9.3)	[4.9]	(4.0)	-	35	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 (端反碗)	
7	磁器	碗	(8.8)	[3.8]	-	-	25	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面染付 (端反碗)	
8	磁器	蓋	3.3	2.8	8.9	-	85	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 (の蓋) 少量煤付着	204-5
9	磁器	蓋	3.7	2.9	9.3	-	80	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉・染付 (端反碗の蓋) 少量煤付着	204-6
10	磁器	蓋	4.1	2.9	10.0	-	70	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉・染付 (端反碗の蓋)	204-7
11	磁器	碗	(8.0)	6.1	4.4	-	45	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 (湯呑形碗)	204-8
12	磁器	碗	6.9	5.5	3.2	-	50	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 (湯呑形碗)	
13	磁器	碗	7.4	6.0	3.6	-	70	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 (湯呑形碗)	205-1
14	磁器	碗	7.1	6.1	3.7	-	70	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 (湯呑形碗) 少量煤付着	205-2
15	磁器	碗	(6.9)	6.1	(3.5)	-	40	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面木型打込施文・染付 (湯呑形碗) 少量煤付着 同文別個体1あり	
16	磁器	碗	6.8	5.8	3.4	-	95	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 (湯呑形碗)	205-3
17	磁器	碗	(8.4)	7.9	(5.0)	-	35	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉・染付 外面中位、輪状取り後に鉛絞・白盛繪付 少量煤付着	205-4
18	磁器	碗	(12.2)	5.2	(4.4)	-	15	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化バーペン染付	
19	磁器	猪口	(8.3)	5.8	(4.8)	-	45	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉 外面染付	205-5
20	磁器	杯	(6.7)	[3.1]	(2.6)	-	50	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉 外面染付	205-6
21	磁器	杯	(6.8)	3.3	2.8	-	30	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面染付	
22	磁器	杯	(7.4)	[1.6]	-	-	10	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉・酸化コバルト染付	
23	磁器	杯	(5.9)	2.6	(3.0)	-	20	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面染付 (卵殻手酒杯)	
24	磁器	杯	(6.9)	[3.0]	(2.6)	-	35	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付	205-7
25	磁器	杯	(5.7)	2.6	2.5	-	70	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面上繪付 (紫・緑・赤・黄) (卵殻手酒杯)	205-8
26	磁器	杯	-	[2.1]	2.8	-	60	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面上繪付 (青) 少量煤付着	206-1
27	磁器	杯	2.6	1.3	1.2	-	100	良好	白	SK226	肥前系 型成形 内外面施釉 紅杯	
28	磁器	皿	(14.5)	4.3	(8.8)	-	60	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉 内面染付 蛇の目状高台 焼き繙ぎ・焼き繙ぎ印 (赤) 少量煤付着	206-2
29	磁器	皿	15.2	4.2	9.0	-	80	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉 口紅 内面染付 蛇の目状高台 墨書き「田」	206-3
30	磁器	皿	(13.6)	3.4	9.1	-	65	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉・染付「口らや」蛇の目状高台	
31	磁器	皿	(11.8)	2.6	(6.8)	-	20	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面型押旋文	206-4
32	磁器	皿	(20.4)	3.3	(11.0)	-	30	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉 内面染付 煤付着	
33	磁器	鉢	(12.4)	[5.5]	-	-	25	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉・染付	
34	磁器	鉢	14.6	4.8	8.8	-	85	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉 内面染付 焼き繙ぎ (同文別個体1以上あり)	206-5
35	磁器	鉢	(14.0)	[2.4]	-	-	10	普通	白	SK226	肥前系 内外面施釉・染付	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考		図版
36	磁器	蓋物	(9.2)	6.9	(5.0)	-	35	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉 外面染付		
37	磁器	蓋	(7.0)	4.5	(14.2)	-	45	良好	白	SK226	肥前系 内外面施釉 外面染付 最大径 (15.5) cm	206-6	
38	磁器	御神酒 徳利	2.5	[2.9]	-	-	5	良好	白	SK226	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面染付		
39	陶器	鉢	12.0	5.0	10.9	-	75	良好	灰白	SK226	淡路窯平系 内外面黄色釉 口縁部碌軸流掛	206-7	
40	陶器	碗	10.9	6.2	4.6	K	50	良好	にぶい橙	SK226	内外面灰釉 外面白盛給付	206-8	
41	陶器	壺	5.9	3.5	2.9	I	95	良好	浅黄橙	SK226	瀬戸美濃系 内外面灰釉	207-1	
42	陶器	壺	5.8	3.3	3.0	E	60	良好	灰白	SK226	瀬戸美濃系 内外面灰釉	207-2	
43	陶器	壺	(4.0)	3.0	(1.8)	-	40	良好	灰白	SK226	京都信楽系 内外面透明釉	207-3	
44	陶器	壺	(6.0)	[2.9]	-	-	15	普通	白	SK226	内外面施釉・土白染付	207-4	
45	陶器	灯明皿	(10.0)	1.8	(5.0)	E	15	良好	褐灰	SK226	内面へ口縁部灰釉・外面上下位拭き取り 直重ね流き痕		
46	陶器	灯明皿	(7.6)	[1.4]	-	K	10	良好	灰白	SK226	大堀相馬系 内外面铁釉		
47	陶器	灯明皿	9.8	2.1	3.9	EH	80	良好	にぶい黄橙	SK226	瀬戸美濃系 内外面祐釉・外面下位拭き取り 直重ね流き痕 煙付着		
48	陶器	灯明皿	9.4	1.6	4.8	EI	95	良好	灰白	SK226	瀬戸美濃系 内外面祐釉・外面下位拭き取り 直重ね流き痕		
49	陶器	灯火具	(7.6)	4.5	5.2	IK	70	良好	灰白	SK226	京都信楽系 内外面透明釉		
50	陶器	灯火具	11.0	6.3	5.1	EI	70	良好	灰白	SK226	大堀相馬系 内外面铁釉	207-5	
51	陶器	香炉	(13.0)	4.9	8.4	E	50	良好	灰白	SK226	瀬戸美濃系 内面上位へ外面灰釉 底部墨書き		
52	陶器	顔入れ	(6.7)	3.5	5.9	EI	45	良好	灰白	SK226	瀬戸美濃系 内外面灰釉 底部墨書き「匂」	207-7	
53	陶器	水跡	(22.4)	17.3	12.2	EIK	60	良好	灰白	SK226	瀬戸美濃系 内外面灰釉 灰須絵・鉄絵	207-6	
54	陶器	燭台	-	[7.4]	-	K	10	良好	灰白	SK226	京都信楽系 外面透明釉・鉄絵(文字)	207-8	
55	陶器	甕	(14.2)	[9.6]	-	E	15	良好	灰白	SK226	瀬戸美濃系 内外面祐釉 外面铁釉流掛		
56	陶器	甕	-	[5.9]	-	DE	10	良好	明褐灰	SK226	常滑 中世		
57	陶器	不明	-	-	-	K	10	良好	灰白	SK226	内外面祐釉 施文(型押施文か) 縦 [6.0] cm 横 [13.8] cm	208-1	
58	陶器	鍋	(6.8)	[2.5]	-	EI	20	良好	にぶい橙	SK226	内外面祐釉 ミニチュアの可能性あり		
59	陶器	鍋	(6.8)	[2.5]	-	E	15	良好	明褐灰	SK226	内外面祐釉 ミニチュアの可能性あり		
60	陶器	土瓶	8.5	8.0	7.3	IK	70	普通	明赤褐	SK226	外面铁釉	208-2	
61	陶器	土瓶	(5.8)	[3.1]	-	I	5	普通	褐灰	SK226	外施釉・繪付(緑・黄・青・茶)	208-3	
62	陶器	土瓶	-	[3.1]	-	K	5	良好	灰白	SK226	大堀相馬系か 外面糠白釉 純釉部煤付着 63と同一個体	208-4	
63	陶器	土瓶	-	[3.1]	(7.0)	HIK	15	良好	灰白	SK226	大堀相馬系か 外面糠白釉 露部煤付着	208-4	
64	陶器	蓋	-	3.5	5.0	K	95	良好	灰白	SK226	大堀相馬系か 外面铁釉 一部純釉部流掛 穿孔1 最大径 7.1 cm	208-5	
65	陶器	蓋	-	[1.6]	5.4	EI	95	普通	赤褐	SK226	上面灰釉 鉄絵・白盛給付 穿孔1	208-6	
66	土師質土器	蓋	-	[1.2]	(9.9)	AI	10	普通	灰	SK226	(土板の蓋)	208-7	
67	瓦質土器	灯明皿	(7.6)	[1.0]	-	HIK	5	普通	にぶい赤褐	SK226	江戸在地系 内外面透明釉		
68	瓦質土器	十能	-	[2.5]	-	CHI	10	普通	断面:灰黄 表面:灰	SK226	穠土 側面ヘラナデ 長 [8.7] cm 幅 4.2 cm		
69	瓦質土器	火鉢	(19.0)	[5.6]	-	EH	10	良好	灰黄褐	SK226	外面トビガシナ状施文 一部ミガキ		
70	土師質土器	焙烙	(32.2)	[5.7]	-	CEHI	30	普通	灰白	SK226	砂目底 外面煤付着		
71	土師質土器	焙烙	(35.0)	[4.6]	(35.9)	CEHIK	20	普通	灰白	SK226	砂目底		
72	土師質土器	焙烙	(32.3)	[4.7]	(33.6)	CEI	15	普通	灰白	SK226	砂目底 外面少量煤付着 73と同一個体か		
73	土師質土器	焙烙	(33.0)	[4.4]	(33.7)	CEHI	10	普通	灰白	SK226	砂目底 内外面煤付着		
74	土師質土器	焙烙	(34.0)	[4.3]	(34.0)	CEI	15	普通	灰白	SK226	砂目底 外面煤付着		
75	瓦質土器	甕	29.4	26.9	(31.4)	CHI	65	普通	褐灰	SK226	外面描画施文 意2箇所あり 煙十 煤付着	208-8	



第394図 第226号土壤出土遺物(6)

第189表 第226号土壤出土遺物観察表(2)(第394図)

番号	種別	器種	幅/長	高さ	厚さ	重さ	粘土	焼成	色調	遺構	備考		図版
											左	右	
1	土製品	人形	2.9/ [6.5]	[7.3]	—	47.7	AK	良好	にぶい褐色	SK226	馬 左右合二枚型成形	中実 全面白化粧	244-14
2	土製品	泥面子	2.0/ 1.1	—	0.6	0.8	AH	良好	橙	SK226	一枚型成形	芥子面 蝶 在地系	244-15
番号	種別	器種	口径	器高	底径	重量	粘土	焼成	色調	遺構	備考		図版
3	施釉土器	ミニチュア	—	[4.7]	2.4	10.4	K	良好	橙	SK226	江戸在地系 德利 粘土粉質 外面施釉 彩色(白・黒・緑) 底部墨書「寅」	245-1	
4	施釉土器	ミニチュア	—	[5.2]	—	21.2	AH	良好	橙	SK226	江戸在地系 德利 底部糸切紋(右)	244-17	
5	施釉土器	ミニチュア	(2.5)	2.0	2.5	15.9	E	良好	灰黄	SK226	京都系 上下合二枚型成形 外面緑釉	244-16	
6	施釉土器	ミニチュア	(5.6)	1.1	—	6.5	BK	良好	橙	SK226	江戸在地系 型成形 内面陽刻文 白土・緑釉 内外面施釉	244-18	
7	施釉土器	ミニチュア	—	[0.8]	2.5	3.9	AK	普通	灰白	SK226	京都系 上下合二枚型成形 上位施釉 のぼ跡 底部墨書「二十八」	245-2	
8	施釉土器	ミニチュア	—	[2.4]	—	13.6	A	普通	橙	SK226	江戸在地系 上下合二枚型成形 外面型押 陽刻文 施釉	244-19	
9	硝子製品	筈	長 [6.9]	幅 0.5	厚 0.5	重さ 6.0				SK226	透明 中実		

23・25は口縁部が端反になる卵殻手酒杯で、25は上絵付けで「壽」文や宝珠等を描く。24は口縁部を輪花状に仕上げるものである。26は内面に青の上絵付けで、船が浮かぶ水辺の文を描く。煤の付着があるが被熱痕か否かは判断し難い。

28・29は肥前系磁器の皿で、内面に山水樓閣文を染付し、口縁部を輪花状に仕上げるものである。高い蛇の目状高台を有す。28は焼き継ぎが施される。29は口紅が施される。高台内に墨書で「庄」と書かれている。30は肥前系磁器の皿



第395図 第226号土壤出土遺物(7)

第190表 第226号土壤出土遺物観察表(3)(第395図)

番号	種別	器種	長さ	幅	径	胎土	焼成	色調	造構	備考	図版
1	瓦	軒棟瓦	[4.7]	[13.3]	6.4	AIK	良好	灰白	SK226	左巻き 胎土硬質	
2	瓦	軒棟瓦	[3.4]	[8.1]	-	AIK	良好	灰白	SK226	胎土硬質	
3	瓦	軒棟瓦	[11.3]	[11.2]	-	AIK	良好	灰	SK226	被熱・黒化 胎土硬質	

で、内面外周に「と／ら／屋」銘を染付するものとみられる。栗橋宿跡第6地点に所在した「とら屋運平」に関わる遺物である。31は瀬戸美濃系磁器の型押壽文皿である。32は肥前系磁器の端反の皿で、内面に山水樓閣文を染付する。全体に煤が付着するが、被熱によるものでは無く、廃棄後に付着したものであろう。33は肥前系磁器の鉢だが「大碗」としたほうが良いかも知れない。外面に山水樓閣文を染付する。34は肥前系磁器の八角形の鉢で、通常の八角鉢より器高は浅い。内面には精緻な山水樓閣文を描く。まったく同じサイズ・文様の鉢が、第105・121号土壤の火災廃棄遺物の中に複数認められる。35は鉢としたが器高が極めて浅く、蓋の可能性も否定できない。外面に雲竜文、内面口縁部に墨弾きで雲文を染付する。

37は肥前系磁器の蓋で、幅の広い環状のつまみを有す。外面には唐花文が染付される。

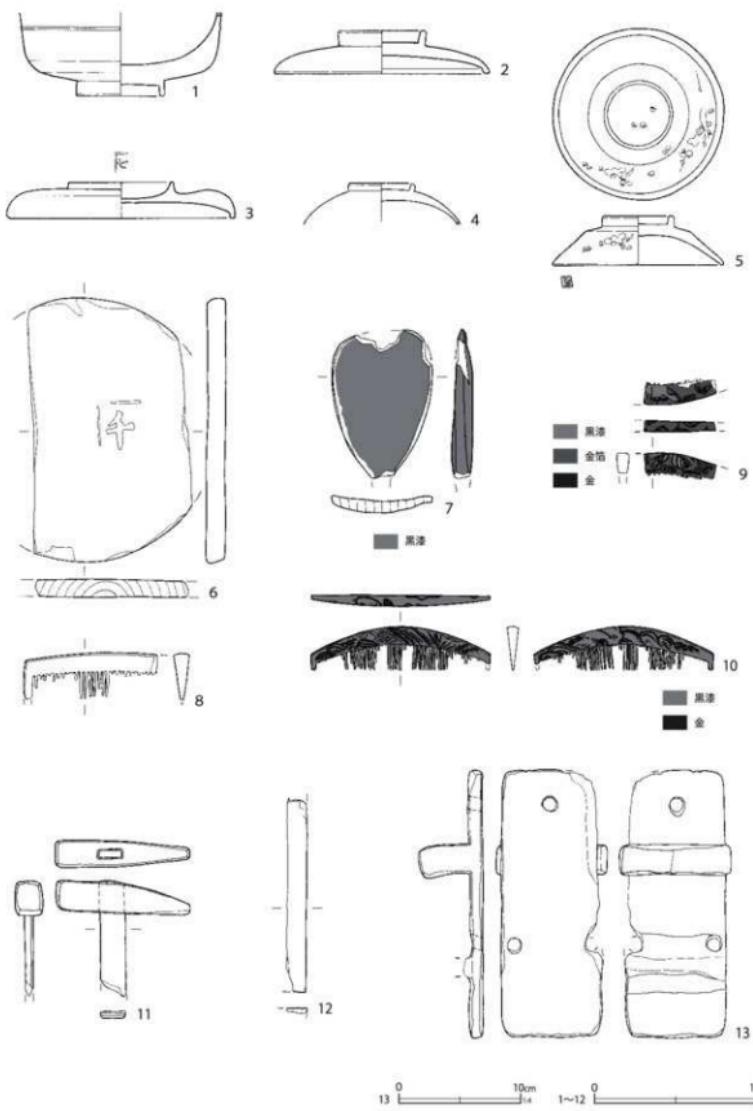
38は瀬戸美濃系陶器の徳利の口縁部で、御神酒徳利と思われる。外面に滲んだ染付が施される。39は淡路瓦平系陶器の鉢で、黄色の釉薬に、口縁部から緑釉を流し掛けしている。

40は陶器の碗で端反のものである。胎土は緻密・硬質で、良く焼き縮まって混入物はほとんど見られない。色調はぶいい橙色であるが、釉下部分は還元して灰色を呈する。釉薬は暗い深緑色

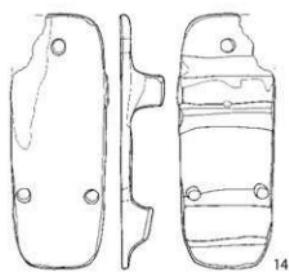
に発色する灰釉で、外面に白盛で絵付けがされる。高台は低くシャープで、高台内に渦巻き状のケズリを有す。

41・42は瀬戸美濃系陶器の坏で、灰釉を施す。40のほうが白色味の強い灰釉を用いる。いずれも高台端部はナデにより丸みを帯びる。43は京都信楽系陶器の小型の坏で、口縁部が端反になるものである。胎土は硬質・緻密で混入物はほぼ見られない。44は産地不明の陶器坏で、白土染付を施すものである。

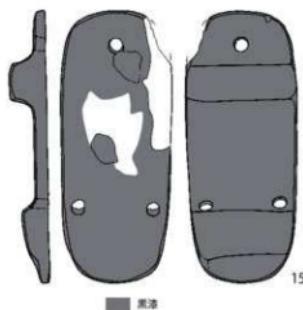
45～50までは陶器の灯火具類である。45は灯明皿(油皿)と思われる。内外面とも緑色味を帯びる灰白色の灰釉が施される。外面の釉薬の拭き取りや、環状重ね焼き痕の特徴は瀬戸美濃系陶器に準ずる。ただし、内面の重ね焼き痕が環状であるか否かは判断し難い。46は陶器の灯明皿(受皿)でやや小型のものに復元される。明るい褐色の鉄釉の色調や、胎土が50に準ずることから大堀相馬系陶器と判断した。47・48は瀬戸美濃系陶器の柿釉灯明皿(受皿)である。47はやや底部が厚いもので、柿釉はやや光沢がぶい。受部径は6.8cm前後、U字状の切れ込みを有す。外面の重ね焼き痕は径6.4cmである。内外面ともに多量の煤が付着する。48はやや扁平のもので、柿釉は薄いため光沢が鈍く、少しムラがある。受部は低く、径6.5cm、U字形の切り込みを有す。外



第396圖 第226號土壤出土遺物（8）

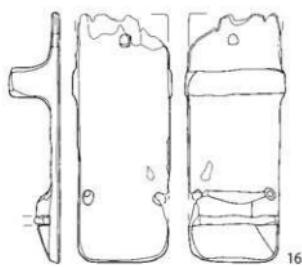


14

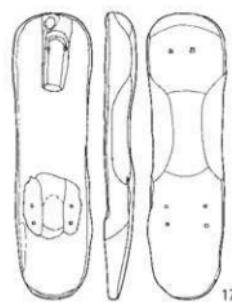


15

■ 黑漆



16

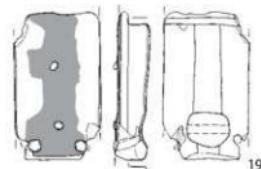


17



18

■ 黑漆



19

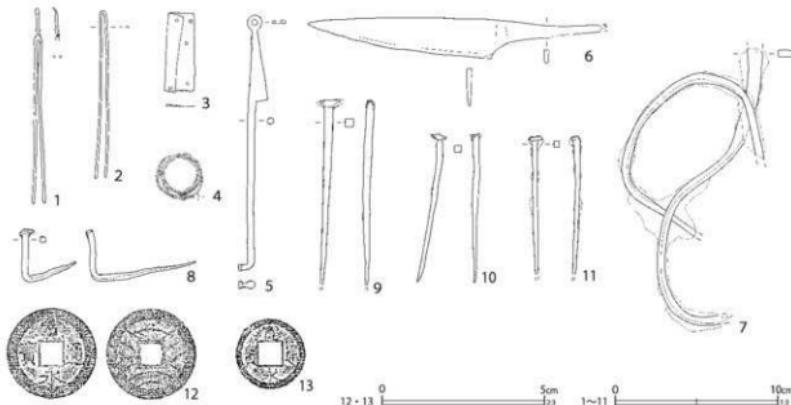
■ 黑漆

0 10cm
1cm

第 397 国 第 226 号土壤出土遺物 (9)

第191表 第226号土壤出土遺物観察表(4)(第396・397図)

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径/径	高さ	底径	木取り	遺構	備考	図版
1	木製品	漆桶	-	-	-	-	[5.1]	5.4	横木取り	SK226	内面赤漆 外面黒漆	
2	木製品	漆桶蓋	つまみ径 5.3	-	-	12.9	2.6	-	横木取り	SK226	外面黒漆	
3	木製品	漆桶蓋	つまみ径 6.0	-	-	14.0	1.8	-	板目	SK226	前面黒漆つまみ内に金で「匁」	
4	木製品	漆桶蓋	つまみ径 (3.9)	-	-	[2.5]	-	-	横木取り	SK226	外面黒漆	
5	木製品	漆桶蓋	つまみ径 4.2	-	-	10.3	3.0	-	横木取り	SK226	内面赤漆 金で「吉」外面黒漆 金で文様	
6	木製品	桶	-	-	1.2	15.9	-	-	板目	SK226	蓋 焼印「匁」	
7	木製品	杓子	[9.1]	6.2	1.3	-	-	-	板目	SK226	前面黒漆	
8	木製品	杓	[8.2]	[2.9]	0.9	-	-	-	板目	SK226		
9	木製品	杓	[1.4]	[4.4]	0.7	-	-	-	板目	SK226	黒の上に金 金で文様	
10	木製品	杓	11.0	2.7	0.7	-	-	-	板目	SK226	表・裏・背黒漆 金で鷲尾登り 表・裏の 側の上にけびき	
11	木製品	木槌	[7.0]	8.3	1.7	-	-	-	板目	SK226		
12	木製品	板	[11.9]	[1.2]	0.3	-	-	-	板目	SK226	墨書「角居七兵衛」他 第241表40	298-10
13	木製品	下駄	21.7	9.2	-	-	5.1	-	板目	SK226	連衝下駄	
14	木製品	下駄	20.8	7.7	-	-	3.6	-	板目	SK226	連衝下駄	
15	木製品	下駄	22.2	9.2	-	-	3.5	-	板目	SK226	陰卯下駄 中と側面、裏爪先に黒漆あり	
16	木製品	下駄	20.3	7.5	-	-	4.2	-	板目	SK226	後衝下駄	
17	木製品	下駄	23.5	6.0	-	-	2.5	-	板目	SK226	無眼下駄 木釘2孔4釘1	
18	木製品	下駄	20.7	7.7	-	-	[2.4]	-	板目	SK226	連衝下駄 表面黒漆	
19	木製品	下駄	[12.2]	7.2	-	-	[2.2]	-	板目	SK226	陰卯下駄 表面黒漆	



第398図 第226号土壤出土遺物(10)

面の重ね焼き痕は径6.6cmである。49は京都信楽系陶器の灯火具で脚付きの灯明皿である。受部径は4.2cmで、上端は釉剥ぎされる。50は大堀相馬系陶器の灯火具で、深い油溜めを有す。釉薬は明るい褐色である。内底面から体部にかけては溝巻

き状にロクロナデ、油溜り部の外表面はケズリ後に施釉、底部は回転ケズリ後に周囲を弱くナデ調整するらしい。

51は瀬戸美濃系陶器の香炉で、黄色味の強い灰釉が掛けられる。底部に墨書がある。52も瀬

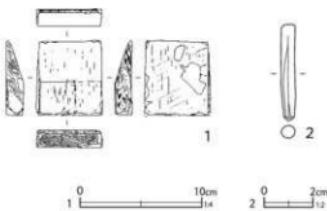
第192表 第226号土壤出土遺物観察表(5)(第398図)

番号	種別	器種	法量	遺構	備考	図版
1	銅製品	管	長さ12.0 厚さ0.1 重さ3.5	SK226	飾り欠失	274-1
2	銅製品	管	長さ10.3 幅0.5 厚さ0.1 重さ3.0	SK226		274-1
3	銅製品	不明	縦[4.9] 横1.9 厚さ0.05 重さ2.6	SK226	折れ曲がる 縁に小孔5	
4	銅製品	針金	径2.9 横2.9 厚さ0.1 重さ2.3	SK226	径約2cmの棒状品に括り付けられていた形状を残す	
5	鉄製品	鍵	長さ15.7 幅1.2 厚さ0.4 重さ19.1	SK226		
6	鉄製品	包丁	長さ[18.5] 刃長11.5 幅2.3 背幅0.3 重さ43.1	SK226		275-1
7	鉄製品	不明	縦[17.1] 横[8.8] 厚さ(0.4) 重さ109.1	SK226		
8	鉄製品	釘	長さ3.2 幅0.4 厚さ0.4 重さ5.4	SK226		
9	鉄製品	釘	長さ[11.3] 幅0.5 厚さ0.5 重さ14.3	SK226		
10	鉄製品	釘	長さ9.1 幅0.4 厚さ0.4 重さ5.3	SK226		
11	鉄製品	釘	長さ[8.5] 幅(0.3) 厚さ(0.4) 重さ3.9	SK226		
12	銅製品	鉢	径28.1 厚さ1.1 重さ4.2	SK226	寛永通寶(新) 11波	
13	銅製品	鉢	径21.8 厚さ1.0 重さ2.4	SK226	寛永通寶(新)	

戸美濃系陶器で、把手の欠失した鉢入れであろう。底部に墨書「匂」と龜と見られる絵が描かれる。53は瀬戸美濃系陶器の水甕で、内外面ともに灰釉、外面から内面上位には鉄絵・呉須絵で縦線を絵付けする。外面下位露胎部と高台内は鉄化粧するが、疊付部はこれを行わない。内底面に砂目の目跡が四箇所残るが、本来は五箇所あつたものであろう。54は京都信楽系陶器の爛徳利で、外面に鉄絵で文字を書くものらしい。55は瀬戸美濃系陶器の柿釉甕で、柿釉は光沢が強い。56は常滑焼の甕で、中世の所産と考えられる。57は产地不明、器種不明の陶器で、光沢の強い柿釉を施釉し、外面全面に型押施文される。胎土は硬質である。器形が想定できなかつたので、図示した上下も想定に過ぎない。58・59は小型の柿釉鍋(両手鍋)で、サイズからミニチュア・玩具類の可能性もある。

60~63は、陶器の土瓶である。60は鉄釉の土瓶で、胎土は煉瓦色を呈する。61は白土の上から彩色される土瓶である。62・63は同一個体の

土瓶片で、外面に糠白釉が掛けられ、上部の破片には緑釉が流し掛けされる。二彩釉であったことが分かる。胎土は灰白色で緻密である。大堀相馬系陶器の可能性が考えられる。64・65は陶器の蓋である。64は土瓶の蓋で明るい褐色の鉄釉が施され、紐をアレンジしたつまみの部分に青緑釉が流し掛けされる。胎土や釉薬から、大堀相馬系陶器の可能性が高い。65も断面がドーム形を呈する土瓶蓋と思われる。内面露胎部の胎土は赤褐色だが、釉下で還元している部分は暗灰色である。釉薬は鼠色に発色し、白盛・鉄絵で絵付け



第399図 第226号土壤出土遺物(11)

第193表 第226号土壤出土遺物観察表(6)(第399図)

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	重さ	石材	遺構	備考	図版
1	石製品	砥石	6.1	5.4	1.4	82.8	真岩	SK226	側縁部ノコギリ痕 表刃物痕 砥面2	283-2
2	石製品	石斧	3.9	径0.5	2.7	滑石	SK226	白色不透明		

される。つまみは欠失する。66は土器の土瓶蓋で、胎土に雲母が含まれる。施釉されず、上面は丁寧なナデが施される。

67は江戸在地系土器の灯明皿で、透明釉が施された受皿である。脚が付く可能性もある。68は十能の把手で、上面は強いナデが施され、工具ナデの可能性がある。側面は粗くミガキが施される。69は瓦質土器の丸火鉢で、口縁部と外面の横区画内はミガキが施され、トビガンナ状の施文がみられる。

70～74は、土師質土器の焙烙である。いずれも在地系の土器であるが、70は底部が薄く、底面の細かい砂目痕が弱くナデ消しされるなど、特徴的である。71～74は厚手の焙烙で、栗柄宿跡では一般的に見られるものである。75は瓦質土器の甌で、正面の窓とは別に、側面側にも小型の窓が付くものである。窓の周囲は、指圧で凹凸を加えた隆起が巡り、体部外面には櫛歯状文が施される。

本跡から出土した陶磁器は、全体的に栗橋8期頃の様相を示している。磁器の碗類では湯呑形碗が主体で、次いで端反碗が多い。全体的な様相から、18・22などは後世の混在と判断される。

第394図は土製品と硝子製品である。1は馬を模した土製品で、左右型合せ成形である。全体に白色の塗布物が認められる。2は土製品の泥面で、蝶を模したものである。3～8は土製品のミニチュアである。3・4は爛徳利を模したもので、透明釉の上から白土・鉄絵・緑釉等で絵付けを行う。3は底部糸切後に墨書（「寅」か）が認められる。いずれも江戸在地系である。5は鏡子の模倣で透明釉に緑釉を散らす。京都系である。6は皿で口唇部に白土、内底面は白土上から緑釉が施される。江戸在地系である。7は京都系の器物で、上下型合せの部分で欠損・下部のみが遺存する。底部に「二十八」の墨書がある。8は何らかの器物であろうか。平面形は四隅が窪んで花

形、上下型合せの部分で欠損して下側のみの遺存である。表面には柚子肌状の細かい凸凹があり、透明釉は底部には施釉しない。江戸在地系である。9は硝子製の笄である。

第395図1～3は出土した瓦で、軒棟瓦を示した。

第396・397図は木製品である。1は漆椀で、体部中位に線状の装飾を施す。2～5は漆椀蓋である。3は肩部が張る器形である。つまみ内は擂鉢状であり、金で「匠」の文字が書かれる。5は外面に丸みがなく、口縁部に向かって直線的に開く器形である。内面は赤漆塗りで、金で「吉」の文字が書かれる。8～10は櫛である。9・10は漆塗りで、全面に文様を施す。11は木桶である。柄の厚さは0.5cmほどと薄く、工具としては華奢なつくりである。19は陰卯下駄である。台には表が付けられていたと考えられ、鋲が四箇所残存する。

第398図1～11は金属製品である。1・2は銅製の簪、3は折れ曲がって潰れた状態の銅製品であるが用途は不明である。4は銅製の針金、5は鉄製品の鍵である。6は鉄製の包丁、7は用途不明の鉄製品である。8～11は鉄釘、12・13は寛永通寶である。

第399図1は頁岩製の砥石で、再加工されて短くなっているものであろう。表面側には刃ならし痕状の深い傷が認められる。側面はノコギリ状工具痕がみられる。2は石筆で、石材は白色不透明である。使用部分は先細りに削られている。上端は欠損のようだが、周囲を僅かに使用している。

陶磁器（第389～393図）のうち、11の磁器湯呑形碗や34の磁器八角鉢は、第7区画の第105・121号土壤の被熱遺物に同文・同形のものが認められる。しかし、本跡から出土したものに被熱は認められない。29・52の陶磁器や第396図3の漆器に書かれた「匠」の文字は、第7区画の「旅籠屋 七兵衛」の店印である。従って、本跡の出

土遺物の一部が、第7区画の居住者・七兵衛と関連する可能性が高い。本跡は、第7区画第105・121号土壙に関わる火災時期より確実に降る時期であり、19世紀第II四半期の火災を免れた遺物が、伝世して投棄された可能性が高い。

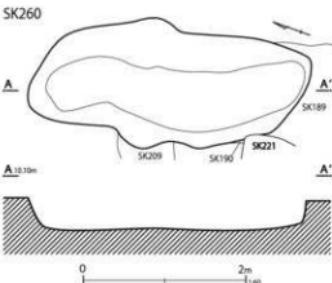
第260号土壙（第400～412図）

区画中央部より西側、E 7-I 5グリッドに位置する。土壙が密集する範囲であり、第189・190・209・221号土壙と重複している。遺構の新旧関係や土層については調査時の記録が無いが、検出レベルの差から第189・190号土壙（栗橋9期）より本跡の方が古いとみられる。長軸3.5m、短軸1.55m軸の不整形の土壙である。

なお、本跡は第一次調査で上面の掘削・調査を行った。その後、第二次調査の精査によって、完掘しきっていないと判断され、再度下層の調査が行われている。遺物の様相を確認してみると、第一次調査の出土陶磁器の方が明らかに新しく、結果的には、下層と上層は別の遺構を掘削した可能性が高い。遺構図も掘り上がりの形状が記録されているのみである。これは、下層側として扱った部分の遺構と考えられる。以下には、主に第二次調査で扱った下層の資料を中心に扱う。

第401～403図には出土した陶磁器を示した。

1は肥前系磁器の小丸碗で、やや大振りである。外面上位には、斜格子・市松文様を染付する。2・3は肥前系磁器の筒形碗である。4は肥前系磁器の端反碗で、一部に染付を施した後、赤などで色絵が施される。5・6も肥前系磁器の端反碗で、比較的小型の物である。5に焼き継ぎ痕が認められる。7は瀬戸美濃系磁器の端反碗で、小型のものである。外面に山水樓閣文を染付する。口縁部の反りはやや大きいが、体部下位が特に厚くなる。8・9の端反碗にも焼き継ぎ痕が認められる。8は肥前系磁器で、「福／壽」文などを染付する。焼き継ぎ印は「ト六六」であろうか。9は瀬戸美濃系磁器で、内外面に花文の染付



第400図 第260号土壙

を散らす。焼き継ぎ印は消えて判読し難いが、「ト四八」であろうか。

10・11は碗蓋である。10は肥前系磁器の丸碗蓋で、細い線画で花文や、丸枠内に水辺の景色を染付する。11は瀬戸美濃系磁器の端反碗蓋で、完形である。全面に縦格子状に染付を施す。

12は肥前系磁器碗の底部で、端反碗の底部であろうか。焼き継ぎ印は一部消えて読み難いが、「ト十二」「口ハ」（ないし「口八」）であろうか。13～15は瀬戸美濃系磁器の湯呑形碗である。13は、変形の蕉文を対向して二単位染付する。釉薬は白っぽい不透明色、呉須の発色も悪い。14は、草花文を三単位染付する。15は輪違文を染付するもので、厚手だが、底部は極めて薄い。

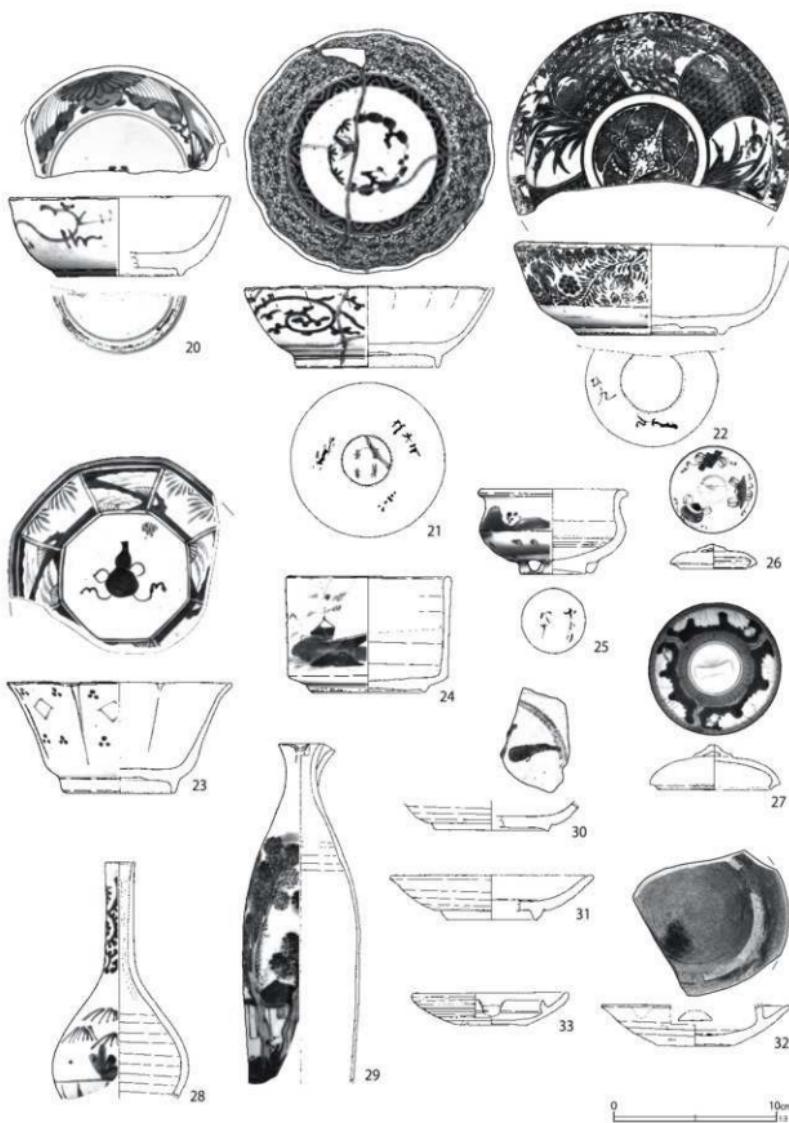
16は肥前系磁器で小型サイズの猪口である。口縁部に瓔珞状の輪宝文が染付される。17は瀬戸美濃系磁器の端反の杯で、外面に崩れた雲龍文が染付される。

18は瀬戸美濃系磁器の卵殻手酒杯と思われるが、湯呑形碗を小型化したような形である。外面に上絵付けで文字が書かれている。19は瀬戸美濃系磁器の杯で「くりはし／鯉こく／福荷屋」の上絵付け銘を有す。

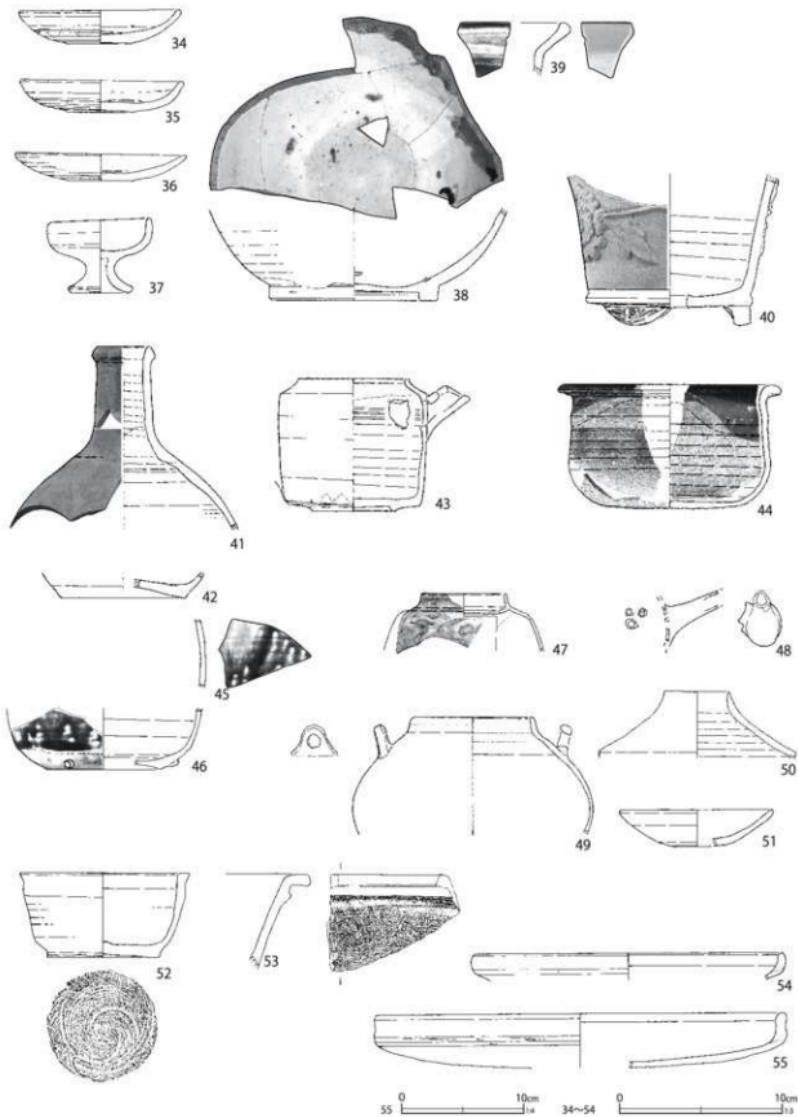
20・21は肥前系磁器の皿で、いずれも口縁部を輪花状に形成するものである。21には焼き継ぎ痕が顕著に残り、蛇の目状高台の露胎部には、



第401図 第260号土壤出土遺物（1）



第402図 第260号土壤出土遺物(2)



第403図 第260号土壤出土遺物（3）

第194表 第260号土壤出土遺物観察表(1)(第401~403図)

番号	種別	器種	口径	高さ	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	磁器	碗	(8.2)	5.9	3.4	-	60	良好	白	SK260	肥前系 内外面施釉・染付 (小丸輪)	211-5
2	磁器	碗	6.4	5.4	3.3	-	90	良好	白	SK260	肥前系 内外面施釉・染付 (筒形碗)	211-5
3	磁器	碗	6.7	5.2	3.7	-	70	良好	白	SK260	肥前系 内外面施釉・染付 (筒形碗)	211-6
4	磁器	碗	(10.5)	[4.6]	-	-	30	良好	白	SK260	肥前系 内外面施釉・染付・色絵 (赤・金・紫・黄) (端反碗)	211-6
5	磁器	碗	9.5	[3.8]	-	-	35	良好	白	SK260	肥前系 内外面施釉・染付 焼き繰ぎ痕 (端反碗)	212-1
6	磁器	碗	(8.4)	4.8	3.2	-	40	良好	白	SK260	肥前系 内外面施釉・染付 (端反碗)	212-1
7	磁器	碗	9.1	5.1	3.4	-	95	良好	白	SK260	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 (端反碗)	212-2
8	磁器	碗	(11.1)	6.1	4.5	-	25	良好	白	SK260	肥前系 内外面施釉・染付 焼き繰ぎ痕 (赤)	212-3
9	磁器	碗	10.4	6.0	4.3	-	95	良好	白	SK260	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 焼き繰ぎ痕 (赤) 「四カ八」	212-4
10	磁器	蓋	3.7	2.7	9.4	-	85	良好	白	SK260	肥前系 内外面施釉・染付 (端反碗の蓋)	213-2
11	磁器	蓋	3.6	2.6	8.9	-	100	良好	白	SK260	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 (端反碗の蓋)	213-3
12	磁器	碗	3.9	[2.0]	-	-	25	良好	白	SK260	肥前系 内外面施釉・染付 焼き繰ぎ痕 (赤) 「口へ「ト【十九】ニ」	212-5
13	磁器	碗	6.9	6.2	3.5	-	70	良好	白	SK260	瀬戸美濃系 内外面施釉・外面染付 (湯呑形碗)	213-4
14	磁器	碗	(6.9)	5.1	3.0	-	50	良好	白	SK260	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 (湯呑形碗)	213-4
15	磁器	碗	(8.1)	6.3	(3.8)	-	25	良好	白	SK260	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 焼き繰ぎ痕 (湯呑形碗)	213-4
16	磁器	猪口	(4.9)	3.1	(3.2)	-	30	良好	白	SK260	肥前系 内外面施釉・染付	213-6
17	磁器	杯	(5.8)	3.3	(2.3)	-	40	良好	白	SK260	瀬戸美濃系 内外面施釉・外面染付	212-6
18	磁器	杯	(4.3)	3.2	(1.9)	-	15	良好	白	SK260	瀬戸美濃系 内外面施釉・対面上給付 口紅 (卵形手酒杯)	212-7
19	磁器	杯	-	[1.9]	2.4	-	55	良好	白	SK260	瀬戸美濃系 内外面施釉・内面上給付 (金) 「くりはし」 鹿二ノノ眉荷屋	213-1
20	磁器	皿	(13.3)	4.8	(7.5)	-	40	良好	白	SK260	肥前系 内外面施釉・染付 煙付着	214-1
21	磁器	皿	15.1	5.0	8.5	-	95	良好	白	SK260	肥前系 内外面施釉・染付 焼き繰ぎ痕 蛇の目状高台	214-1
22	磁器	鉢	16.0	5.7	8.7	-	60	良好	白	SK260	瀬戸美濃系 内外面施釉・銅版転写染付 蛇の目状高台 焼き繰ぎ痕・焼き繰ぎ印 (赤)	213-5
23	磁器	鉢	(13.5)	6.8	6.6	-	60	良好	白	SK260	肥前系 内外面施釉・染付 蛇の目状高台	213-5
24	磁器	香炉	(9.8)	7.1	6.9	-	60	良好	白	SK260	肥前系 口縁部~外面施釉 外面染付	213-7
25	磁器	香炉	(8.5)	5.2	3.9	-	50	良好	白	SK260	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面染付 墨書き	214-2
26	磁器	蓋	-	1.5	4.3	-	95	良好	白	SK260	肥前系 内外面施釉 外面染付	214-3
27	磁器	蓋	-	2.7	6.9	-	100	良好	白	SK260	肥前系 内外面施釉 外面染付	214-4
28	磁器	御神酒酌利	(1.7)	[14.5]	-	-	40	良好	白	SK260	肥前系 内外面施釉・染付	214-5
29	磁器	燭台	2.6	[20.8]	-	-	65	良好	白	SK260	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面染付	214-5
30	陶器	皿	-	[1.9]	(7.0)	EIK	15	良好	灰白	SK260	瀬戸美濃系 内外面長石釉・高台内挿き取り 内面鉢輪 (志野屋)	214-5
31	陶器	皿	(12.2)	2.7	(5.5)	EIK	30	良好	褐灰	SK260	瀬戸美濃系 内外面灰釉 内面露胎煤付	214-6
32	陶器	灯明皿	-	[2.6]	4.7	EIK	40	良好	灰褐	SK260	志野呂系 内外面灰釉	215-1
33	陶器	灯明皿	9.4	2.1	4.3	EIK	100	良好	にぶい黄澄	SK260	瀬戸美濃系 内外面灰釉・外面下位拭き取り 直重ね焼き痕 外面煤付着	215-2
34	陶器	灯明皿	9.7	2.1	3.9	K	100	良好	灰黄褐	SK260	瀬戸美濃系 内外面灰釉・外面下位拭き取り 直重ね焼き痕	215-2
35	陶器	灯明皿	9.9	2.0	4.0	EIK	100	良好	灰黄褐	SK260	瀬戸美濃系 内外面灰釉・外面下位拭き取り 直重ね焼き痕	215-2
36	陶器	灯明皿	10.3	1.7	4.0	EIK	100	良好	にぶい黄澄	SK260	瀬戸美濃系 内外面灰釉・外面下位拭き取り 直重ね焼き痕	215-3
37	陶器	仏瓶器	6.0	4.5	3.4	K	95	良好	灰白	SK260	瀬戸美濃系 内外面灰釉	215-3
38	陶器	鉢	-	[5.7]	10.0	I	20	良好	にぶい黄澄	SK260	高台内一方向へラナダ・墨痕 内面雜白釉・上位縫跡流掛 外面灰釉	215-3
39	陶器	鉢	-	[3.3]	-	I	-	良好	灰白	SK260	内面雜白釉 外面灰釉 38と同一個体	215-3

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
40	陶器	植木鉢	-	[9.3]	10.2	D	50	良好	灰	SK260	外面施文	215-4
41	陶器	徳利	3.0	[11.2]	-	IK	15	良好	黄灰	SK260	外面灰釉 口縁部鉄釉流掛	
42	陶器	瓶類か	-	[1.6]	(7.6)	D	5	良好	灰	SK260	偏前系 伝器質	215-5
43	陶器	水注	6.7	8.1	5.1	IK	70	良好	にぶい黄橙	SK260	瀬戸美濃系 外面赤釉	215-6
44	陶器	香炉か	(12.6)	7.6	-	IK	25	良好	にぶい橙	SK260	松岡系か 口縁部鉄釉 外面下位灰釉 (下方ほど鉄釉状)	215-7
45	陶器	土瓶	-	[4.2]	-	K	5	良好	灰白	SK260	大堀相馬系 外面青緑釉・鉄釉掛け分け	
46	陶器	土瓶	-	[3.7]	(7.0)	K	15	良好	灰白	SK260	大堀相馬系 外面鉄釉	216-1
47	陶器	土瓶	(5.1)	[3.5]	-	I	15	良好	灰	SK260	外面赤化粧・施釉・絵付(青・緑・黒)	216-2
48	陶器	土瓶	-	[3.5]	-	I	5	良好	浅黄橙	SK260	京都信楽系 外面緑釉	
49	陶器	土瓶	7.2	[7.2]	-	I	20	良好	浅黄橙	SK260	外面青緑釉	
50	陶器	土瓶	(3.9)	[4.1]	-	K	5	良好	灰白	SK260	外面青緑釉 上下接点ない2破片から復元	
51	施釉土器	灯明皿	(9.2)	2.2	(3.5)	IK	20	普通	橙	SK260	底部切底 内外面透明釉 胎土粉質 口縁部煤付着	
52	瓦質土器	鉢	10.2	5.2	6.8	CIK	55	普通	黒褐	SK260	底部離赤切痕 燐す(全体黒化)	216-3
53	土質土器	器台か	-	[5.9]	-	AIK	5	普通	にぶい橙	SK260	三河系 内外面煤付着	
54	土質土器	焙烙	(25.4)	[2.2]	(25.2)	AIHK	10	普通	にぶい橙	SK260	江戸地系 砂目底 胎土粉質 小型	
55	土質土器	焙烙	(33.4)	[4.5]	(33.2)	CEHJK	25	普通	灰白	SK260	底部シワ状痕	

三箇所の焼き継ぎ印が残る。22は瀬戸美濃系磁器の鉢で、型紙摺絵染付が施された駄知井形のものである。焼き継ぎ印は判読が難しいが「ひ九」「口十九」であろうか。23は肥前系磁器の八角鉢である。24は肥前系磁器の香炉で、外面に山水楼閣文を染付する。内面と高台内は全て露胎とする。25は瀬戸美濃系磁器の香炉、釉薬は僅かに緑色味を帯び、外面には山水文を染付する。円盤状の底部は露胎とし、墨書が認められる。「ヤト口／四十」と読めるが、「ヤ」部分が「中」である可能性も残る。判読できない一文字は、「ハ」・「八」・「リ」・「ヒ」・「日」などの可能性があるが、文意が取れず確定は困難である。なお、第6区画、第251号土壙の遺物にも、「ヤトヒ」と判読できる墨書が認められる。

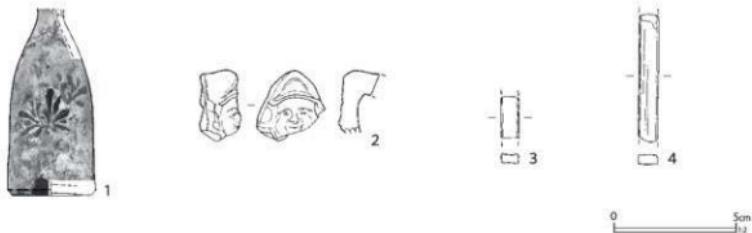
26・27は肥前系磁器の蓋でいずれもほぼ完形のものである。26はサイズから合子の蓋の可能性がある。28は肥前系磁器の御神酒徳利で、頸部は蛸唐草文、体部には若杉文等が染付される。29は瀬戸美濃系磁器の爛徳利で、やや大型である。山水楼閣文を染付する。

30は瀬戸美濃系陶器の皿で、17世紀に遡る

「志野鉄絵皿」である。高台内は露胎とする。31は瀬戸美濃系陶器の皿で、口縁部は僅かに端反となり、内底面に環状の重ね焼き痕を有する。高台部を中心とした露胎部に煤が顕著に付着している。

32～36までは、陶器の灯明皿である。32は志戸呂系陶器で、このタイプとしてはかなり厚手である。受部の切れ込みは半円形で、二箇所が遺存するが、本来は三箇所であろう。外面下位から底部は回転ケズリで成形している。33～36は瀬戸美濃系陶器の柿釉灯明皿で、いずれもほぼ完形である。33は受皿で、受部は低く、切れ込みはU字形である。受部径は6.4cm、外面に残る重ね焼きの痕跡は径6.6cm程である。外面に少し煤が付着する。34は赤味が強い柿釉が施され、内底面には径3cm内外の重ね焼き痕が残る。35はやや口縁部の立ち上がりが強く、内底面に径4.3～5.0cm程の楕円形の重ね焼き痕が残る。36も赤みが強く、光沢が強い柿釉が施されるもので、内面に径4.0～4.5cmの環状の重ね焼き痕が残る。

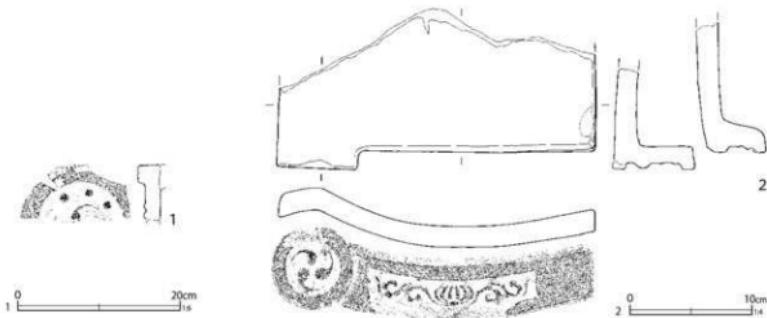
37は瀬戸美濃系陶器の仮飯器である。胎土・灰釉とも浅い卵色を帯びる。



第404図 第260号土壤出土遺物(4)

第195表 第260号土壤出土遺物観察表(2)(第404図)

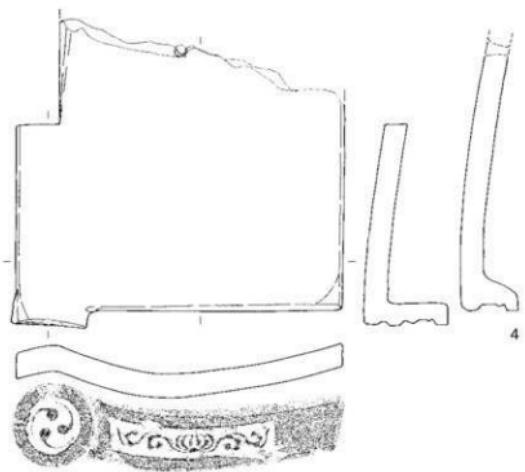
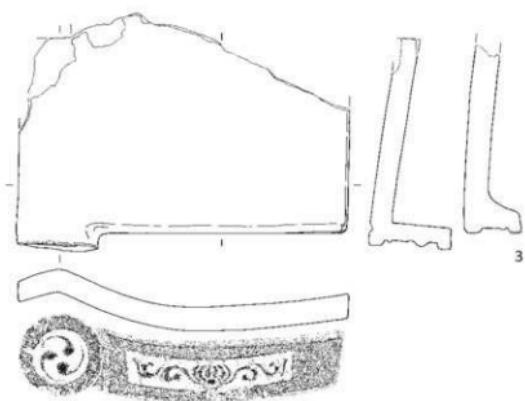
番号	種別	器種	口径	器高	底径	重量	胎土	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	施釉土器	ミニチュア	-	[7.8]	3.3	47.4	A I	普通	橙	SK260	江戸在地系 德利 内外面白化粧 外 面彩色(赤・橙) 被熱か	245-7
2	土製品	人形	[2.8] /[2.9]	-	1.7	6.9	A K	良好	にせい橙	SK260	江戸在地系 恵比壽 前後合二枚型成 形 中空 彩色(赤) 僕かに遺存	245-8
番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	重さ	遺構				備考	
3	硝子製品	笄	[1.9]	0.7	0.4	1.0	SK260	透明	中実			284-6
4	硝子製品	笄	[5.2]	0.8	0.4	6.0	SK260	透明	中実	被熱(黄白色化)		284-6



第405図 第260号土壤出土遺物(5)

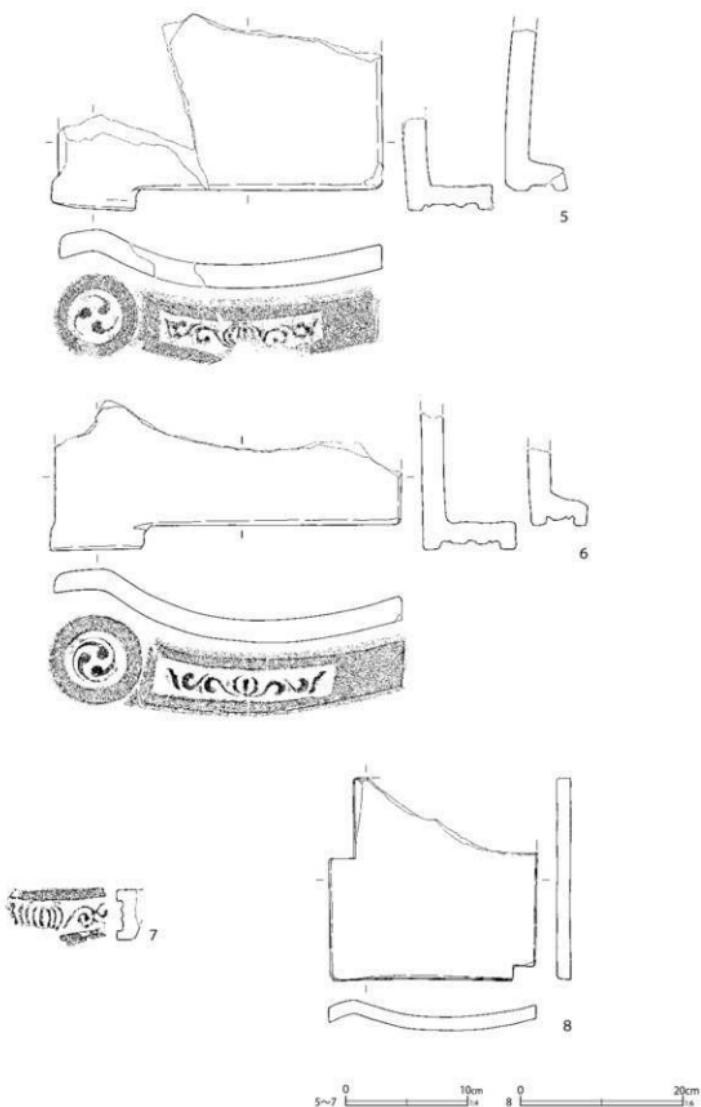
第196表 第260号土壤出土遺物観察表(3)(第405~407図)

番号	種別	器種	長さ	幅	径	胎土	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	瓦	軒丸瓦	[3.2]	[13.4]	(16.0)	ACIK	普通	灰白	SK260	左巻き	
2	瓦	軒棟瓦	[13.6]	[26.8]	6.8	C	普通	灰白	SK260	右巻き	255-7
3	瓦	軒棟瓦	[20.6]	27.4	6.7	ACHIK	普通	灰白	SK260	右巻き	255-8
4	瓦	軒棟瓦	[25.4]	27.3	6.8	AIK	普通	灰白	SK260	右巻き	256-1
5	瓦	軒棟瓦	[16.3]	27.2	7.0	CI	普通	灰白	SK260	右巻き	256-2
6	瓦	軒棟瓦	[12.3]	[28.8]	7.6	ACIK	普通	灰白	SK260	右巻き	256-3
7	瓦	軒棟瓦	[2.3]	[8.6]	-	IK	普通	灰白	SK260		
8	瓦	棟瓦	25.2	25.7	-	ACIK	普通	灰	SK260		

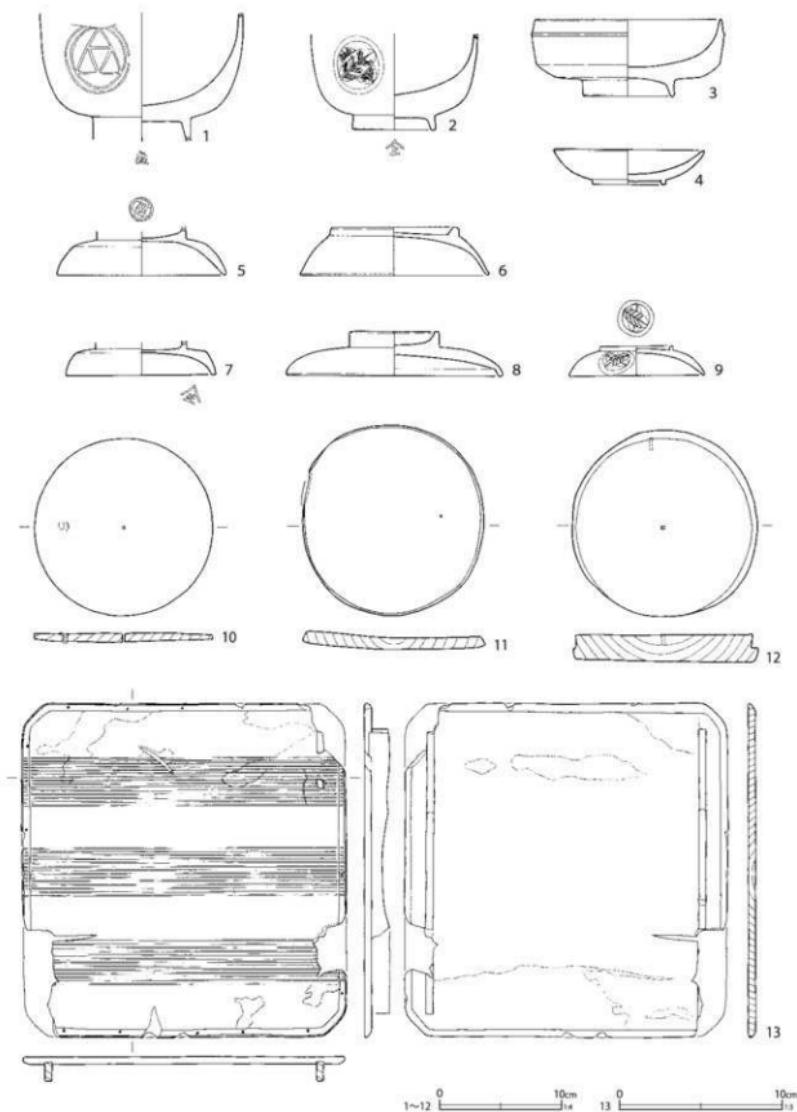


0 10cm

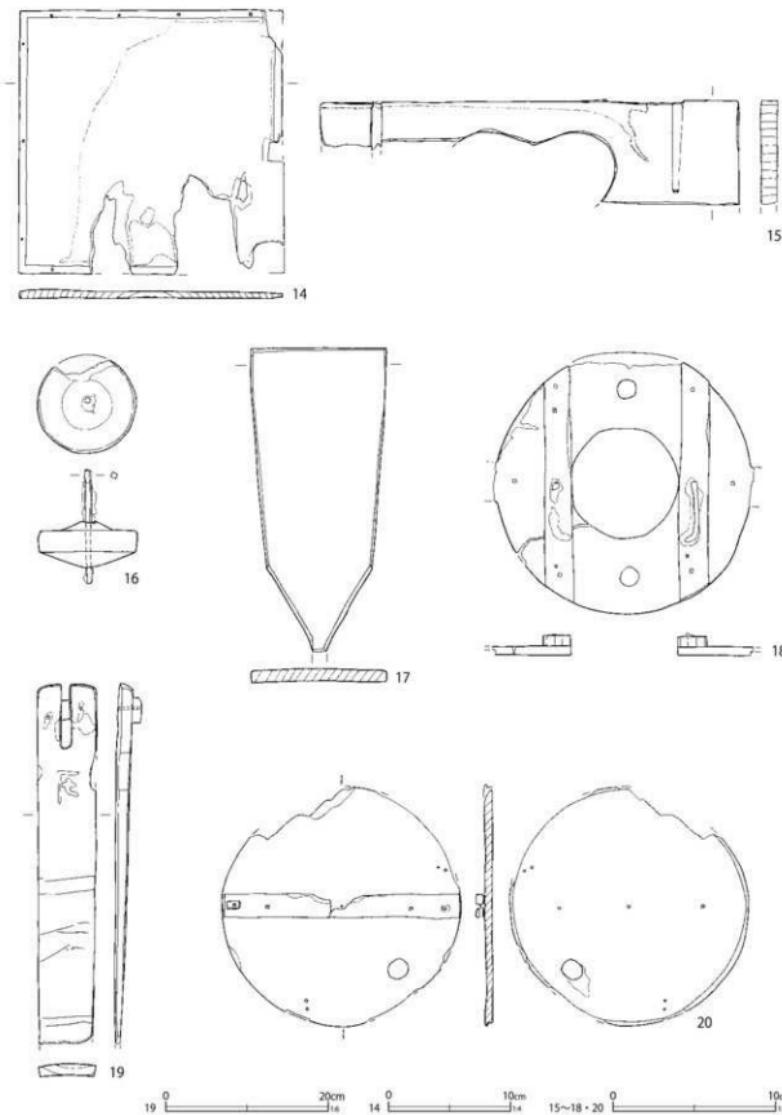
第406図 第260号土壤出土遺物（6）



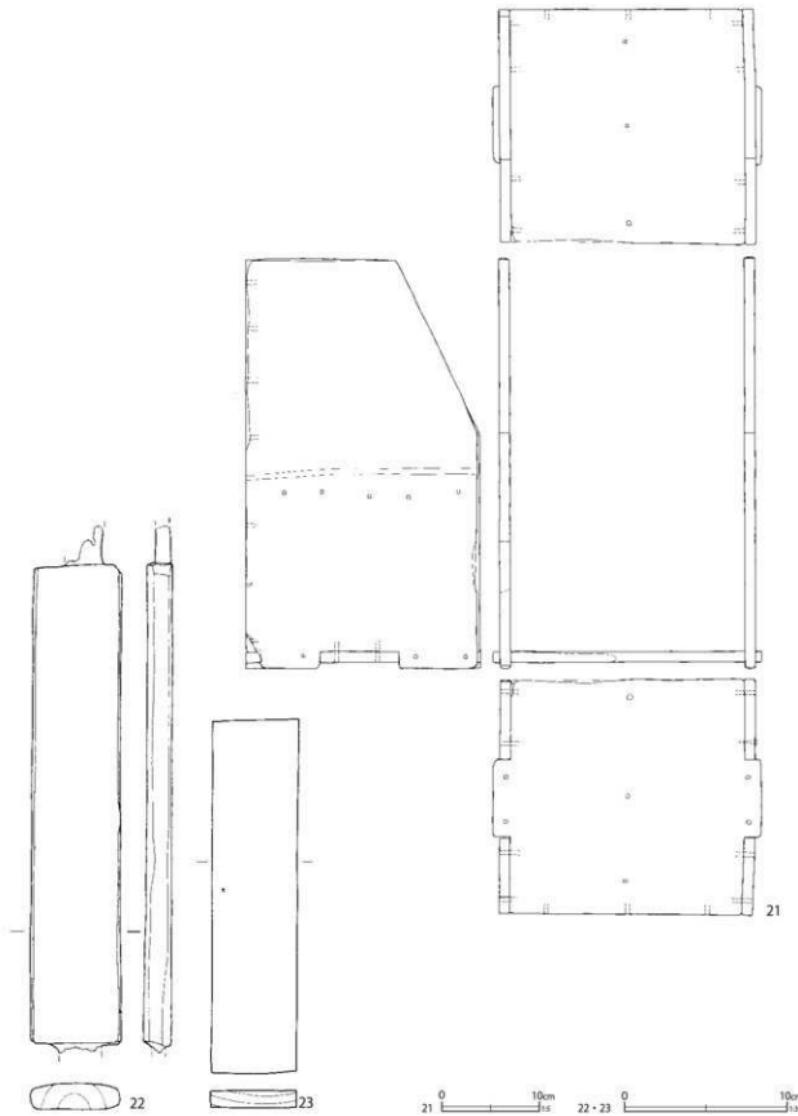
第407図 第260号土壤出土遺物(7)



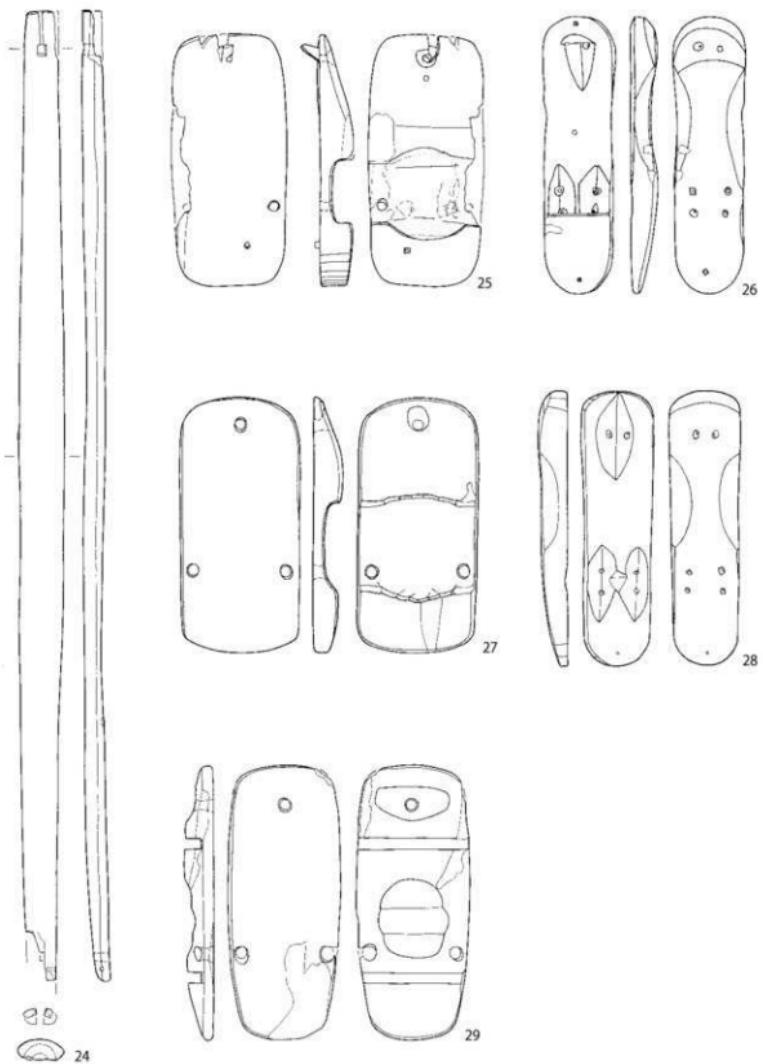
第408図 第260号土壤出土遺物（8）



第409図 第260号土壤出土遺物(9)



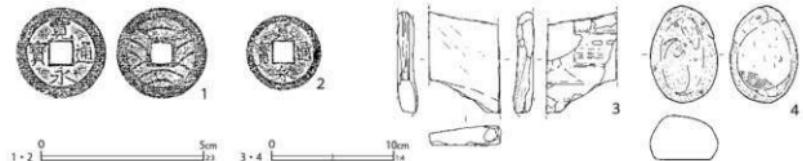
第410図 第260号土壤出土遺物（10）



第 411 図 第 260 号土壤出土遺物 (11)

第197表 第260号土壤出土遺物観察表(4)(第408~411図)

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径/径	高さ	底径	木取り	遺構	備考	図版
1	木製品	漆椀	-	-	-	-	[7.8]	-	横木取り	SK260	内面赤漆 外面黒漆 外面に赤漆で「二重丸に『三つうち』」家紋3高台内に赤漆で「極」	
2	木製品	漆椀	-	-	-	-	5.8	5.0	横木取り	SK260	内面赤漆 外面黒漆 高台内に赤漆で「金」外面3箇所に家紋(丸に違い鷹の羽)	
3	木製品	漆椀	-	-	-	(11.4)	4.7	5.4	横木取り	SK260	内面赤漆 外面黒漆 表裏上部に炭化口縁歪み内傾	
4	木製品	漆杯	-	-	-	9.1	2.0	4.7	横木取り	SK260	内面赤漆 外面黒漆	
5	木製品	漆椀蓋	つまみ径-		-	10.4	[3.0]	-	横木取り	SK260	内外面赤漆 口縁黒漆 つまみ内黒漆で文様(丸に四方松の模様)	
6	木製品	漆椀蓋	つまみ径7.6	-	-	(11.5)	2.9	-	横木取り	SK260	内面黒漆	
7	木製品	漆椀蓋	つまみ径-	-	-	9.2	[2.0]	-	横木取り	SK260	内面黒漆内側赤漆で「金」	
8	木製品	漆椀蓋	つまみ径5.3	-	-	13.1	2.7	-	横木取り	SK260	内面赤漆 外面黒漆	
9	木製品	漆椀蓋	つまみ径4.3	-	(8.2)	1.8	-	-	板目	SK260	内面赤漆 外面黒漆 紋赤漆(違い鷹の羽)外面3、つまみ内1	
10	木製品	曲物	-	-	0.6	10.9	-	-	板目	SK260	裏に樹皮残り	
11	木製品	曲物	-	-	0.7	11.6	-	-	板目	SK260	底板	
12	木製品	底板	-	-	1.7	11.4	-	-	板目	SK260	孔1 木釘残1	
13	木製品	櫛	27.4	26.8	0.6	-	[2.0]	-	板目	SK260	孔13 裏面に貫通せず 表裏側面赤漆の上に黒漆	
14	木製品	箱	21.7	21.6	0.7	-	-	-	板目	SK260	表面黒漆 裏面下地の塗り旅路 木釘孔8	
15	木製品	櫛	[6.5]	25.6	1.0	-	-	-	板目	SK260	表面黒漆	
16	木製品	独楽	-	-	-	6.1	6.9	-	桿目	SK260	鉄軸 0.3 × 0.3 cm	
17	木製品	羽子板	[18.5]	8.3	0.8	-	-	-	板目	SK260		
18	木製品	提灯蓋	-	-	1.4	16.0	-	-	桿目 板目	SK260	中央に穴	
19	木製品	桶	[44.8]	7.4	3.1	-	-	-	板目	SK260	側板 表面焼印 「E」	
20	木製品	提灯	-	-	1.1	14.8	-	-	板目	SK260	裏面に焼け跡あり 孔貫通5ヶ所 表中央に細板がついている両端の釘は金属で鍍の様なものの付着	
21	木製品	棚	[24.1]	27.7	1.1	-	42.2	-	板目	SK260	左側板に圧痕 二段の棚か 孔31 接合できない同一個体一点あり	
22	木製品	不明	[32.6]	5.6	1.7	-	-	-	板目	SK260		
23	木製品	木札	21.7	5.3	1.1	-	-	-	板目	SK260	両面墨書き 第241表43	
24	木製品	天秤棒	[118.4]	5.6	2.7	-	-	-	板目	SK260	方形の孔2(1つは欠) 鉄釘1	
25	木製品	下駄	20.6	9.4	-	-	2.8	-	板目	SK260	刺り下駄 炭化 裏面衝と衝の間黒漆 黒書き 木釘残1 鉄釘残1 孔貫通2	299-2
26	木製品	下駄	22.7	6.0	-	-	2.2	-	板目	SK260	無頭下駄 鉄釘残1 木釘残3 孔1 孔貫通4	
27	木製品	下駄	21.0	10.0	-	-	2.4	-	板目	SK260	刺り下駄	
28	木製品	下駄	22.5	5.8	-	-	2.5	-	板目	SK260	無頭下駄	
29	木製品	下駄	22.5	9.3	-	-	[2.3]	-	板目	SK260	陰卯下駄	



第412図 第260号土壤出土遺物(12)

第198表 第260号土壤出土遺物観察表(5)(第412図)

番号	種別	器種	法量				遺構名	備考	図版	
			長さ	幅	厚さ	重さ				
1	銅製品	鉄貨	径 28.2	厚さ 1.3	重さ 5.2		SK260	直永通寶(新) 11波		
2	銅製品	鉄貨	径 23.3	厚さ 0.9	重さ 2.4		SK260	直永通寶(新)		
番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	重さ	石材	遺構	備考	
3	石製品	砾石	[8.3]	[5.9]	[1.6]	89.1	流紋岩	SK260	下層 幅広工具痕 破面 4	283-4
4	石製品	磨石	8.0	5.6	3.6	93.1	角閃石安山岩	SK260	下層 多孔質 自然面遺存 使用面 2 線状痕あり一部黒色化	284-1

38・39は同一個体と思われる陶器の鉢で、胎土はかなり硬質である。内面は糠白釉で、上位に緑釉を流し掛けする。外面灰釉が施される。高台内は一方向のヘラナデで調整する。墨書が認められるが、多くが消えていて判読できない。

40は陶器の植木鉢で、全面露胎である。外面に陽刻状の施文がみられる。

41は陶器の徳利で、灰釉が施釉される。所謂「すず徳利」で、肩の突帯は無いが、頸へ肩部間の接合痕は認められる。口縁部から緑釉が流し掛けされる。42は炻器質の陶器で、備前系陶器の広口壺とみられる。本地点でも、第3号埋設掘出上品に類例がある(第1分冊第87図4)。43は瀬戸美濃系陶器の水注で、柿釉が施される。所謂「汁次」である。44の陶器は、上下接点の無い数破片から図上復元して示した。口縁部に鉄釉、柿釉を施し、頸部の一部を露胎として、体部下位～底部には鈍い緑色の鮫肌釉が施される。底部はやや丸底気味になる。器種は不詳だが、内面が露胎であるので、香炉であろうか。胎土の特徴は松岡系陶器に類似する。

45～50までは陶器の土瓶である。

45・46は、同一個体の土瓶であろう。明るい褐色の鉄釉に、青緑釉が流し掛けされる。胎土は緻密な灰白色である。独特な褐色の釉から大堀相馬系陶器と考えられる。

47は薄手の土瓶で胎土は濃い灰色だが、外面に白化粧をし、その上から施釉する。鉄絵で輪郭を取り緑色・青色を用いて鳥文・樹木を描く。

48は、緑色の釉が薄く施釉される土瓶の注口部で、胎土は緻密である。京都系のものであろう。

49・50は青緑釉土瓶である。このうち50は、直接接合しない二破片から図上復元して示したものである。

51は江戸在地系の施釉土器灯明皿である。口縁部に煤が付着する。52は瓦質土器の鉢で、底部に穿孔が無いが、器形から植木鉢と考えられる。糸切痕は離し糸切である。胎土に角閃石を含む。53は器台と考えたが、全体形状はよく分からない。いずれにしても火鉢・焜炉ないし、その付属品と思われる。金雲母を多く含むので、三河系土器であろう。54は、江戸在地系土器の熔接だが、小型のものである。55は在地系の熔接で、厚手のものである。

第405～407図は出土した瓦であり、1は軒丸瓦、2～7は軒棟瓦、8は棟瓦である。2～5は同文の軒棟瓦で、軒丸部分は珠文の無い右巻きの三つ巴文、軒平部分には瘤状の凹凸がある唐草を配す。

第408～411図に木製品を示す。1～3は漆椀である。1・2の外面には家紋が描かれる。1の高台内には「極」、2には「全」の文字が書かれる。3は外面に線状の装飾が施される。口縁が内湾しているが、土圧による変形である。4は浅い壺だが、8・9と同種の蓋の可能性がある。13は膳で、赤漆の上に黒漆が塗られている。底板は四隅を落とした形状である。表面には線状の文様が刻まれる。外周に木釘が残存し、側板の痕跡が見られる。裏面に板状の脚が2列つけられる。14は黒漆塗りの箱である。外周に側板固定の木釘が残存する。15は膳の脚部である。表面に長方形の薄い板が2本はめ込まれている。

16は独楽で、鉄軸である。18は提灯の蓋、20は提灯の底板である。21は棚である。棚板は残存しないが、二段であったと考えられる。23は木札である。墨書きで「秋葉兵助殿／行／伊勢屋／左兵衛出し」の文字が書かれている。24は天秤棒である。残存する長さは118.4cmで、両端の突起部分は欠失している。25～29は下駄である。25・27は割り下駄である。27の前歯と後歯の間は黒漆塗りである。歯部には半円形の加工痕を残す。26・28は無眼下駄である。28の鼻緒位置の窪みは木の葉型、26は木の葉型の一端が直線的な形である。

第412図には、金属製品の寛永通寶2枚（1・2）と、石製品（3・4）を示した。3は流紋岩製の砥石で、裏面に刃幅の広い工具による成形痕が認められる。4は角閃石安山岩製の磨石で比較的のサイズの大きなものである。使用面（研磨面）は二面あるが、主な使用面は一面であり、その部分が黒色化している。墨痕ないしは、炭を磨った痕跡のように見える。

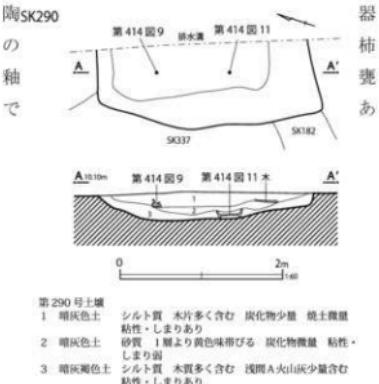
第290号土壌

区画の東側、E 7-H 6、I 6グリッドに位置する。土壌の東側が調査区外に延びるため、全体の形状は不明であるが、隅丸方形の土壌のようである。南北長2.6m、東西長は1.0m以上である。覆土は木片を多く含むシルト質土が主体であるが、覆土の一部に砂質土層が含まれる。

第414図1～11には陶磁器を示す。

1は、肥前系磁器の端反碗である。外面に草花文を染付する。2は瀬戸美濃系磁器の湯呑形碗で、外面に木型打込による施文後に染付を施す。3は瀬戸美濃系磁器の坏で、酸化クロム青磁軸を施す。高台内は蛇の目凹形で露胎とする。

4は瀬戸美濃系磁器の植木鉢で、外面は木型打込による施文後に染付を施す。5は肥前系磁器の瓶類で、肩の張る器形である。外面にはやや丁寧な絵付けで花文が染付される。6は瀬戸美濃系

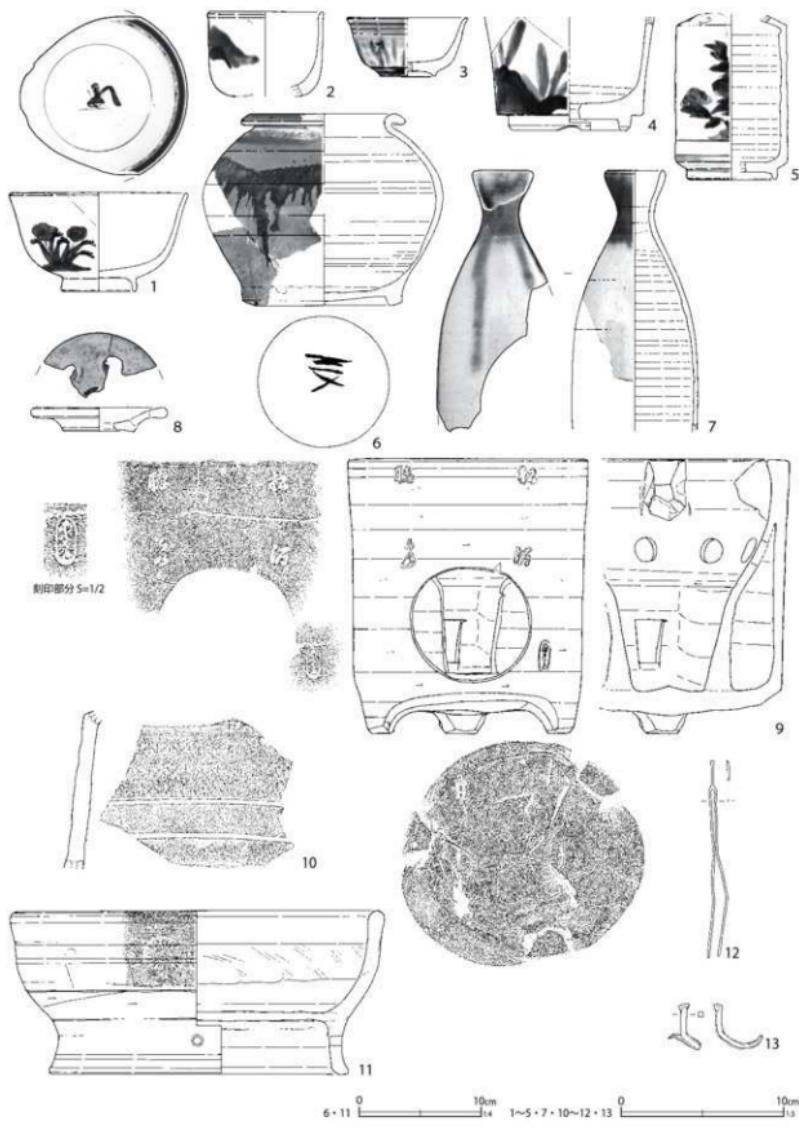


第413図 第290号土壌

る。内面は鉄化粧、外面は赤味の強い柿釉に鉄釉を流し掛けする。底部の墨書きは「三メ」とみられ、「メ」は「貫」の崩しともみられる。7は京都都心楽系陶器の燐德利で、外面は黄色味を帯びた透明釉、口縁部に緑釉が流し掛けられる。

8・9は白色土器質の陶器である。目皿と涼炉で、組物で用いられたものと思われる。胎土には金雲母と白色粒が多く含まれる。目皿は径8cm弱と小型で、底部に糸切痕を残す。9は涼炉の本体で、筒形を呈する。外面は全面横位のケズリで整形される。窓は円形で、中筒部に長方形の孔が穿たれる。上部には「松／沼／聴／泉」の刻印が、窓の横には、楕円の丸に「あわた」の刻印がある。口縁部には使用による煤の付着が認められる。第224号土壌に類例がある（第457-415）。

10は瓦質土器火鉢の体部破片で、全体に強く焼されている。外面にトビガンナ状施文や横走する沈線が施される。内面には火箸状の痕跡が顕著である。輪高台状の脚を有し、口縁部が短く外反する火鉢と思われる。11も瓦質土器の火鉢であるが、全体に酸化炎焼成ぎみで、色調は橙色味を帯びるものである。外面に菊花文を有し、輪高台



第414図 第290号土壤出土遺物

第199表 第290号土壤出土遺物観察表（第414図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	磁器	碗	(10.8)	6.0	4.5	-	55	良好	白	SK290	肥前系 内外面施釉・染付（端反碗）	220-1
2	磁器	碗	(6.9)	[5.1]	-	-	40	良好	白	SK290	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面木型打込施文・染付	
3	磁器	坏	(7.4)	3.6	(3.4)	-	40	良好	白	SK290	瀬戸美濃系 内外面酸化クロム青磁釉 外面にぎ状施文	
4	磁器	積木跡	-	[7.0]	7.0	-	30	良好	白	SK290	瀬戸美濃系 外面施釉・木型打込施文・染付	220-2
5	磁器	瓶類	-	[10.1]	(5.3)	-	30	良好	白	SK290	肥前系 外面施釉・染付	220-3
6	陶器	甕	11.8	15.8	11.0	EIK	25	良好	灰白	SK290	瀬戸美濃系 内面鉄化粧 口縁部～外縁部 軸上位鉄軸流掛	220-4
7	陶器	櫛利德	[3.4]	[15.9]	-	I	40	良好	灰白	SK290	京都信楽系 外面透明釉 口縁部緑釉	
8	陶器	日皿	(7.8)	1.4	(4.4)	EHIK	20	普通	浅黄褐	SK290	京都系 白色土器 9の部品	220-5
9	陶器	涼炉	14.8	16.8	13.9	ADI	80	良好	灰白	SK290	京都系 白色土器 外面刻印 口縁部の一部に煤付着	221-1
10	瓦質土器	火鉢	-	[9.2]	-	ECHIK	10	普通	明褐色・黄灰	SK290	外面トピガンナ状施文 燐す 内面下位火蓋付痕跡	
11	瓦質土器	火鉢	30.0	13.4	24.5	CEGHIK	75	普通	橙	SK290	砂目底 やや酸化炎焼成 体部外面菊花文	220-6
12	銅製品	簪	長さ12.1	幅0.4	厚さ0.1	重さ2.6				SK290	飾り欠失か	274-9
13	鉄製品	釘	長さ2.8	幅0.3	厚さ0.3	重さ2.8				SK290		

状の脚を備える。栗橋宿跡では比較的一般的にみられる火鉢である。

本跡から出土した陶磁器は、全体的には栗橋8期頃までのものが主体である。型紙模絵染付・銅版転写染付の磁器が僅かにみられるが、全体の様相からは混在と判断されよう。本跡は栗橋8期ないし9期はじめに帰属する可能性が高い。

第414図には、金属製品を示す。12・13は簪と釘である。

本跡から出土したような京都産陶器の涼炉（第414図8・9）は、数は少ないが栗橋宿跡各所の調査で出土している。ただし、全体像が窺われるような資料は少なく、第3地点の第258号土壤や、本陣跡第201号土壤（共に栗橋8期）など僅かで、胴張り状に体部が膨らむものであった（『栗橋宿跡I』・『栗橋本陣跡II』報告）。本資料のような筒形の京都産涼炉は、第7地点第111・112号土壤に複数の破片が認められる。この遺構は1870年代の火災に関わる廃棄土壤と考えられている（『栗橋宿跡IV』報告）。今回報告したほぼ完形の資料も含めて、京都産涼炉が栗橋8期から9期はじめにかけて搬入されたことが窺

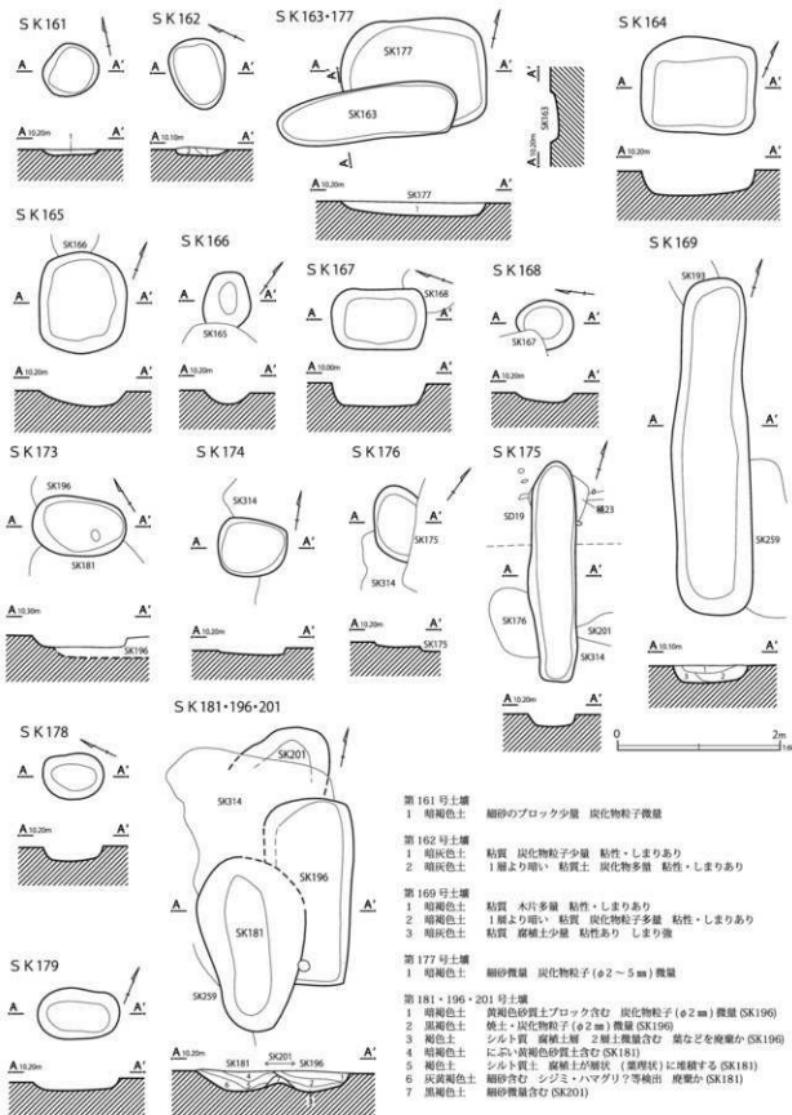
われる。

第5区画のその他の土壤（第415～476図）

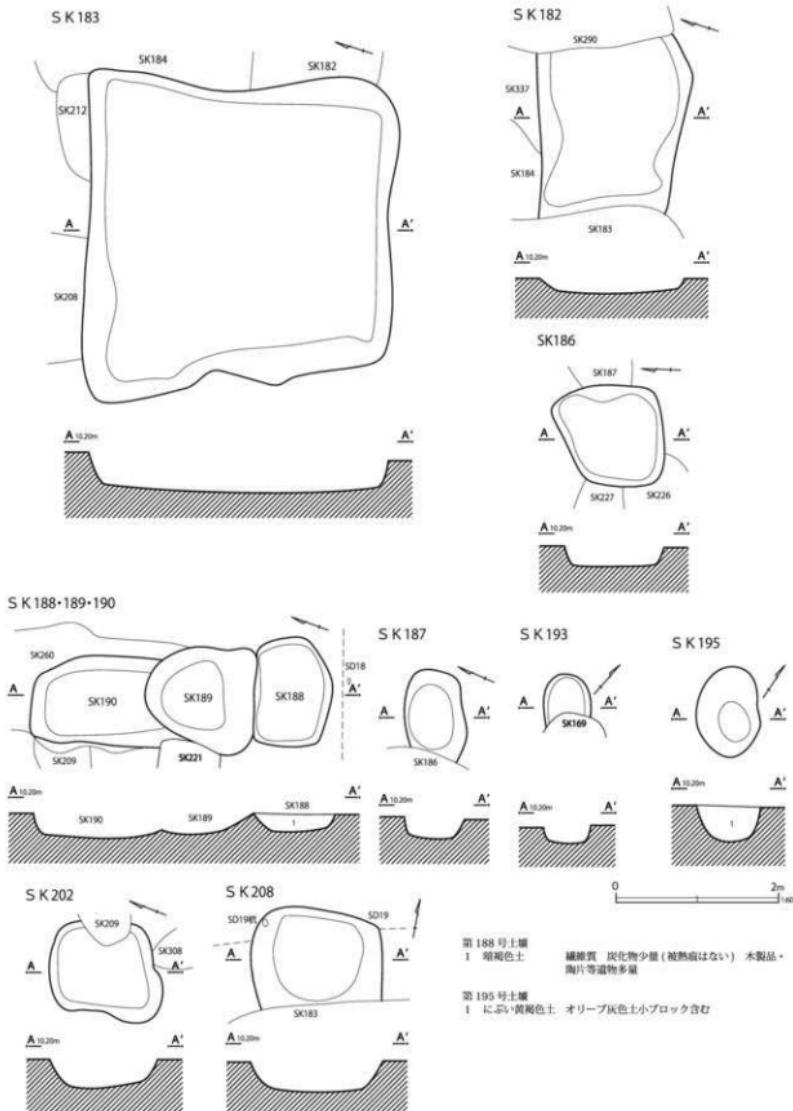
第5区画は土壤の数が多い。以下、遺物が多く出土した土壤を中心に様相を略述しておく。大多数の土壤は栗橋9期に帰属する。

第164号土壤は、区画南西部に位置し、長軸1.4mの隅丸方形を呈する。

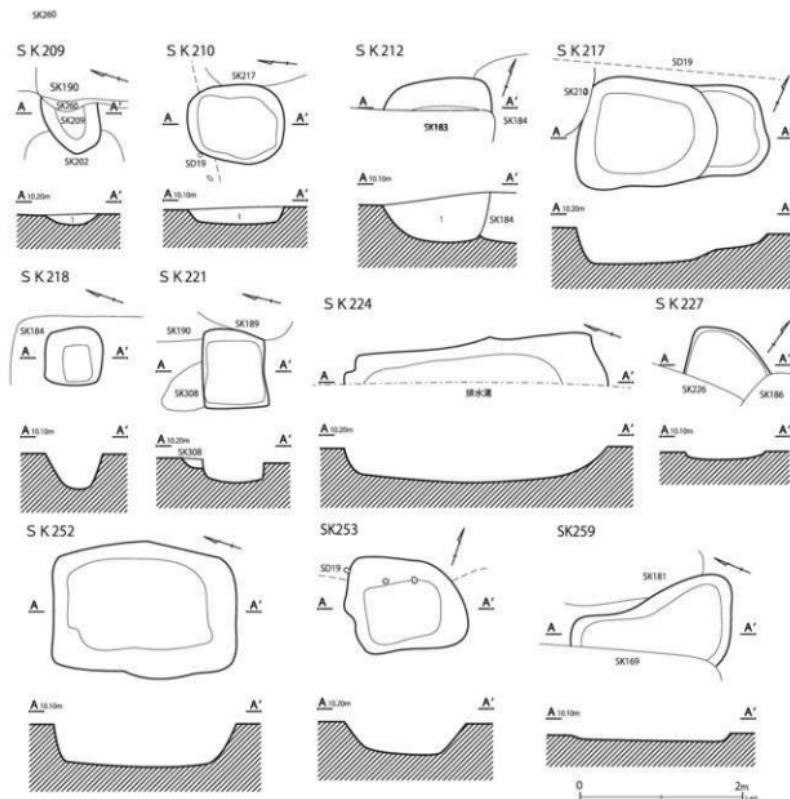
第419図1～7に出土した陶磁器を示す。1・2は瀬戸美濃系磁器の碗である。1は外面に3つの菊花文を酸化コバルト染付する碗である。所謂「飯碗」形態のものである（日野市遺跡調査会2003）。2は端反碗で、内外面とも木型打込の陰刻状文をベースに染付が施される。3は瀬戸美濃系磁器の坏で、外面は吹き墨で鶴を染付する。4は瀬戸美濃系磁器で把手の一部である。上面に牡丹文を染付する。手持ち桶型の花生の可能性がある。5は萬古系陶器の急須で、持ち手下に刻印があり、判読し難いが「萬古/藤松」であろうか。持ち手付け根部分を焼き維ぎで補修しており、高台内に焼き維ぎ印（赤）と墨痕の一部がみられる。6は土師質土器の把手付鍋と考えられる。7は土師質土器の器台で、三河産壺の部材



第 415 図 第 5 区画の土壤 (1)



第 416 図 第 5 区画の土壤 (2)



第209号土壌
1 基褐色土 粗砂微量 木質繊維少量

第210号土壌
1 黑褐色土 硫化物少量 灰黃褐色土ブロック微量 道物多量含む

第212号土壌
1 基褐色土 灰褐色土ブロック・硫化物含む

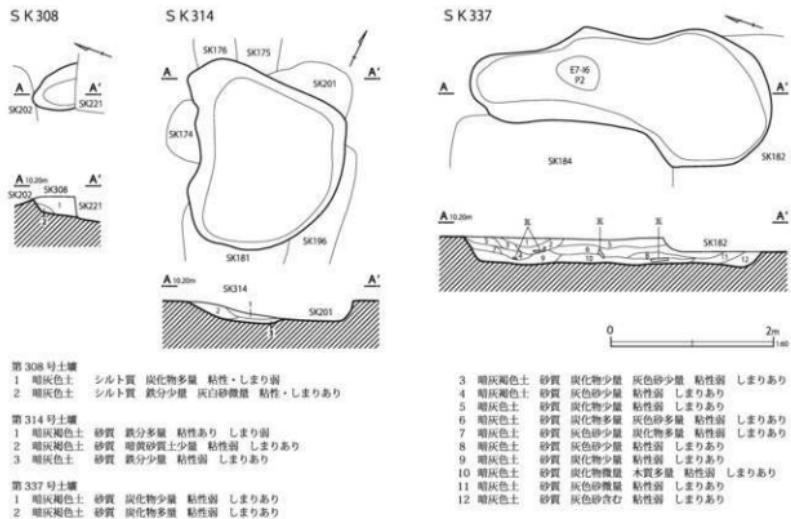
第417図 第5区画の土壤（3）

と考えられる。胎土に雲母を多く含む。第470図1～6は金属製品である。1は横長楕円の環金具中央に固定された円形環金具を介して、S字状の掛金具を連結する。掛け金具の両端に鳥頭（白鳥か）をあしらう。4・5はトイガンで、玩具的射的に用いられたマッチ棒を飛ばすトイピストルである。4は銃身内部にバネが残る。アンチモニー製だろうか。日本製で「SUITSU」は製造社名と

思われるが不詳である。

第167号土壌は、区画の西部に位置する土壌で、長軸1.2mの隅丸長方形を呈する。第419図8・9は大堀相馬系陶器の急須である。鉄化粧状に鉄釉を施し、外面は所謂「泥塗り」による加飾を施す。上部に「青ヒビ釉」の灰釉を掛け分けている。蓋の下面に「相馬」刻印がある。

第169号土壌は、区画中央部より西側に位置す



第418図 第5区画の土壤(4)

る。長軸4.1mの南北に長い調査長方形の土壤である。覆土には木片や木質の腐植土が含まれる。第420~422図13~39は出土した陶磁器である。このうち、21・22は内面に上絵付けを有する磁器の壊である。21の内面には上絵付けで「[名]声/絶四海」「銘酒/正宗」「原勘」の銘を有す。「原勘」は原勢屋勘兵衛のことである。創業年は不明だが、初出は文政2年(1819)の「酒蔵諸入帳」に名が見え、安政2(1855)年『東講』では「[西]酒造店」として原勢屋勘兵衛の銘が見られる。明治10年(1877)の酒造人中便宜組合名簿までその名が確認できる(『堺町の酒文化』)が、その後、県や堺町の諸組合からは原勢屋の文字が見えず、明治35年の『営業便覧』では「酒類醤油食塩肥料商」として「小林儀三郎」となっている。

22は酒樽と文字を青で上絵付けしたものらし

いが、変色して茶色くなっている。左に書かれた「いろ娘」は兵庫県西宮市の紅野家による酒銘である。紅野家は明治22年に灘の酒造家と合流して西宮企業会社(現日本盛株式会社)を設立する。ただし、大正14年時点でも商標自体は存続・更新していた(佐藤1925)。第464図1・2には土製と磁器製の人形を示す。第470図7~10は金属製品である。このうち、7は棒秤の金具で、鉤と提緒装着具である。図面右側のソケットを棒に挿入して使用する。8・9は複数の鉄棒を三又にして針金で固定する。形状が似ているので同類品と思われるが用途は不明である。

第174号土壤は、区画中央部のやや北西に位置する。長軸0.85mの楕円形を呈する。陶磁器は少なかったが銅版転写染付の磁器壊が認められる。第470図15は金属製品で、引出しの一部と考えられる。笛と鳥がデザインされる。

第175号土壙は、第169号土壙の北東側に位置する。長軸2.7mの不整隅丸長方形を呈する土壙である。第422図40は瀬戸美濃系陶器のこね鉢で、底部に墨書で「百八十口」と書かれている。図示していない遺物には「東洋軒製」銘を有す磁器の鉢が認められる。

第177号土壙は区画西側に位置し、長軸1.8mの隅丸長方形を呈する。第422図41~49に出土した陶磁器を示す。41~43は瀬戸美濃系磁器の碗で、41は広東碗、42・43は端反碗である。44は瀬戸美濃系磁器の端反碗の蓋である。45は瀬戸美濃系磁器の湯呑形碗である。

46~48は陶器の土瓶である。46は硬質・灰白色の胎土に黒色粒子（鉄斑）を多く混入する土瓶で、大堀相馬系陶器である。体部はロクロ成形後に加圧で凹凸をつけて装飾とする。底部に「相馬」刻印がある。47は内面に灰釉、外面は露胎として細いイッチン掛けで文字を描く。48は不透明の糠白釉を施釉するもので、胎土は灰白色・硬質である。大堀相馬系陶器の可能性がある。49は陶器の土瓶蓋で、上面に漆黒の鉄釉を施釉する。非掲載の陶磁器には瀬戸美濃系磁器急須や、トビガンナ状施文の陶器行平鍋が認められ、栗橋8期の帰属である。

第470図19~22は金属製品である。20はコンパスであるが、後世の混在の可能性がある。本体は鉄製で脚はコの字状になる。持ち手のみ銅（合金）製で、革のようなものが巻かれており、山形の刻み目をあしらう。

第181号土壙は区画中央部付近に位置し、長軸2.15mの長楕円形を呈する。覆土には腐植土が堆積し、下層には貝類が含まれる。第422~424図51~68は出土した陶磁器で、銅版転写染付の磁器皿（51）や陶器の「すず徳利」（54）とともに土師質土器の焼塩壺と蓋（59~68）が出土している。

第467図1~3は出土した木製品である。1は

漆椀で、高台内に「センジ」の文字が書かれる。2の木札には「武州くりはし〔 〕／若狭屋庄右衛門〔 〕」の文字が書かれている。3は経木で、表面に「十／長助〇」、裏面に「小八」の文字が書かれる。

第182号土壙は、区画の南西部に位置し、長軸2.2mほど、重複が多くはっきりしないが方形プランの土壙とみられる。

第424図69~106に出土した陶磁器を示す。75~77・80は外面に草花文を酸化コバルト染付する磁器坏で、76のみ腰部が屈曲する。本跡ではこのタイプの坏の出土量が多く、図示した以外に75の同文が8個体、76の同文が3個体、77の同文が1個体みられた。瀬戸美濃系磁器の坏で、体部丸形の卵殻手酒杯である。89は内面に「福壽/太々講」の文字を青色で上絵付けする。90は内面に青色に金彩を加えた上絵付けが施され、富士山・社寺の風景とともに「東都/名所/道灌山/之景」「全 製」の文字が絵付けされる。「十一屋」の屋号を持つのは江州商人の同族・暖簾わけ集団で、中山道筋を中心に北関東一帯にみられる。酒問連では寄居の藤崎摠兵衛家・深谷の田中藤左衛門家・藤岡の高井作右衛門家・安中の野田六左衛門家のいずれかの分家である。四家のうち屋号紋に「へ」を用いるのは田中藤左衛門家で、創業は元禄14年（1701）、平成16年（2004）廃業である。99は瀬戸美濃系磁器の小型壺で、型合せ成形である。内面には指頭圧痕が残る。104は产地不詳の陶器爛徳利で、光沢のある灰釉を施し、上部には銅緑釉を流し掛けする。体部上位はロクロナデ、下位は回転ケズリ痕を残す。底部は回転ケズリ痕を回転ナデで消し、「栗仲/高瀬屋」と墨書きされる。

第470・471図26~31は金属製品である。26は井戸の釣瓶を下す（上げる）人物を打ち出す円盤状の金具である。銅（合金）製と思われる。飾金具であろうか。

第183号土壙は区画東側に位置し、長軸4.0mの不整形を呈する土壙である。

第427～447図107～313に出土した陶磁器を示す。107・108は瀬戸美濃系磁器の端反碗である。109・110は瀬戸美濃系磁器の丸碗で、109には型紙摺絵染付、110には酸化コバルト染付の竹林文が施される。111は瀬戸美濃系磁器の色絵碗、112は単色釉碗である。113～122は瀬戸美濃系磁器の平碗で銅版転写染付が施される。高台内に四文字銘款を有すのは117の「元陶園製」と119の「深山園製」である。

136～164は口縁部が端反になる背の低い坏、149は端反になる背の高い大振りの坏である。

154～164は内面に主文様を描く坏で、このうち154～159、161～164は坏形を呈する。155～157は「くりはし/鯉こく/稻荷屋」の上絵付けがあるものである。細部の絵付けには違いがある。また、155の高台内は露胎で、反時計回りの渦巻き状のケズリがあるのに対し、156・157は施釉し、高台内に青の上絵付けで「全 製」の上絵付けがある。158は内面に青の上絵付けで月・円・桜花などの枠を描き、その中に金の上絵付けで「醤油」・「正宗」・「固本」と書かれる。「固本」は栗橋の原勢屋本家、すなわち原勢屋勘兵衛もしくは原勢屋儀三郎を指すのであろう。原勢屋勘兵衛が醤油醸造を行っていた記録は見られず、『埼玉県営業便覧』には小林儀三郎が「酒類醤油食塩肥料商」とあるため、後者によって売られた醤油に関わる可能性がある。159は内面に吹き墨で桜花文を染付し、蕊部分を釉裏に紅で描く。160は体部が丸い坏で、内面に「酒類/醤油」/[] 銘を上絵付けする。

168～177までは磁器の皿である。176は内面の上絵付けが消えているが、その痕跡から復元的に図示した。「[御銘入] 盃/ [急] 須湯春/類画附所/大間々町三丁目/坂入庄平」の文字が読める。183は大形の肥前系磁器鉢である。焼き継ぎ

印「子六九」が赤で記される。202～210は瀬戸美濃系磁器の爛徳利である。205の底に「いなりや」の墨書がある。220は大堀相馬系陶器の坏で、内面～外面上位灰釉、外面下位は泥塗り装飾である。内底面に金彩で上絵付けを施すが、摩耗して意匠は判らない。

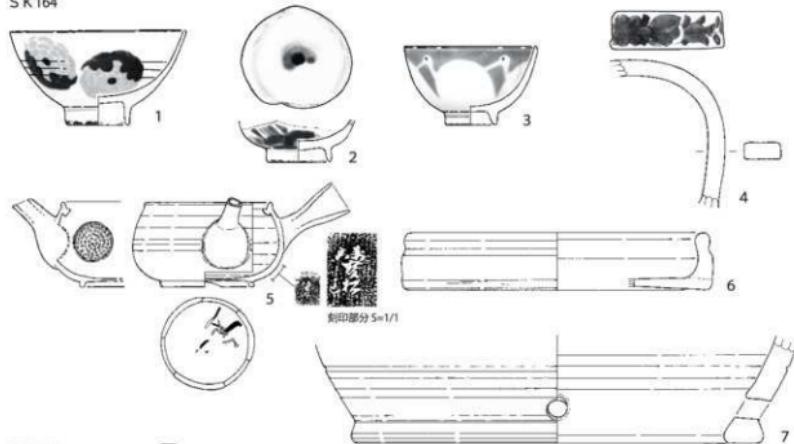
238は產地不詳陶器のこね鉢である。底部は蛇の目状高台で、疊付部に「栗橋町[]店用」、中心部に二文字「小澤カ」の墨書がみられる。270・271は糠白釉を施釉する陶器土瓶の蓋と身である。釉薬は不透明で大きな貫入が入る。胎土は硬質で緻密に焼き締まる。大堀相馬系陶器の可能性がある。302は瓦質土器の方形火鉢である。外表面はヘラナデ後にミガキが施される。内面は強引ナデで調整される。胎土に雲母を多く含み、江戸在地系土器と考えられる。

303・304は瓦質土器の竈鍔である。304は直接接合しない二破片から図上復元したもので、上面に、「○岩崎」の刻印がある。

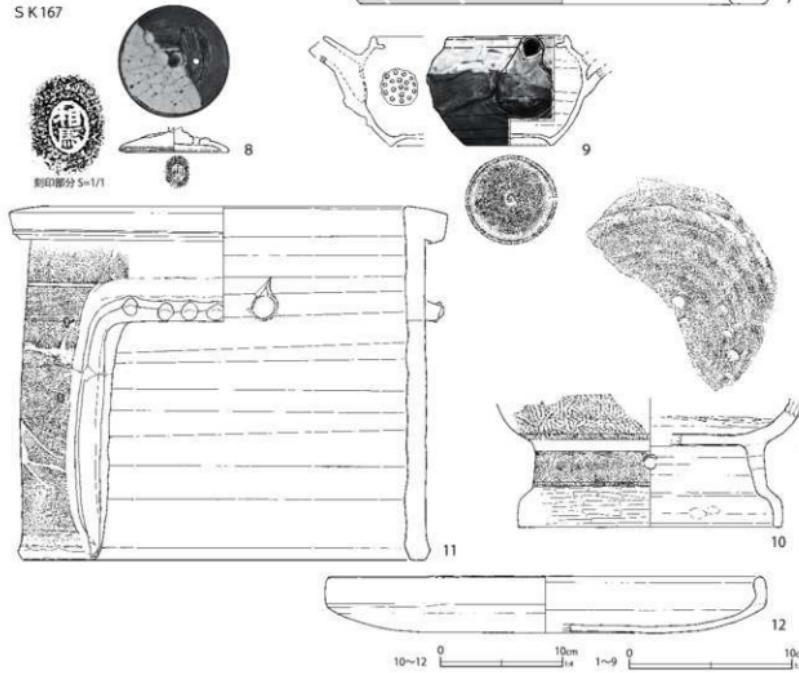
第465図5～7には土製品のミニチュア・箱庭道具の類を示す。5・6は廻と家屋を模すものである。7は軟質施釉土器質で、京都系の玩具類と思われる。平面形は隅丸の方形を呈するものらしく、火鉢のミニチュアの可能性がある。

第467～468図4～20は木製品である。4は箱膳の蓋である。蓋板の外周には、側板を固定していた木釘が残る。全面黒漆塗りである。裏面に「@」の焼印が押される。5～7は木札、8・9は経木で、いずれも墨書が見られる。5は表面に「栗橋宿」、裏面に「壽□□□/六本」、6には「拾五」と書かれる。7には鉄釘が残り、他材に固定していたと考えられる。「栗橋/荒野や行」と書かれる。10は漆塗りの容器で、筒型である。口縁には蓋を受けるための段があり、外面には線状の装飾が施される。11は箱の側板で、「@」の焼印が押される。12は独楽で鉄軸である。13～15は神酒口である。13・

SK164

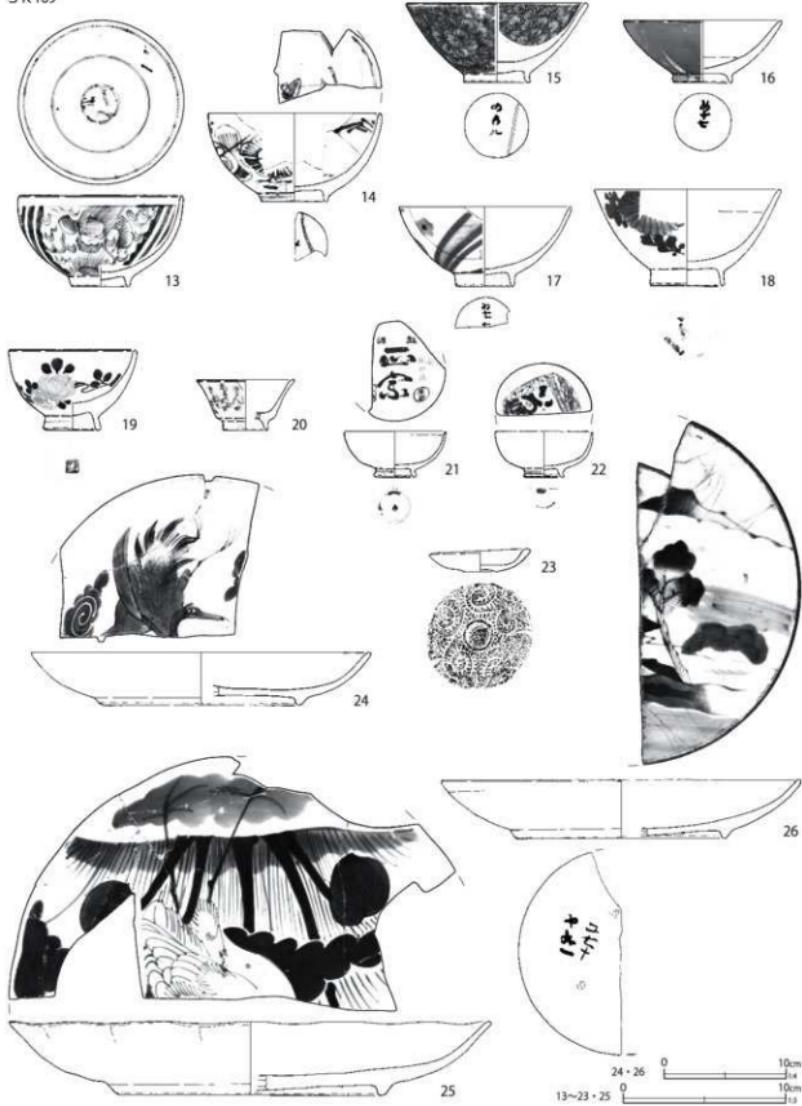


SK167

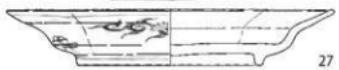
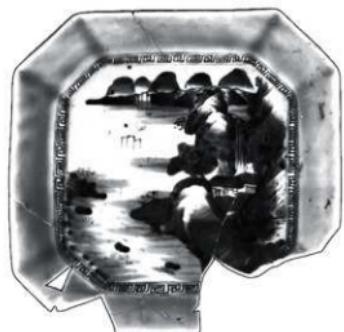


第419図 第5区画の土壤出土遺物（1）

SK 169



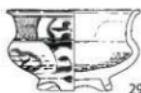
第420図 第5区画の土壤出土遺物（2）



27



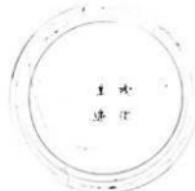
28



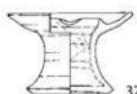
29



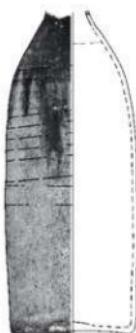
30



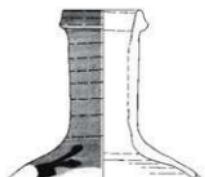
31



32



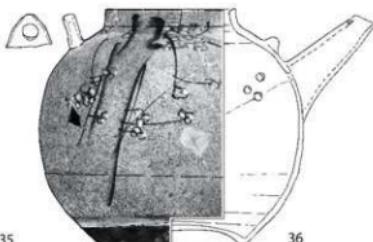
34



35



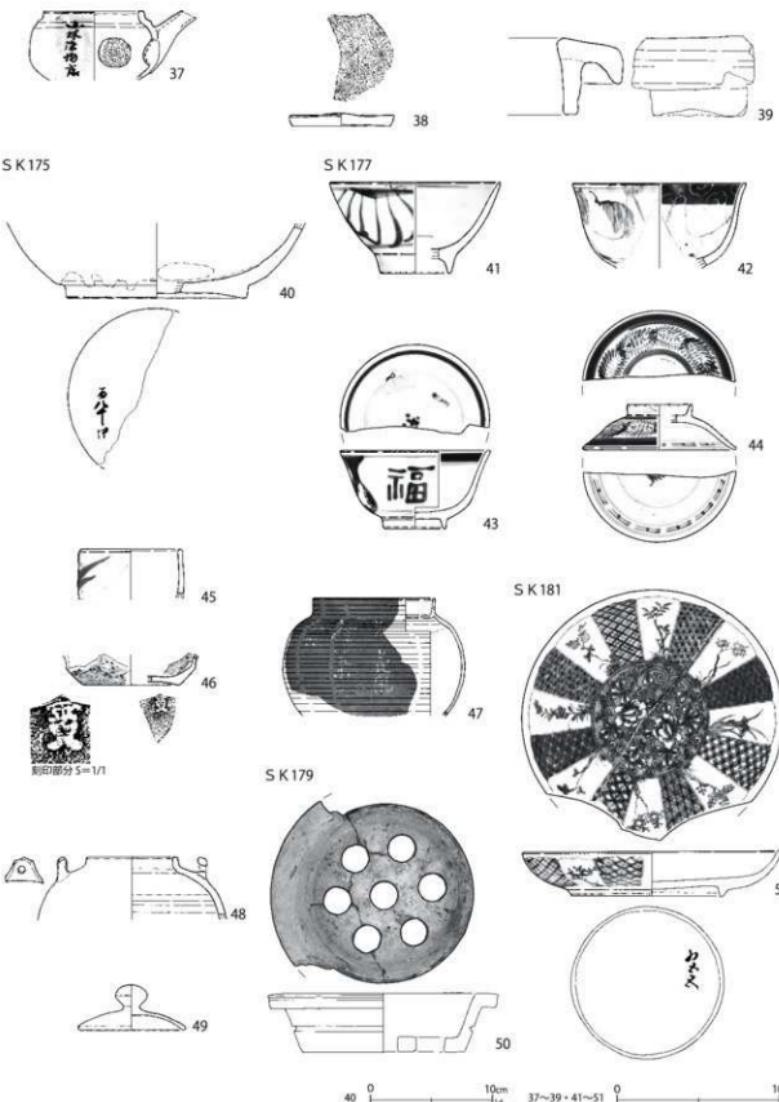
33



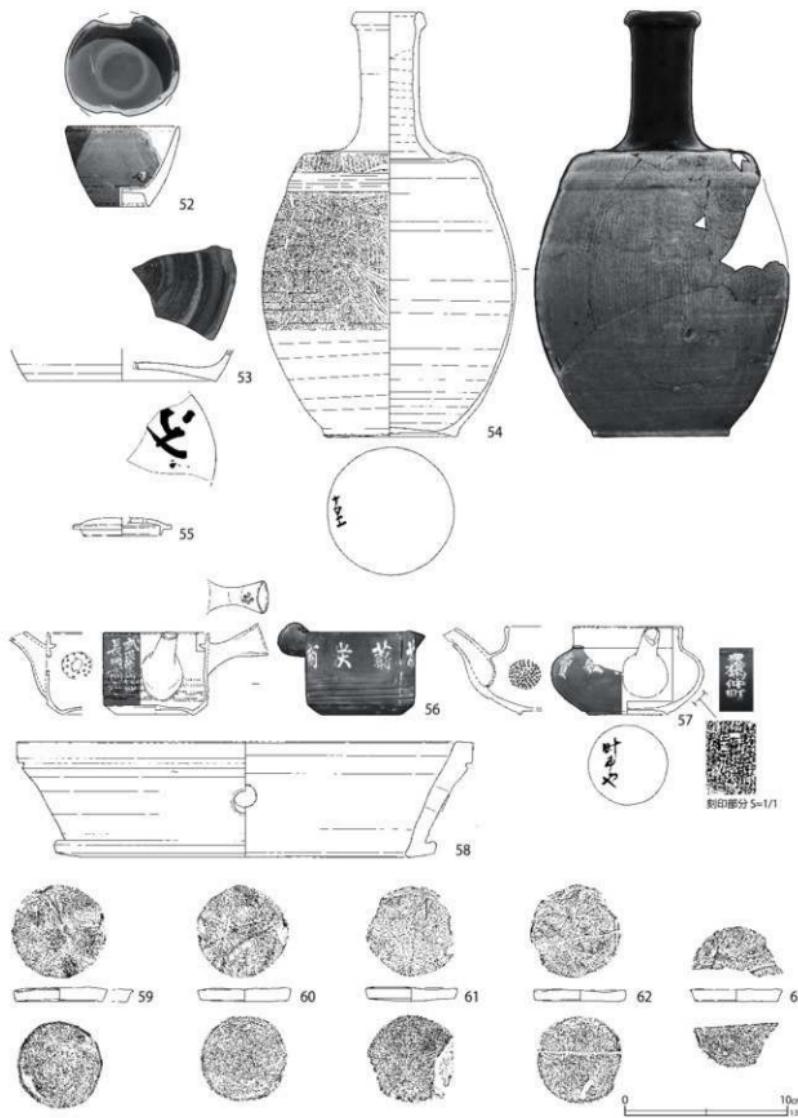
36

27 0 10cm 28~36 0 10cm

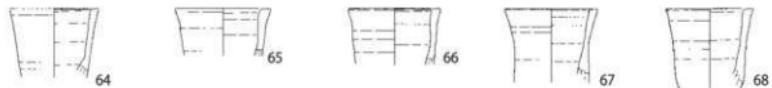
第421図 第5区画の土壤出土遺物（3）



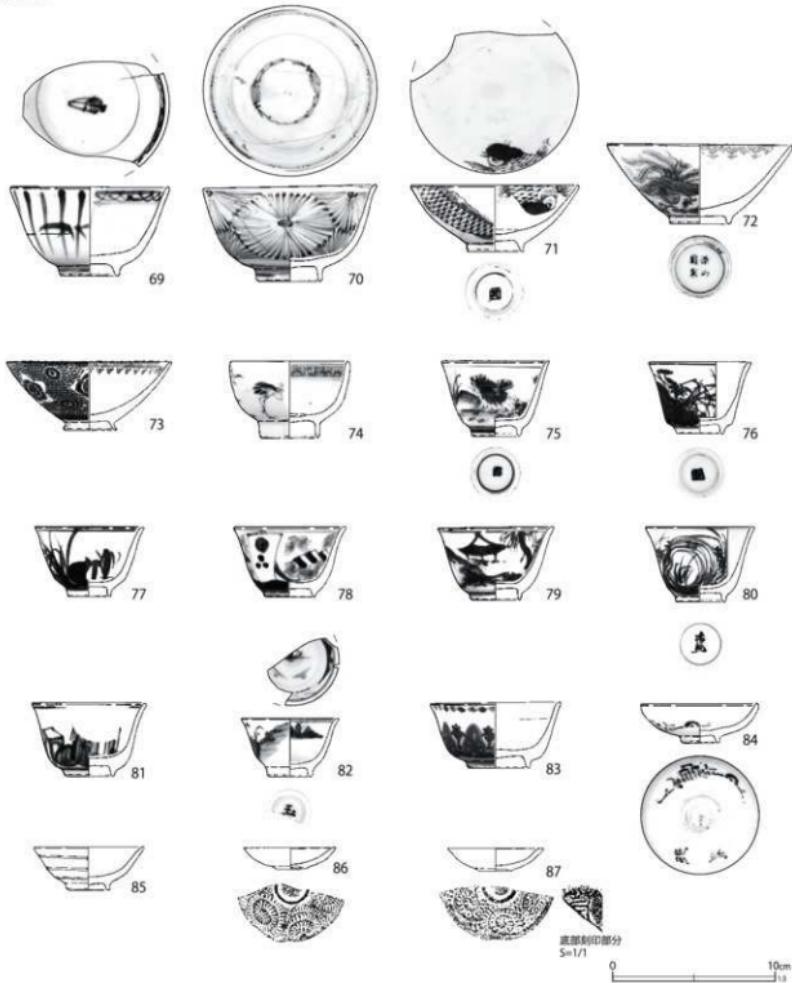
第422図 第5区画の土壤出土遺物（4）



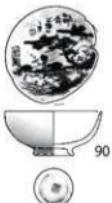
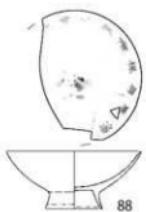
第423図 第5区画の土壤出土遺物（5）



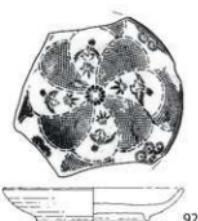
SK 182



第424図 第5区画の土壤出土遺物（6）



91



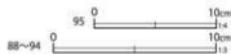
93



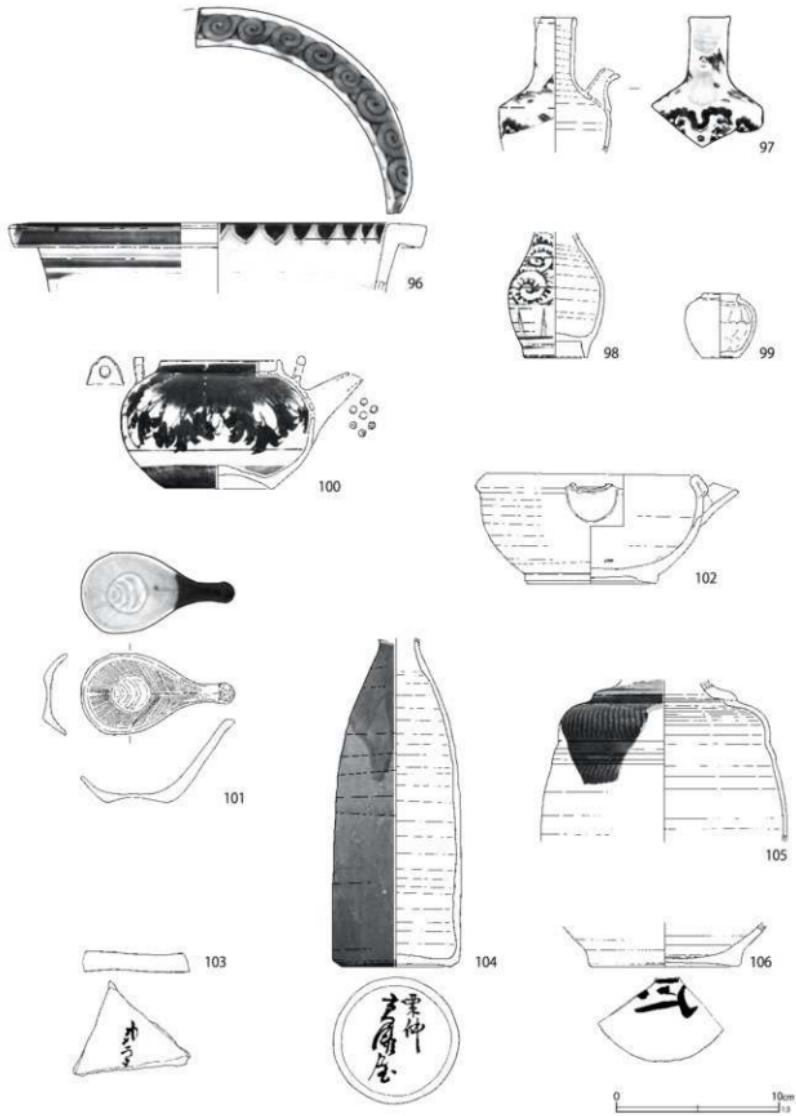
94



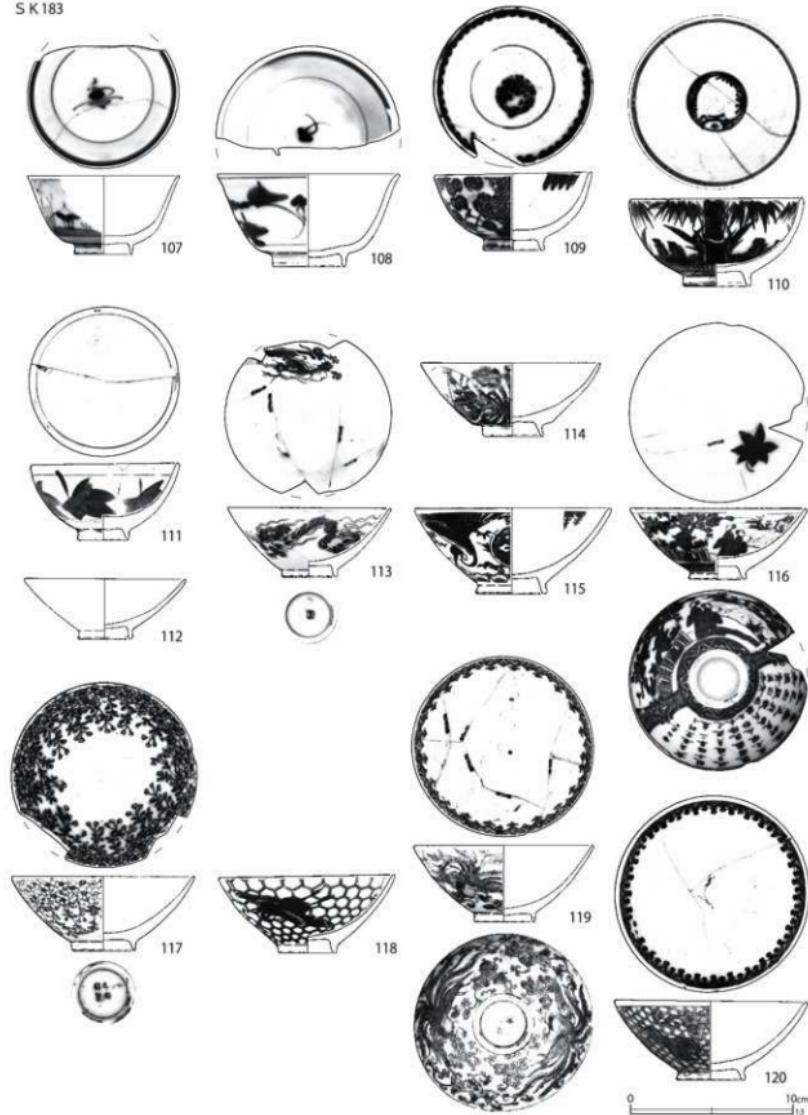
95



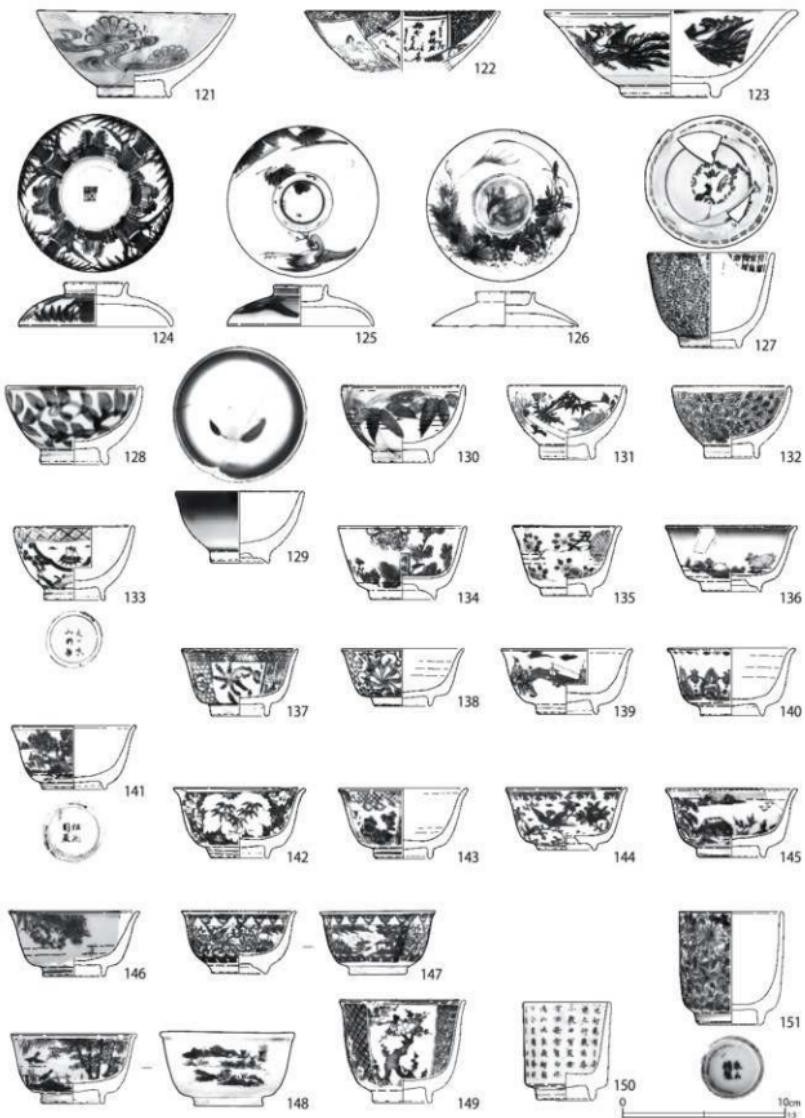
第425図 第5区画の土壤出土遺物（7）



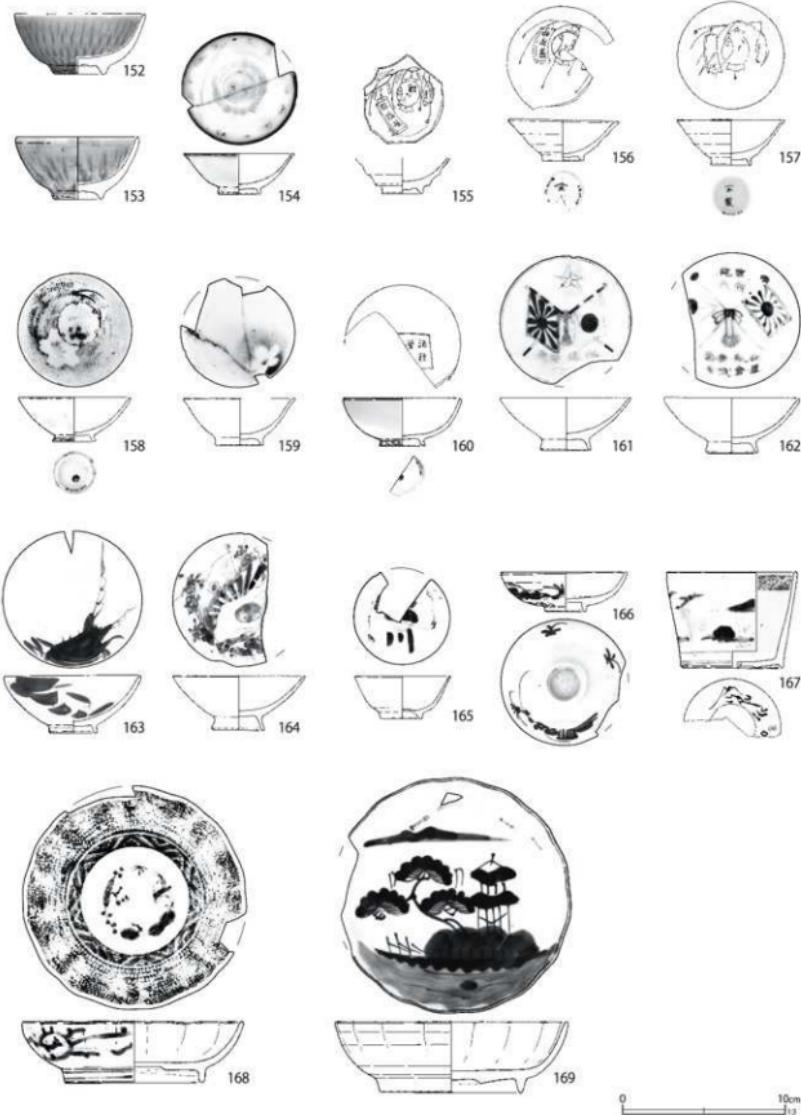
第426図 第5区画の土壤出土遺物（8）



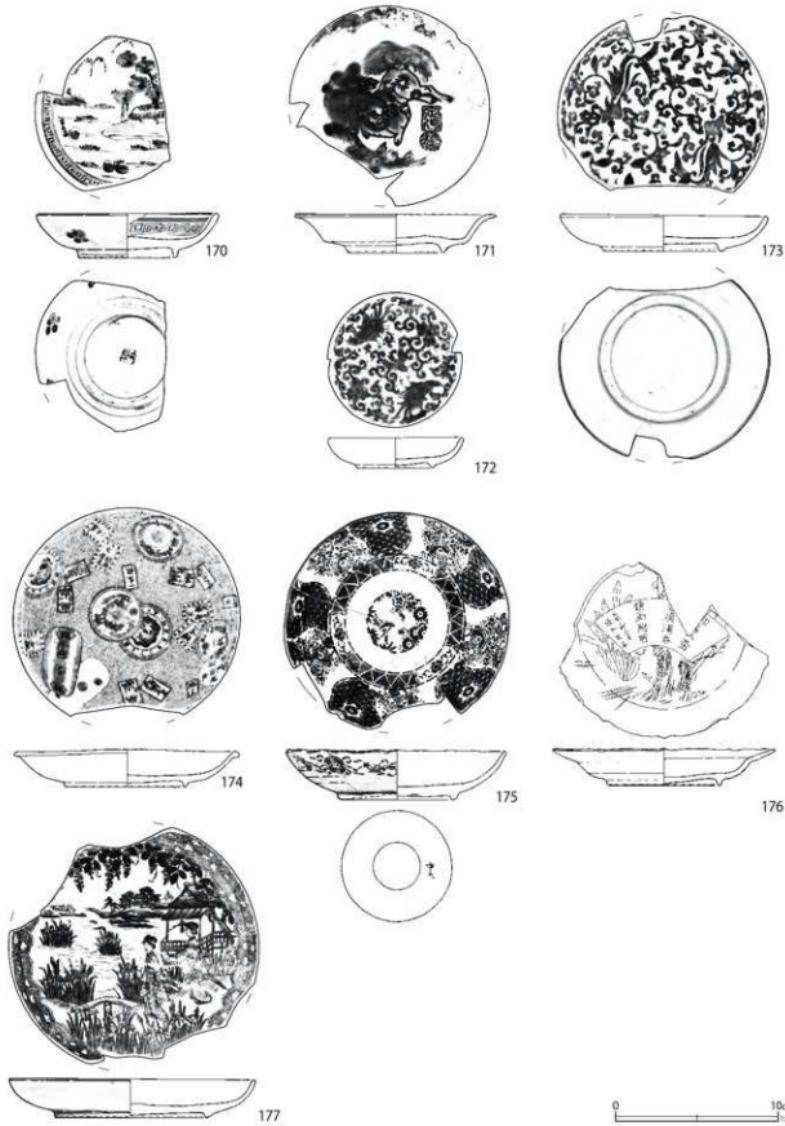
第427図 第5区画の土壤出土遺物（9）



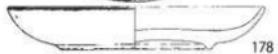
第428図 第5区画の土壤出土遺物（10）



第429図 第5区画の土壤出土遺物（11）



第430図 第5区画の土壤出土遺物 (12)



178



179



180



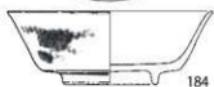
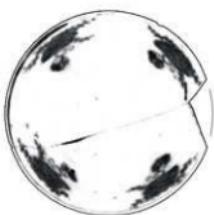
181



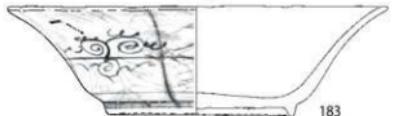
182



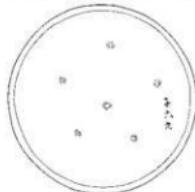
第431図 第5区画の土壤出土遺物（13）



184



183



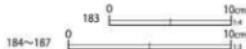
187



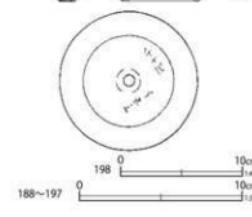
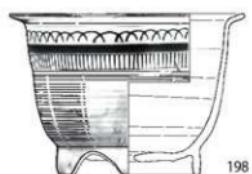
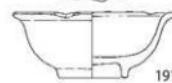
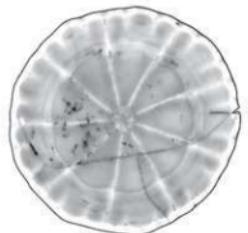
186



185



第432図 第5区画の土壤出土遺物(14)



188~197

10cm

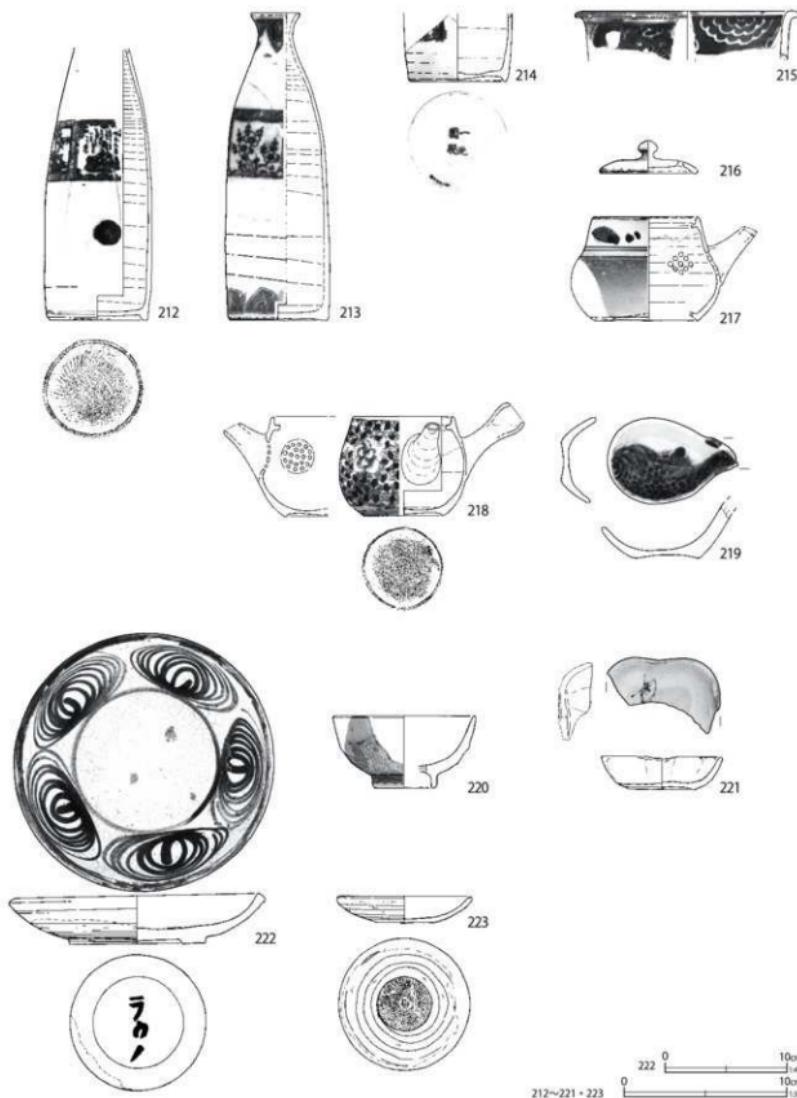
10cm

10cm

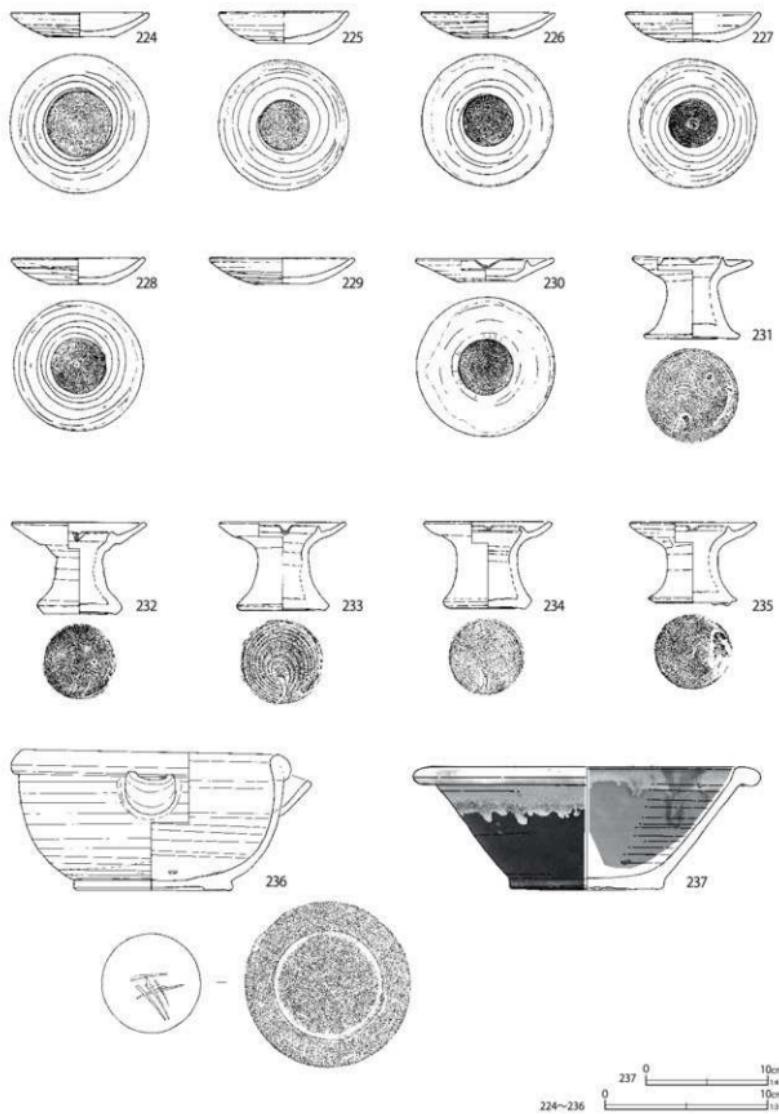
第433図 第5区画の土壤出土遺物(15)



第434図 第5区画の土壤出土遺物 (16)

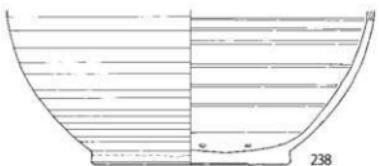


第435図 第5区画の土壤出土遺物（17）

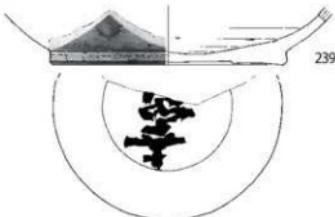


第436図 第5区画の土壤出土遺物(18)

237 0 10cm
224~236 0 10cm



238



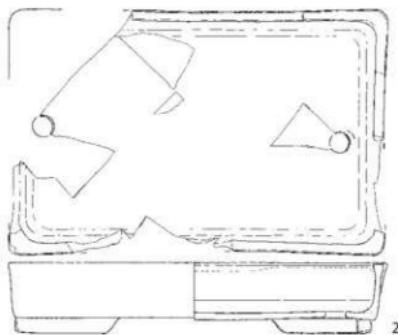
239



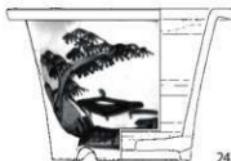
241



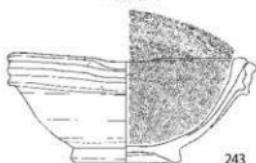
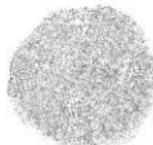
240



241



242



243

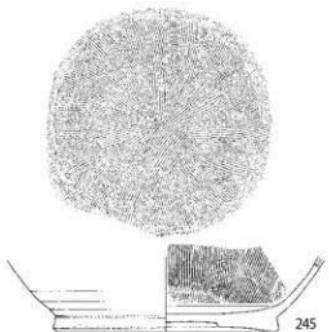


244

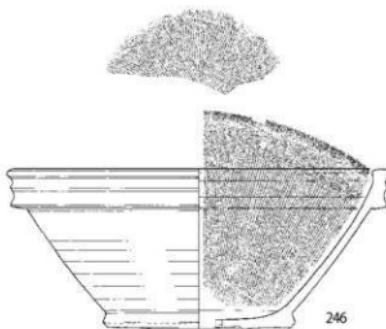


238・241 0 10cm
239・240 242～244 0 10cm

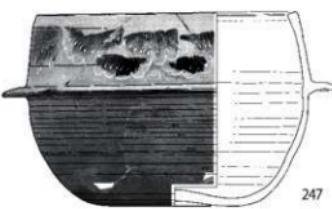
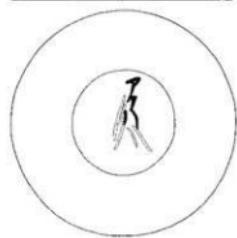
第437図 第5区画の土壤出土遺物（19）



245



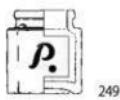
246



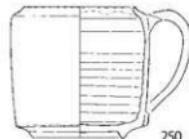
247



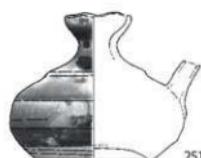
248



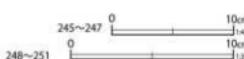
249



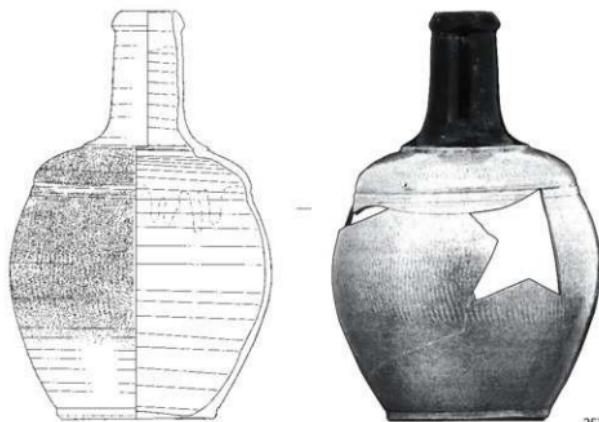
250



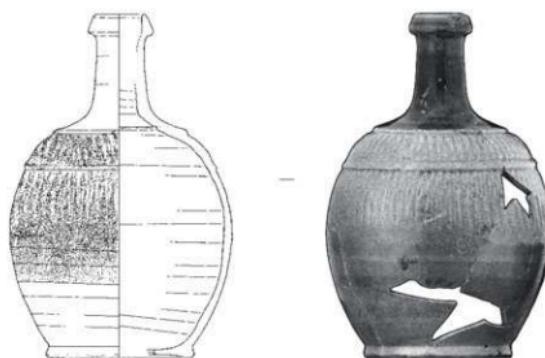
251



第438図 第5区画の土壤出土遺物(20)



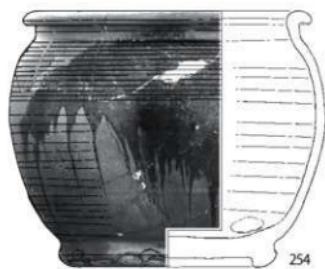
252



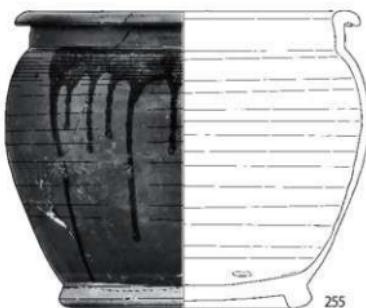
253



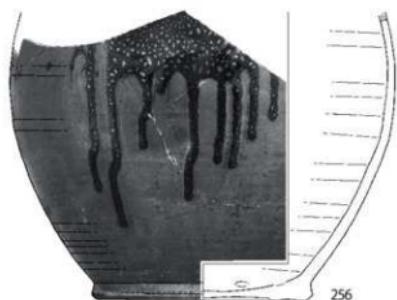
第439図 第5区画の土壤出土遺物（21）



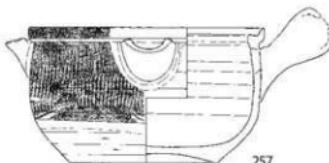
254



255



256



257



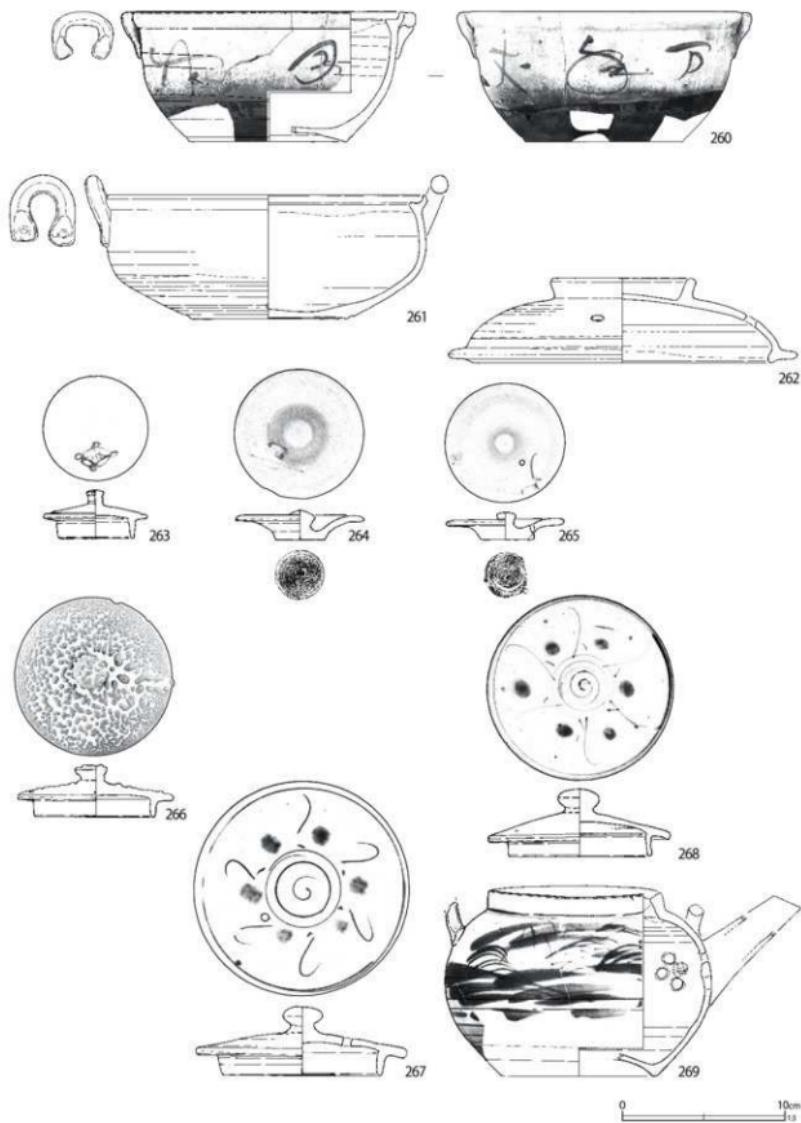
258



259

254~256 0 10cm
257~259 0 10cm

第440図 第5区画の土壤出土遺物 (22)



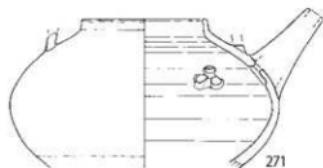
第441図 第5区画の土壤出土遺物 (23)



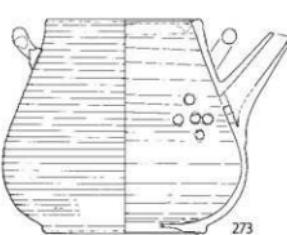
270



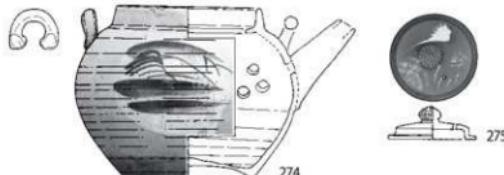
272



271



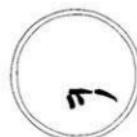
273



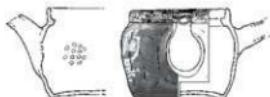
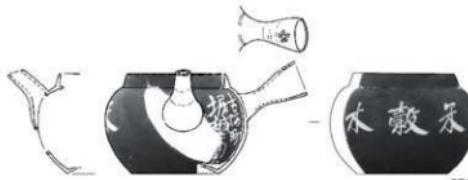
274



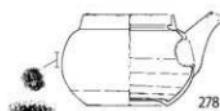
275



276



277

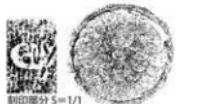
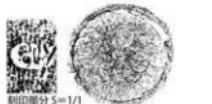
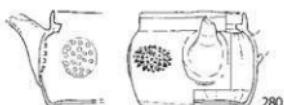


278



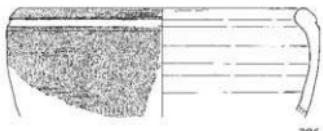
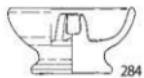
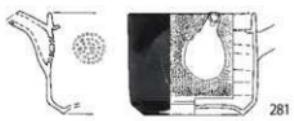
279

刻印部分 S=1/1



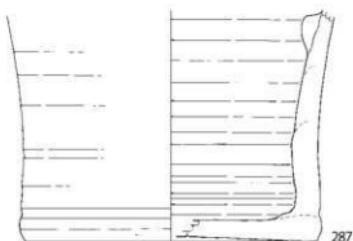
0 10cm

第442図 第5区画の土壤出土遺物 (24)

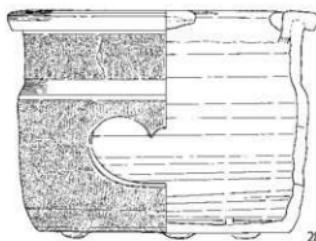


283

286



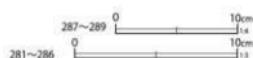
287



288



289



281~286

0

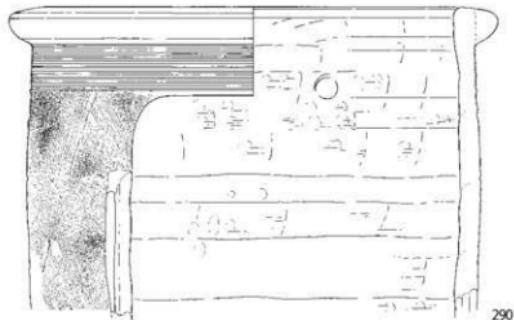
10cm

0

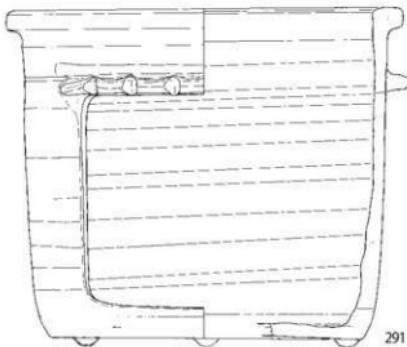
10cm

10

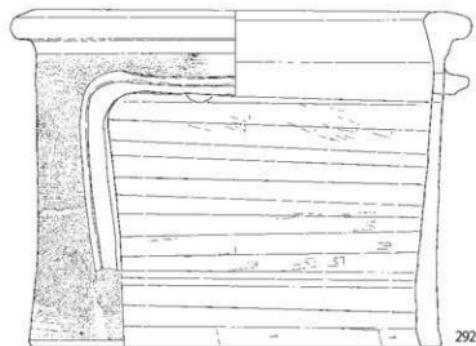
第443図 第5区画の土壤出土遺物(25)



290



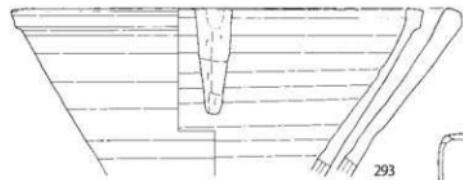
291



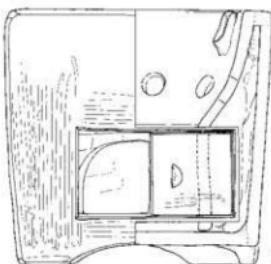
292

0 10cm
14

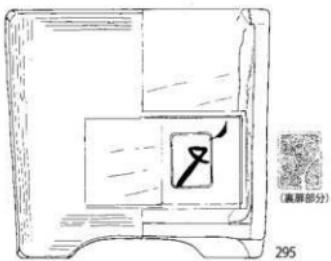
第444図 第5区画の土壤出土遺物（26）



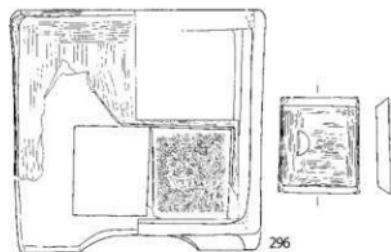
293



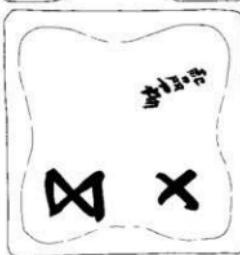
294



295



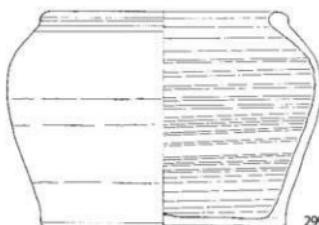
296



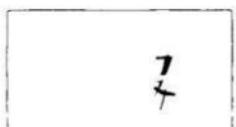
297



298

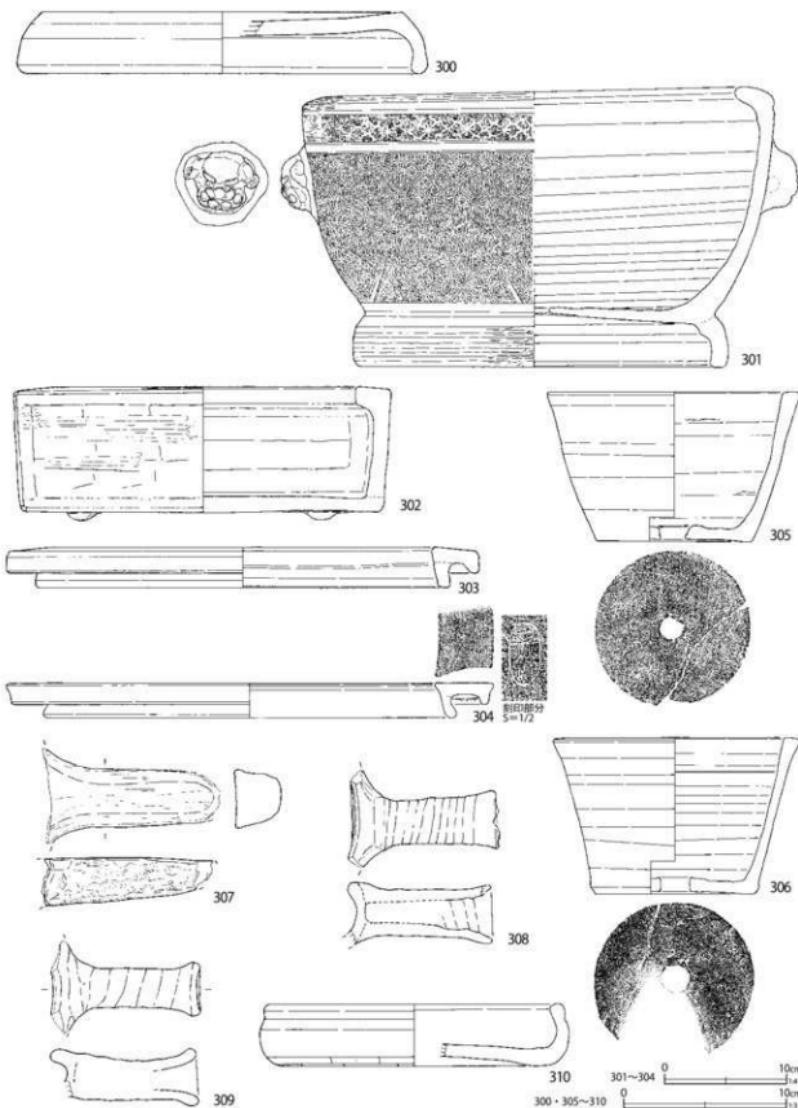


299

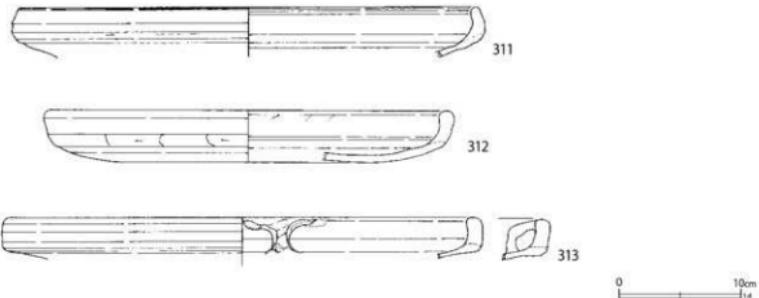
300
刻印部分 S=1/1

293 ~ 297・299 0 10cm
298 0 10cm
1/4 1/2 1/3

第445図 第5区画の土壤出土遺物 (27)



第446図 第5区画の土壤出土遺物 (28)



第447図 第5区画の土壌出土遺物(29)

14は外形が近似する。15は栗橋宿跡ではほとんど見られない形で、打出の小槌形である。16は編み針で、端部が曲がる。19は削り下駄で、削り抜きは裏面中央部のみ、前歯は斜めに加工される。20は陰卯下駄である。長さ16.4cmと小形で、歯は薄く華奢である。

第471・472図32～72は金属製品である。33はオイルランプの口金である。平紐の芯を調整する金具である。

第188号土壌は、区画中央よりやや南東に位置し、長軸1.3mの楕円形を呈する。第449・450図326～341に出土した陶磁器を示す。

329は瀬戸美濃系磁器で、体部が丸味をもつ杯(酒杯)である。内面に上絵付けで「銘酒」「泉州」「古河／西村」「蒼海元是一菊泉」銘がみられる。古河市台町の増田屋・西村辨蔵家によるものである。明治三十年代に名が見え(『古河市史』)、大正2年版『大日本酒醸油業名家大鑑』によれば、古河では青木家に次ぐ規模の酒造であった。昭和6年時点で銘柄は「(御)神楽正宗」があったという。戦時統制により栗橋方面への販路を失い、戦後の酒造組合名簿(1952)には名が見えない。高台部の平面形は隅丸方形で、中心は円形に削り込む。330は瀬戸美濃系磁器で、端反になる杯である。内面に上絵付けで「く

りはし」「八坂神社」「染谷」銘がある。

337は土器質の土瓶で、胎土中に微細な雲母を多く含む。338は施釉土器の浅い鉢で、白色土器質のものである。内面全体と外表面部に施釉され、緑色・赤色に発色する。外底部は型押文で梅樹等が表される。京都系の土器と思われる。

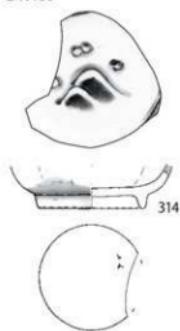
第472図77～80は金属製品で、78はねじりコイルバネ式の紙挟みである。

第189号土壌は、第188号土壌の北側に隣接する土壌で、長軸1.45mの不整楕円形を呈する。第450・451図342～352に出土した陶磁器を示す。

342は瀬戸美濃系磁器の皿で、内面に銅版転写染付で鯉を描く。343は磁器の杯で、色絵を施す九谷風のものである。高台内に赤の上絵付けで「九谷」銘を有す。344は瀬戸美濃系磁器で、器種不詳の筒形を呈する容器である。外表面は上下を低い突帯で区切り、その中は鉄釉を弾いて文様を表している。上下には染付が施される。内面は施釉される。345・346は産地不詳の陶器灯明皿である。349は陶器の五徳で、白色土器質のものである。全面丁寧なナデで仕上げられ、外表面に刻印「ふか草」「トロ(齧カ)」が認められる。

「ふか草」の地名が表すように、京都の伏見・深草産のものである。多様な刻印が知られている

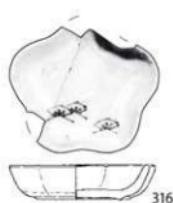
S K 186



314



315



316



白羊
東漢



318

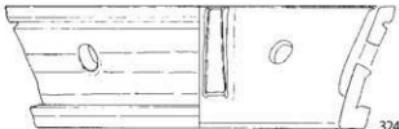


319

S K 187



320



324



321



322



323



325

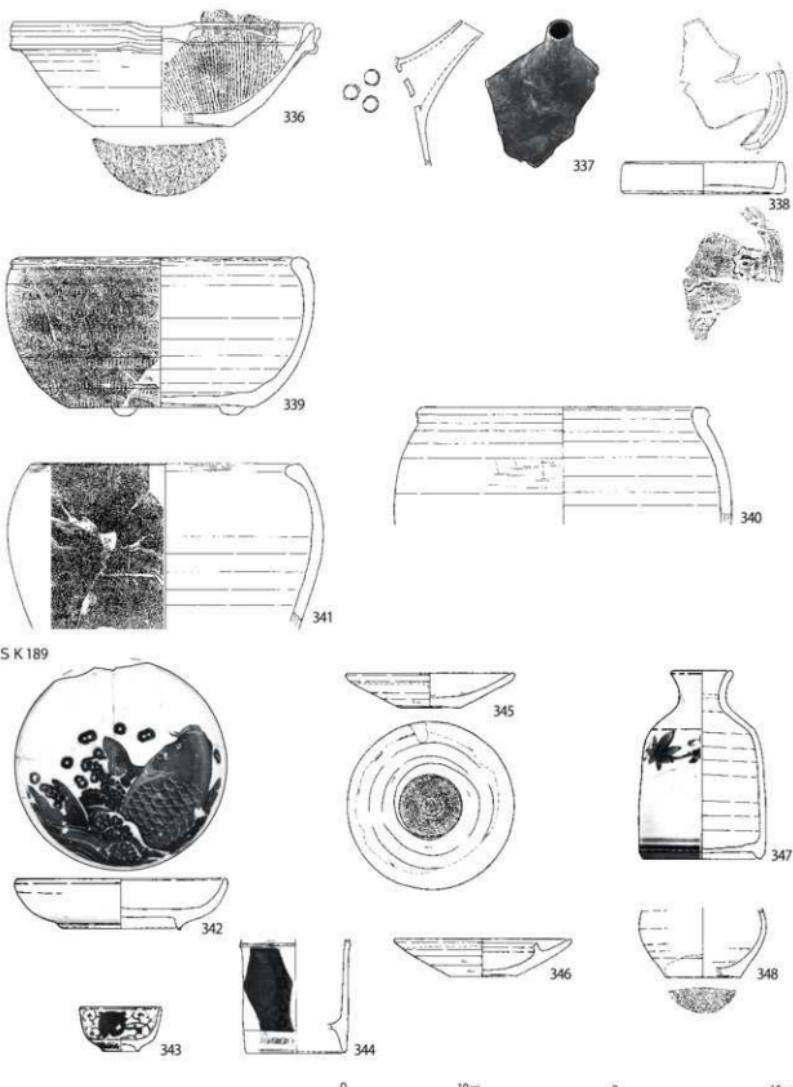
325 0 10cm

314~324 0 10cm

第448図 第5区画の土壤出土遺物 (30)



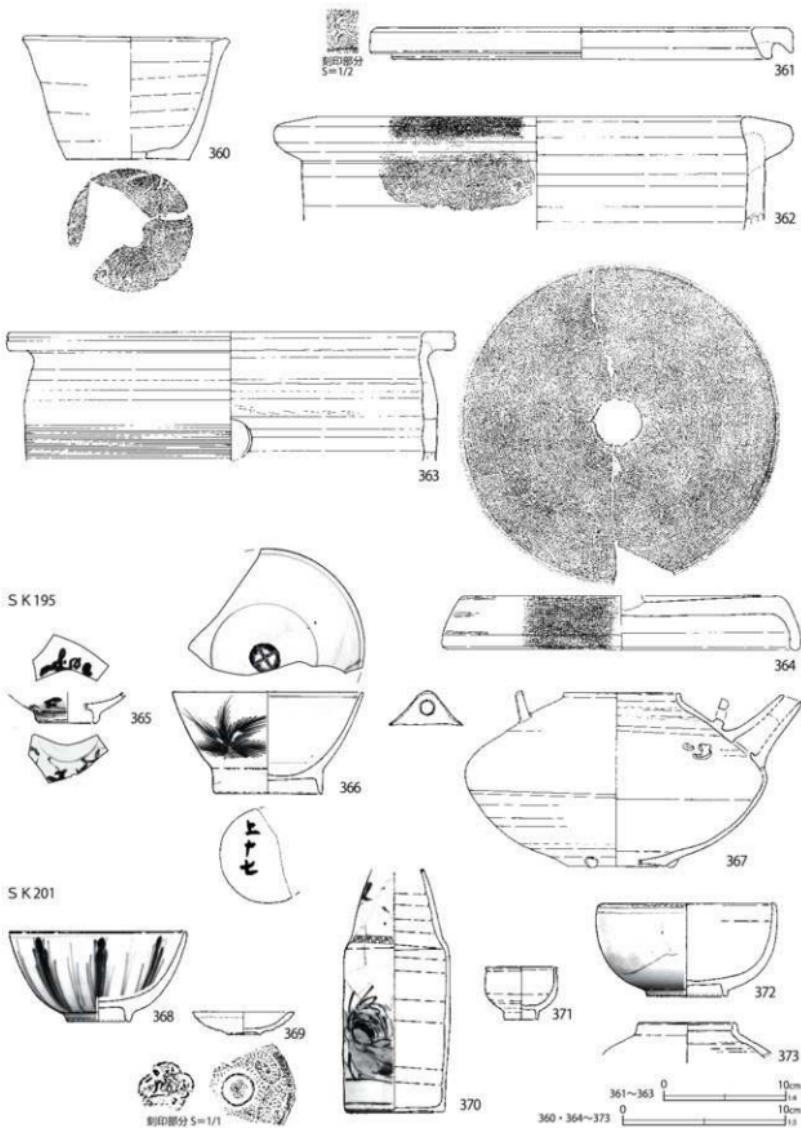
第449図 第5区画の土壤出土遺物 (31)



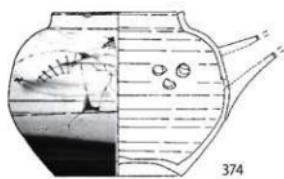
第450図 第5区画の土壤出土遺物 (32)



第451図 第5区画の土壤出土遺物 (33)



第452図 第5区画の土壤出土遺物 (34)



374



375



376

SK 208



377



378



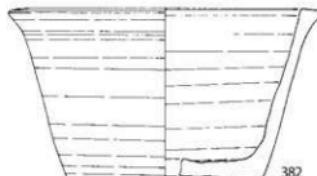
379



380



381



382



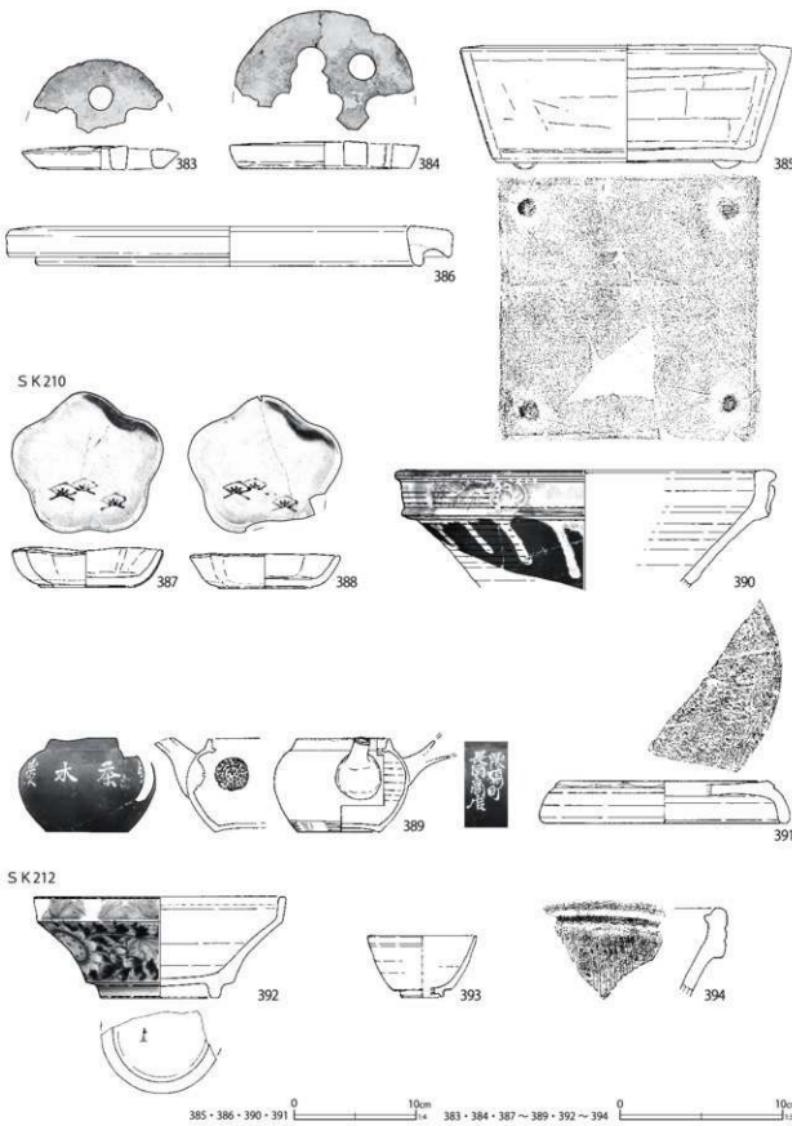
383



385



第453図 第5区画の土壤出土遺物（35）

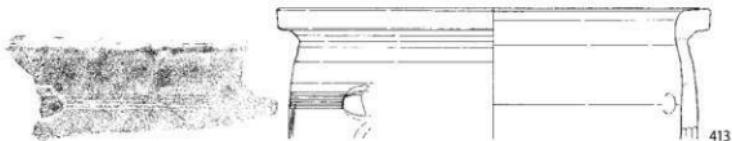
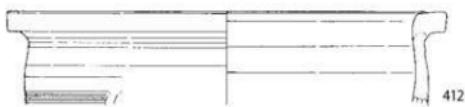
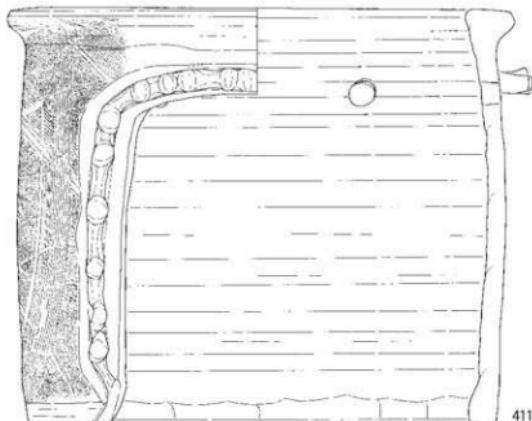
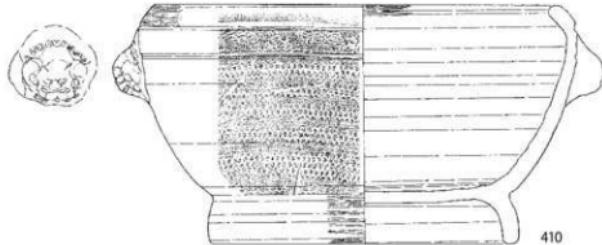


第454図 第5区画の土壤出土遺物 (36)

SK217



第455図 第5区画の土壤出土遺物 (37)



0 10cm

第456図 第5区画の土壤出土遺物 (38)

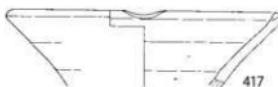
S K 224



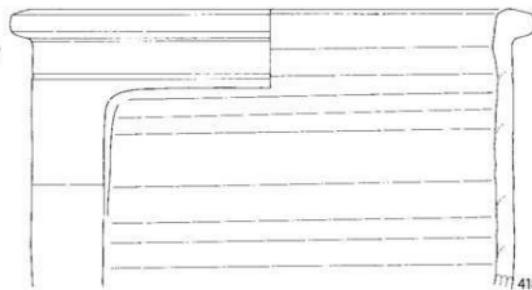
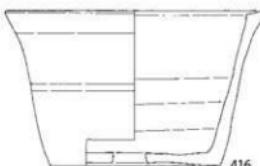
415



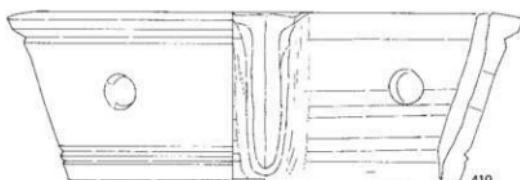
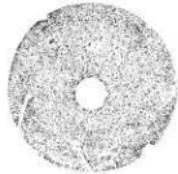
414



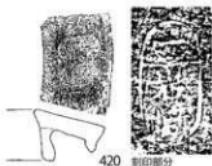
417



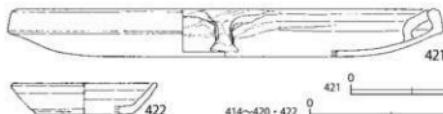
418



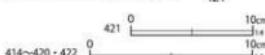
419



420



421



422

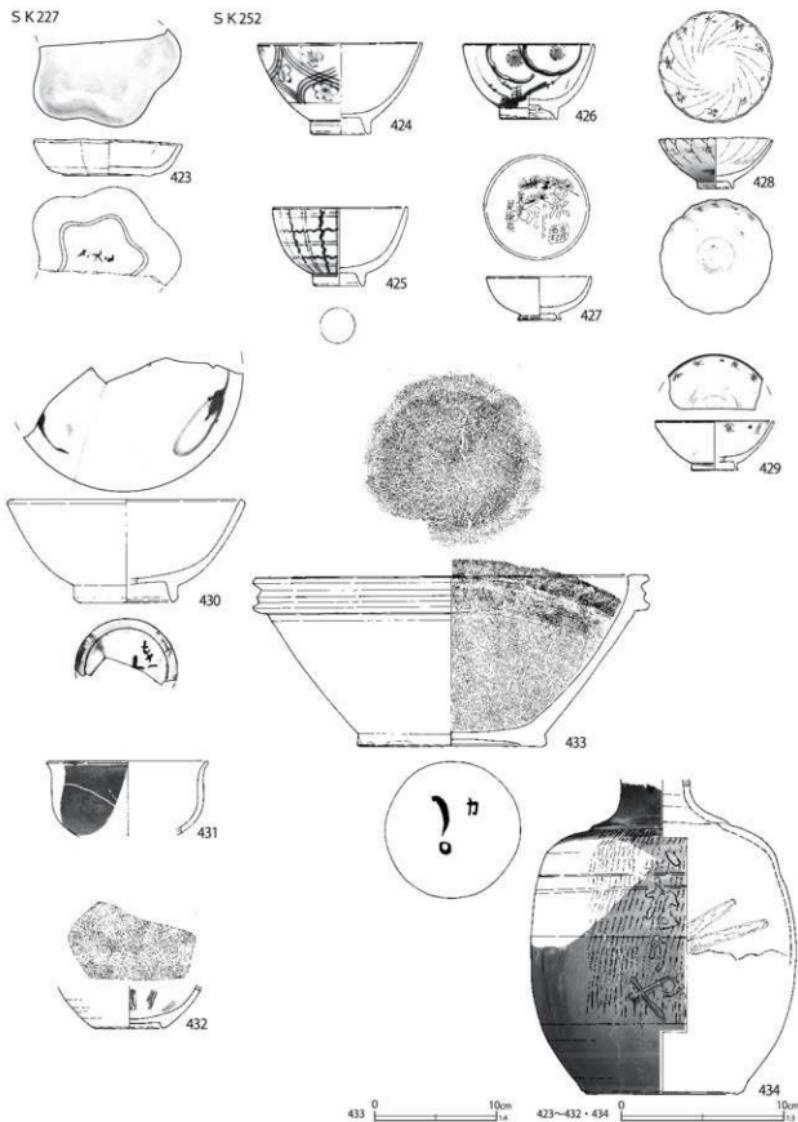


421 0 10cm

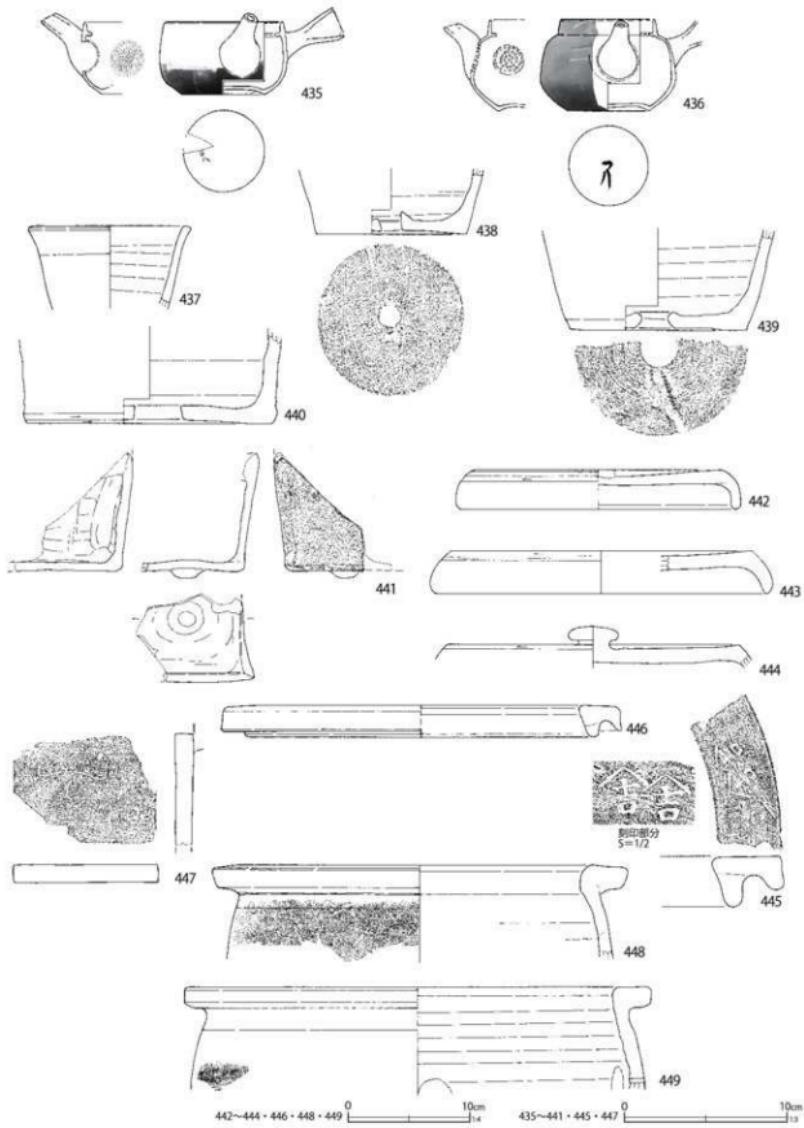


422 0 10cm

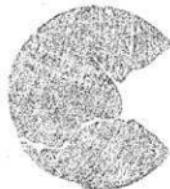
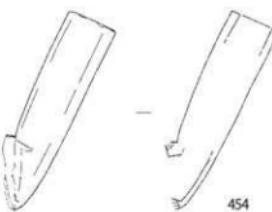
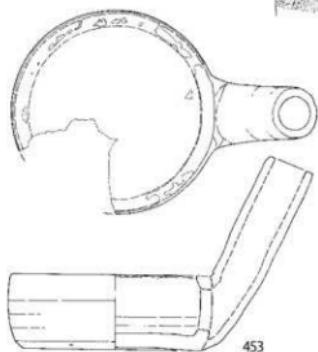
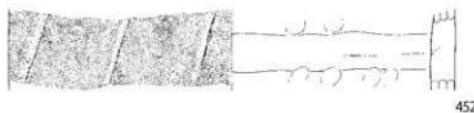
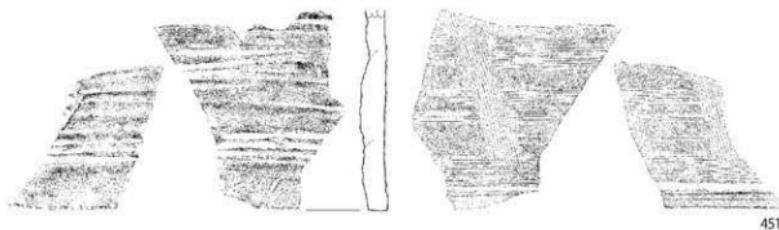
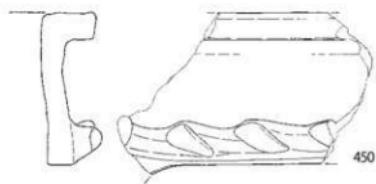
第 457 図 第 5 区画の土壤出土遺物 (39)



第458図 第5区画の土壤出土遺物 (40)



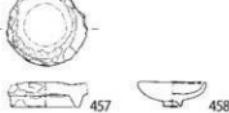
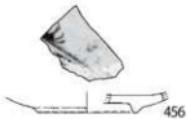
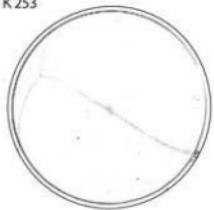
第459図 第5区画の土壤出土遺物(41)



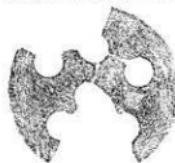
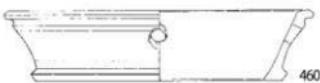
451・452 0 10cm 450・453・454 0 10cm

第460図 第5区画の土壤出土遺物(42)

SK253



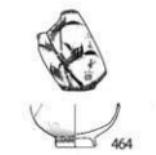
459



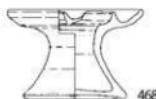
SK314



466



466



470

0 10cm

455~459・461~470 0 10cm

第461図 第5区画の土壤出土遺物(43)



第462図 第5区画の土壤出土遺物 (44)

第200表 第5区画の土壤出土遺物観察表(1)(第419~462図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	施成	色調	遺構	備考	団版
1	磁器	碗	10.6	5.8	3.6	-	100	良好	白	SK164	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付	
2	磁器	碗	-	[2.6]	3.9	-	20	良好	白	SK164	瀬戸美濃系 内外面施釉 文・染付 焼き繙ぎ痕	
3	磁器	杯	8.0	4.8	3.0	-	95	良好	白	SK164	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付 同文別個体1あり	
4	磁器	花生か	-	[9.1]	-	-	50	良好	白	SK164	瀬戸美濃系 施釉 上面染付 把手部分(幅2.3cm厚1.0cm)	
5	陶器	急須	7.6	6.4	5.6	I	95	良好	赤褐色	SK164	萬古系 刻印「萬古・藤松」か 焼き繙ぎ痕・焼き繙ぎ印(赤) 底部墨痕	
6	土師質土器	把手付鍋	(18.0)	3.5	(18.4)	CHIK	5	普通	にぶい橙	SK164	砂目底 内底面・外面部に煤付着	
7	土師質土器	器台	-	[6.6]	(24.8)	AHK	10	普通	にぶい褐	SK164	三河窯 内面煤付着	
8	陶器	蓋	-	[1.5]	6.0	IK	90	良好	橙	SK167	大堀相馬系 内外面施釉 上面加飾(混毛り)・灰釉 空孔1 下面刻印「相馬」(急須の蓋)	156-7
9	陶器	急須	7.2	6.7	5.4	IK	85	良好	にぶい黄椎	SK167	大堀相馬系 外面鉄釉・加飾 上位灰釉	156-7
10	瓦質土器	火鉢	-	[10.5]	(21.5)	CFHIK	20	普通	灰・灰白	SK167	外面施文 脚部穿孔・外面上位ミガキ鑿打	156-6
11	瓦質土器	甌	29.3	29.0	(33.0)	CFHIK	60	普通	明赤褐色	SK167	やや酸化施成 内面櫛状施文 背面に孔2 体部二次穿孔2(補強孔) 内面煤多量に付着	
12	土師質土器	焙烙	(34.8)	4.6	(36.0)	ACFHIK	15	普通	にぶい黄橙	SK167	砂目底 底部内側煤付着	
13	磁器	碗	10.0	5.6	3.5	-	100	良好	白	SK169	肥前系 内外面施釉・染付	157-1
14	磁器	碗	(10.5)	5.4	(4.0)	-	30	良好	白	SK169	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 焼き繙ぎ痕・焼き繙ぎ印(赤)	157-2
15	磁器	碗	11.0	4.9	3.9	-	80	良好	白	SK169	瀬戸美濃系 内外面施釉 鋼版輪写染付 焼き繙ぎ痕・焼き繙ぎ印(赤)	157-3
16	磁器	碗	(9.6)	3.8	3.5	-	30	良好	白	SK169	瀬戸美濃系 内外面緑釉(淡色釉)・上絵付(緑) 焼き繙ぎ痕・焼き繙ぎ印(赤)	
17	磁器	碗	(10.5)	4.9	(3.4)	-	30	良好	白	SK169	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付 焼き繙ぎ痕・焼き繙ぎ印(赤)	157-4
18	磁器	碗	(11.3)	5.9	4.5	-	70	良好	白	SK169	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面染付・絵付(茶)	
19	磁器	杯	7.7	4.9	3.3	-	70	良好	白	SK169	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面網版転写染付(黒・青・桃) 同文別個体3あり	157-5
20	磁器	杯	(6.0)	3.1	(2.6)	-	25	良好	白	SK169	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面鋼版転写染付	
21	磁器	杯	(6.2)	2.8	2.4	-	25	良好	白	SK169	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付 内面上絵付	157-6
22	磁器	杯	(6.0)	2.8	(2.4)	-	40	良好	白	SK169	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付 内面上絵付(青・変色)	157-7
23	磁器	紅皿	6.1	1.3	1.9	-	100	良好	白	SK169	瀬戸美濃系 型成施釉 内面~外面上位施釉 外面型成施文	157-8
24	磁器	皿	(28.0)	4.3	(16.0)	-	25	良好	白	SK169	SK174接合 肥前系 内外面施釉 内面染付 高台内ハリ支柱2遺存 焼き繙ぎ痕	158-1
25	磁器	皿	(29.1)	4.5	(16.0)	-	40	良好	白	SK169	肥前系 内外面施釉・染付 高台内ハリ支柱 焼き繙ぎ痕	158-3
26	磁器	皿	(29.2)	4.8	(17.0)	-	50	良好	白	SK169	肥前系 内外面施釉 内面染付 口紅高台内ハリ支柱 焼き繙ぎ痕・焼き繙ぎ印(赤)	158-2
27	磁器	皿	26.6	4.6	14.8	-	90	良好	白	SK169	肥前系 内外面施釉・染付 内面一部青磁釉	158-5
28	磁器	鉢	(16.0)	[5.0]	-	-	5	良好	灰白	SK169	内外面施釉・染付 貨質粗	158-4
29	磁器	香炉	8.1	4.9	4.4	-	100	良好	白	SK169	肥前系 内面上位~外面施釉 外面染付、色絵(赤・緑) 高台部えぐり3	158-6
30	磁器	合子	(5.5)	[2.5]	-	-	20	良好	白	SK169	肥前系 内外面施釉 外面染付 内面赤色物質付着	158-7
31	陶器	灯火具	8.0	5.1	4.4	I	50	良好	灰	SK169	底部系切痕(右) 内外面灰釉	159-2
32	陶器	灯火具	7.6	4.9	4.5	I	70	良好	灰白	SK169	内外面灰釉	159-1
33	陶器	植木鉢	(18.8)	[4.6]	-	AE	25	良好	赤褐色	SK169	柘器質 外面施文	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
34	陶器	燐德利	-	[19.7]	7.1	I	90	良好	灰白	SK169	外面灰釉・鉄釉掛 徳利	159-3
35	陶器	徳利	4.4	[10.5]	-	I	30	良好	灰白	SK169	外面灰釉・呉須繪(文字)	159-4
36	陶器	土瓶	7.9	14.4	8.8	EJ	90	良好	淡黃橙	SK169	外面灰釉・白盛・鉄繪付	159-6
37	陶器	急須	(6.0)	[4.2]	-	H	20	良好	灰白	SK169	内外面施釉 鉄繪「小林染物店」	
38	土師質土器	蓋	(6.4)	0.8	(6.0)	AEGI	50	普通	橙	SK169	上面压痕 蓝土粉質	
39	瓦質土器	甕	-	4.9	-	CE	5	普通	にぶい橙	SK169	外面の一部煤付着	
40	陶器	こね鉢	-	[6.1]	(14.6)	IK	15	良好	灰白	SK175	瀬戸美濃系 内外面灰釉 内面目跡3 遺存 底部墨書	160-3
41	磁器	碗	(10.4)	5.6	(4.2)	-	25	良好	白	SK177	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 (広葉碗)	
42	磁器	碗	(10.5)	[5.2]	-	-	15	良好	白	SK177	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 焼き 健ぎ紋(端反碗)	
43	磁器	碗	9.0	4.8	3.6	-	50	良好	白	SK177	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 (端反碗)	
44	磁器	蓋	(3.8)	2.8	(9.2)	-	45	良好	白	SK177	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 (端反碗の蓋)	
45	磁器	碗	(6.0)	[3.0]	-	-	10	良好	白	SK177	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面染付 (湯呑形碗)	
46	陶器	土瓶	-	[1.8]	(6.0)	K	5	良好	灰白	SK177	大堀相馬系 外面灰釉 体部加飾 胎 土に黒色粒子目立つ 底部刻印「相馬」	
47	陶器	土瓶	(7.4)	[7.2]	-	IK	20	良好	にぶい黄橙	SK177	内面灰釉 外面イッチャン紋付(文字)	
48	陶器	土瓶	(5.5)	[3.8]	-	K	10	良好	灰白	SK177	大堀相馬系 内外面白釉	
49	陶器	蓋	-	2.8	6.3	IK	45	良好	灰黄	SK177	上面鉄釉	
50	土師質土器	皿	(14.0)	3.6	9.9	ADEHIK	75	普通	にぶい橙	SK179	三河産 上面少し被熱・白変	160-5
51	磁器	皿	15.6	2.8	9.1	-	90	良好	白	SK181	瀬戸美濃系 内外面施釉・銅版転写染 付	160-4
52	陶器	坪	6.7	4.9	3.2	IK	70	良好	灰白	SK181	灰釉・鉄釉掛け分け 外面白盛・鉄繪 の检测 胎土硬質	161-1
53	陶器	土瓶か	-	[2.0]	(11.0)	IK	5	良好	褐灰	SK181	胎土炻器質 底部墨書	161-2
54	陶器	徳利	3.8	26.0	7.8	IK	85	良好	灰黄	SK181	外面頸部鉄釉・体部灰釉・トビガンナ 状施文	161-3
55	陶器	蓋	-	[1.1]	(4.7)	I	45	良好	赤灰	SK181	萬古系 上面沈線 突孔1 最大径 (6.0) cm	
56	陶器	急須	6.4	5.6	4.8	-	95	良好	赤灰	SK181	萬古系 口唇部・注口端部・把手端 部施釉 把手に桜花紋すかし(突孔) 白盛繪付	
57	陶器	急須	(6.5)	5.3	4.8	-	60	良好	赤灰	SK181	萬古系 外面白盛繪付 墨書	161-4
58	土師質土器	器台	(27.9)	7.0	20.1	AHIK	30	普通	にぶい赤褐	SK181	三河産	161-5
59	土師質土器	蓋	5.7	0.9	5.3	AIIK	100	普通	にぶい橙	SK181	上面正直 胎土粉質 被熱・一部赤変	162-1
60	土師質土器	蓋	5.6	0.8	5.4	AHIK	95	普通	にぶい橙	SK181	上面正直 胎土粉質 被熱・赤変	162-2
61	土師質土器	蓋	5.6	0.8	5.3	AHIK	75	普通	にぶい橙	SK181	上面正直 胎土粉質 被熱・赤変	162-3
62	土師質土器	蓋	5.5	0.7	5.4	AHIK	90	普通	にぶい黄橙	SK181	上面正直 胎土粉質	162-4
63	土師質土器	蓋	(5.6)	0.7	(5.0)	AHIK	25	普通	にぶい橙	SK181	上面正直 胎土粉質 被熱・赤変	162-5
64	土師質土器	燒塗壺	(5.4)	[4.2]	-	AHIK	30	普通	にぶい橙	SK181	胎土粉質 被熱・赤変	
65	土師質土器	燒塗壺	(5.8)	[2.9]	-	AHIK	15	普通	にぶい橙	SK181	胎土粉質	
66	土師質土器	燒塗壺	(5.5)	[3.4]	-	AHIK	30	普通	にぶい橙	SK181	胎土粉質 器面やや荒れる	162-7
67	土師質土器	燒塗壺	(5.6)	[4.5]	-	AHIK	30	普通	にぶい橙	SK181	胎土粉質 器面やや荒れる	162-8
68	土師質土器	燒塗壺	(5.4)	[4.9]	-	AHIK	30	普通	にぶい橙	SK181	胎土粉質	162-6
69	磁器	碗	(9.6)	5.4	3.4	-	30	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 (端反碗)	163-1
70	磁器	碗	10.5	5.9	3.8	-	100	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 (端反碗)	163-2
71	磁器	碗	10.2	4.1	3.4	-	70	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉・銅版転写染 付	163-3
72	磁器	碗	11.2	4.9	3.6	-	70	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉・銅版転写染 付	163-4
73	磁器	碗	(10.0)	4.2	3.2	-	30	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面型紙繪染付	
74	磁器	碗	(7.0)	4.7	3.5	-	35	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付 (湯呑形碗)	
75	磁器	坪	6.5	4.6	2.7	-	100	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コ バルト染付	163-5
76	磁器	坪	6.1	4.4	2.8	-	95	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コ バルト染付	163-6

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
77	磁器	杯	6.5	4.2	2.5	-	95	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付 同文別個体1あり	163-7
78	磁器	杯	6.7	4.3	3.0	-	100	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面染付	164-1
79	磁器	杯	6.9	4.5	3.0	-	95	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面染付	164-2
80	磁器	杯	6.5	4.6	2.9	-	70	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付	164-3
81	磁器	杯	6.9	4.5	2.9	-	80	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付	164-4
82	磁器	杯	(5.9)	3.6	2.6	-	35	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 染付 口紅	164-5
83	磁器	杯	7.9	4.0	3.6	-	70	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 鋼版転写染付 同文別個体2あり	
84	磁器	杯	7.1	2.4	2.2	-	100	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面型紙摺染付	165-1
85	磁器	杯	6.7	2.6	2.5	-	65	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 型成形 内面～口縁部施釉 外面型押文	164-6
86	磁器	紅皿	(5.7)	1.3	1.8	-	50	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 型成形 内面～口縁部施釉 外面型押文	
87	磁器	紅皿	(5.8)	1.4	(2.0)	-	50	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 型成形 内面～外面上位施釉 外面型押文 底部刻印	164-7
88	磁器	杯	8.3	3.5	3.4	-	60	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面上給付(金)	165-2
89	磁器	杯	6.1	2.8	2.6	-	75	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面上給付(卵殻形酒杯)	
90	磁器	杯	6.0	2.7	2.3	-	65	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面染付 内面上給付(金・青) (卵殻形酒杯)	165-3
91	磁器	皿	13.4	2.8	6.9	-	95	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付 蛇の目彫型高台 同文別個体1あり	165-4
92	磁器	皿	(11.0)	2.0	6.7	-	70	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面型紙摺染付	
93	磁器	皿	14.6	4.0	8.0	-	80	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面鋼版転写染付 蛇の目彫型高台	
94	磁器	鉢	15.0	4.7	8.3	-	85	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面型紙摺染付 蛇の目彫型高台	
95	磁器	皿	(37.7)	5.8	(20.4)	-	20	良好	白	SK182	SK184接合 肥前系 内外面施釉 酸化コバルト染付	165-5
96	磁器	楕木鉢	(21.3)	[4.2]	-	-	10	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 染付 焼き継ぎ鉢 少量焼付有	
97	磁器	水注	(2.3)	[8.3]	-	-	45	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 染付	165-6
98	磁器	脚神酒利	-	[7.6]	3.7	-	70	良好	白	SK182	肥前系 外面施釉 染付	
99	磁器	蓋	2.1	3.9	2.2	-	85	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 上下合型成形 外面施釉 ミニチュアか	165-7
100	磁器	土瓶	7.2	8.1	6.6	-	95	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付 距離部煤付着	
101	磁器	蓮華	-	5.2	-	-	100	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 酸化コバルト染付 内外面灰釉 内面目跡5	165-8
102	陶器	片口鉢	12.7	6.7	7.8	IK	95	良好	灰白	SK182	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面墨書き「九」	166-3
103	陶器	甕	-	[1.3]	-	EHHK	5	良好	灰白	SK182	瀬戸美濃系 内面施釉 底部墨書き「九」	166-4
104	陶器	燐德利	-	[20.1]	6.7	IK	95	良好	灰	SK182	瀬戸美濃系 外面灰釉 上位鏡袖流掛 底部墨書き「栗仲 / 高瀬尾」	
105	陶器	德利	-	[9.8]	-	K	10	良好	灰白	SK182	SK184接合・182に同一個体 外面頭部緑釉 体部鉄釉・トビガナ状文	166-1
106	陶器	德利	-	[2.7]	(9.0)	IK	10	良好	灰黄	SK182	瀬戸美濃系 外面鉄釉 底部墨書き	166-2
107	磁器	碗	9.2	4.8	3.4	-	80	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 染付	166-5
108	磁器	碗	11.0	5.7	4.3	-	50	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 染付	166-6
109	磁器	碗	9.5	4.8	3.6	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 紙型紙摺染付	
110	磁器	碗	10.5	5.4	4.0	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 酸化コバルト染付	166-7
111	磁器	碗	8.9	4.8	3.0	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 色絵(赤・緑)	
112	磁器	碗	9.8	3.6	3.1	-	50	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 (鉄釉)	
113	磁器	碗	9.9	4.3	3.2	-	80	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 体部面取り 内外面施釉 外面鋼版転写染付	166-8
114	磁器	碗	10.9	4.5	3.5	-	80	良好	白	SK183		

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考		図版
											内面施釉	外側施釉	
115	磁器	碗	11.9	5.2	4.1	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉・銅版転写染付	
116	磁器	碗	10.7	4.4	3.3	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉・銅版転写染付	167-1
117	磁器	碗	11.1	4.6	3.7	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉・銅版転写染付	
118	磁器	碗	10.6	4.8	3.4	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉・外側銅版転写染付 同文別個体2あり	
119	磁器	碗	10.8	4.7	3.6	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉・銅版転写染付 同文別個体1あり	
120	磁器	碗	11.7	4.9	4.2	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉・銅版転写染付 同文別個体2あり	
121	磁器	碗	11.9	5.3	4.2	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉・銅版転写染付 同文別個体1あり	167-2
122	磁器	碗	(11.8)	[3.6]	-	-	20	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉・銅版転写染付	
123	磁器	鉢	15.3	5.3	5.5	-	80	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉・銅版転写染付 同文別個体2あり	
124	磁器	蓋	3.7	2.7	9.3	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉・酸化コバルト染付	167-3
125	磁器	蓋	3.2	2.5	9.0	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉 外面酸化コバルト染付	167-4
126	磁器	蓋	3.5	2.1	9.0	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉 外面酸化コバルト染付	167-5
127	磁器	猪口	7.6	5.8	3.5	-	80	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉・型紙繪染付 同文別個体2あり	
128	磁器	坏	8.2	4.8	4.0	-	80	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉 外面酸化コバルト染付 同文別個体2あり	
129	磁器	坏	7.6	4.4	3.3	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉・酸化コバルト染付 同文別個体2以上あり	
130	磁器	坏	7.4	4.7	3.6	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉 外面銅版転写染付(青・緑)	
131	磁器	坏	7.1	4.5	3.0	-	85	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉 外面銅版転写染付(青・緑) 同文別個体2あり	
132	磁器	坏	7.1	4.4	3.1	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉 外面銅版転写染付 同文別個体2あり	167-7
133	磁器	坏	7.1	4.6	3.5	-	80	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉 外面銅版転写染付	
134	磁器	坏	7.8	4.5	3.9	-	70	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉 外面銅版転写染付 同文別個体2あり	
135	磁器	坏	6.4	4.3	2.9	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉 外面銅版転写染付(緑・茶) 同文別個体1あり	
136	磁器	坏	7.9	4.0	3.5	-	80	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉 外面銅版転写染付 同文別個体1あり	
137	磁器	坏	7.0	4.1	3.4	-	85	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉 外面銅版転写染付 同文別個体4あり	
138	磁器	坏	(7.4)	3.5	3.3	-	50	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉 外面銅版転写染付 同文別個体1あり	
139	磁器	坏	7.8	4.0	3.5	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉 外面銅版転写染付 同文別個体2以上あり	
140	磁器	坏	7.7	4.1	3.7	-	65	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉 外面銅版転写染付 同文別個体1あり	
141	磁器	坏	7.5	3.9	3.8	-	65	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉 外面銅版転写染付 同文別個体2あり	
142	磁器	坏	7.8	4.3	3.4	-	75	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉 外面銅版転写染付	
143	磁器	坏	7.7	4.3	3.4	-	80	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉 外面銅版転写染付 同文別個体1あり	
144	磁器	坏	7.2	3.8	3.5	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉 外面銅版転写染付 (植木鉢転用)	
145	磁器	坏	7.9	4.2	3.9	-	70	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉 外面銅版転写染付	168-2
146	磁器	坏	7.8	4.0	3.7	-	60	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉 外面銅版転写染付 同文別個体2あり	
147	磁器	坏	7.0	3.8	3.3	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉 外面銅版転写染付 同文別個体1あり	
148	磁器	坏	7.5	4.3	3.6	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉 外面銅版転写染付(緑・茶)	168-3

番号	種別	器種	口径	器高	底径	出土	残存	焼成	色調	遺構	備考		図版
149	磁器	环	7.5	6.3	3.3	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面鋼版転写染付 同文別個体1あり		168-4
150	磁器	环	5.2	6.0	3.3	-	85	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面鋼版転写染付 同文別個体1あり		
151	磁器	环	6.2	6.9	3.7	-	75	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面鋼版転写染付		
152	磁器	环	7.9	3.7	2.9	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面酸化クロム青磁釉		
153	磁器	环	(7.4)	3.8	2.9	-	75	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面酸化クロム青磁釉		
154	磁器	环	6.6	2.5	2.5	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面酸化クロム青磁釉コバルト染付 内面上繪付(赤・青) 同文別個体1あり		
155	磁器	环		[2.2]	2.4	-	70	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面上繪付(金他) 「くりはし/鰐こく/稻荷屋」	168-5	
156	磁器	环	6.6	2.5	2.3	-	55	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付 内面上繪付(金・青・黄) 「鰐こく/稻荷屋」	168-6	
157	磁器	环	6.5	2.8	2.3	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 上繪付(金・青) 「くりはし/鰐こく/[稻荷屋]屋」・高台内、「全製」	168-7	
158	磁器	环	6.9	2.7	2.6	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付 内面上繪付(青・金)	168-8	
159	磁器	环	6.7	2.9	2.8	-	80	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付 同文別個体3あり		
160	磁器	环	7.2	2.9	(2.8)	-	50	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付 内面上繪付(金他)		
161	磁器	环	7.9	3.2	2.9	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面上繪付(赤・黒・金) 「征露凱旋」 金縁		
162	磁器	环	8.2	3.4	3.0	-	80	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面上繪付(金・赤) 「近衛砲兵」「征露紀念/藤倉茂吉」		
163	磁器	环	8.3	3.5	3.0	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 上繪付(赤・黒)	169-1	
164	磁器	环	8.1	3.3	3.1	-	70	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面上繪付(赤・茶・青・黄・桃・金・黒)		
165	磁器	环	5.7	2.6	2.3	-	70	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面染付	169-2	
166	磁器	环	7.6	2.4	2.3	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付	169-3	
167	磁器	猪口	(7.8)	5.9	6.0	-	45	良好	白	SK183	肥前系 内外面施釉・染付 蛇の目状高台 底部墨痕	169-4	
168	磁器	皿	13.4	3.8	8.3	-	85	良好	灰白	SK183	肥前系 内外面施釉・染付 蛇の目状高台	169-5	
169	磁器	皿	14.1	4.3	8.5	-	90	良好	白	SK183	肥前系 内外面施釉 内面染付 口紅	169-6	
170	磁器	皿	(11.0)	2.7	5.8	-	40	良好	白	SK183	肥前系 内外面施釉・染付		
171	磁器	皿	12.3	2.4	5.7	-	85	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 型成形 内外面施釉 内面型押施文 染付	170-1	
172	磁器	皿	8.1	1.9	4.5	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面鋼版転写染付 同文別個体1あり		
173	磁器	皿	12.5	2.3	7.2	-	75	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面鋼版転写染付		
174	磁器	皿	13.4	2.3	7.2	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面鋼版転写染付	170-2	
175	磁器	皿	13.3	3.1	6.8	-	75	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・型紙模染付 焼き締ぎ痕・焼き締ぎ印(赤)「中丸」	170-3	
176	磁器	皿	(13.6)	2.2	6.8	-	55	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面上繪付	170-4	
177	磁器	皿	14.9	2.4	9.2	-	75	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面鋼版転写染付	170-5	
178	磁器	皿	15.4	2.5	9.0	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面鋼版転写染付		
179	磁器	皿	18.0	2.3	10.5	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面鋼版転写染付	170-6	
180	磁器	皿	(18.3)	2.9	6.7	-	65	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面酸化コバルト染付	170-7	
181	磁器	皿	20.5	3.4	8.4	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・鋼版転写染付	171-1	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考		図版
182	磁器	鉢	7.8	2.0	4.8	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付(緑)		
183	磁器	鉢	30.8	9.0	15.0	-	100	良好	白	SK183	肥前系 内外面施釉・染付 高台内ハリ支柱6 焼き繙ぎ痕・焼き繙ぎ印(赤)「子六九」	171-3	
184	磁器	鉢	12.4	4.5	5.6	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・酸化コバルト染付		
185	磁器	鉢	14.1	5.9	6.2	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・酸化コバルト染付 蛇の目状高台 同文別個体2あり		
186	磁器	鉢	(12.6)	5.0	5.7	-	45	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・酸化コバルト染付 口虹 焼き繙ぎ印(赤)	171-2	
187	磁器	鉢	12.4	4.4	6.8	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・型範模様染付 蛇の目切高台		
188	磁器	鉢	14.3	4.7	7.4	-	85	良好	灰白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・型紙模様染付 蛇の目切高台 墨書き	171-4	
189	磁器	鉢	16.3	5.5	7.2	-	70	良好	灰白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・型紙模様染付 蛇の目切高台		
190	磁器	鉢	(11.3)	4.0	3.4	-	35	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉・酸化コバルト染付		
191	磁器	鉢	9.7	4.0	4.0	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面酸化クロム青磁釉 内面陰刻状旋文	171-5	
192	磁器	鉢	14.0	5.4	5.6	-	85	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面酸化クロム青磁釉 内面陰刻状旋文	171-5	
193	磁器	鉢	13.4	4.8	8.1	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面酸化クロム青磁釉 内外面施釉 外面較厚釉・白色、緑色の釉でイッチャン掛施 最大径9.2cm		
194	磁器	蓋	4.2	[2.4]	7.7	-	60	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面酸化クロム青磁釉 内外面施釉 外面較厚釉・白色、緑色の釉でイッチャン掛施文		
195	磁器	蓋物	8.8	4.9	6.2	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付		
196	磁器	段重	10.6	3.9	9.6	-	85	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付		
197	磁器	段重	12.6	4.8	11.3	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付		
198	磁器	植木鉢	19.1	13.2	11.3	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内面上位～外面施釉(下位青磁釉) 外面染付 焼き繙ぎ痕・焼き繙ぎ印(赤)	171-6	
199	磁器	火鉢	(18.6)	18.2	17.0	-	65	良好	灰白	SK183	瀬戸美濃系 内面上位～外面施釉 外面紙模様染付	172-1	
200	磁器	御神酒 徳利	1.3	11.0	3.0	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 外面施釉・色絵(赤・青・緑・茶)	172-3	
201	磁器	御神酒 徳利	1.5	15.9	4.7	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 外面施釉・染付	172-3	
202	磁器	燐德利	-	[14.9]	(5.6)	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 外面施釉・酸化コバルト染付	172-3	
203	磁器	燐德利	2.7	17.2	5.7	-	85	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 外面施釉・銅版転写染付 同文別個体2あり	172-3	
204	磁器	燐德利	2.5	17.1	5.1	-	75	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 外面施釉・型紙模様染付	172-3	
205	磁器	燐德利	2.6	17.5	5.3	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 外面施釉・銅版転写染付 底部墨書き「いな／りや」	172-2	
206	磁器	燐德利	(2.5)	17.7	5.8	-	85	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 外面施釉・銅版転写染付 同文別個体1あり	172-3	
207	磁器	燐德利	(2.8)	19.1	6.1	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 外面施釉・銅版転写染付 同文別個体1あり	172-3	
208	磁器	燐德利	2.8	18.0	5.9	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 外面施釉・銅版転写染付 同文別個体2あり	172-3	
209	磁器	燐德利	3.0	18.3	6.1	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 外面施釉・銅版転写染付 同文別個体3あり	172-3	
210	磁器	燐德利	(2.8)	17.9	5.6	-	70	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 外面施釉・銅版転写染付	172-3	
211	磁器	燐德利	2.6	18.0	5.4	-	90	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 外面施釉・銅版転写染付	172-3	
212	磁器	燐德利	-	[16.6]	5.9	-	75	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 外面施釉・銅版転写染付	172-3	
213	磁器	燐德利	(2.8)	18.7	5.9	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 外面施釉・銅版転写染付	172-3	
214	磁器	燐德利	-	[4.1]	5.9	-	10	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付		
215	磁器	香炉	(12.8)	[3.0]	-	-	5	良好	白	SK183	肥前系 内外面施釉・染付 外面色絵	172-4	
216	磁器	蓋	-	2.0	5.8	-	100	良好	白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面銅版転写染付穿孔1	173-1	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考		図版	
											内外面施釉	外面酸化コ		
217	磁器	急須	(6.3)	6.3	6.4	-	30	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉	173-2	
218	磁器	急須	6.0	6.8	5.0	-	95	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	内外面施釉	外	
219	磁器	蓮華	-	[3.4]	-	-	75	良好	白	SK183	瀬戸美濃系	型成形	内外面施釉	内
220	陶器	壺	(8.6)	4.4	(3.5)	I	20	良好	灰白	SK183	大垣相馬系	内面～外面上位灰釉	外	173-3
221	陶器	壺	(7.4)	2.0	4.1	I	20	良好	灰白	SK183	型成形	内外面灰釉	内面鉄繪	須
222	陶器	壺	20.0	4.0	11.0	DI	100	良好	灰白	SK183	瀬戸美濃系	内外面灰釉	内面鉄繪	(馬日壺)
223	陶器	灯明皿	8.1	1.7	3.3	K	100	良好	灰白	SK183	内外面灰釉	外面少量煤付着		173-7
224	陶器	灯明皿	8.3	1.5	4.0	E	100	良好	にぶい黄橙	SK183	内面～口縁部灰釉	外面煤付着		173-8
225	陶器	灯明皿	7.6	2.0	3.0	I	100	良好	褐灰	SK183	内面～口縁部灰釉	外面上位煤付着		174-1
226	陶器	灯明皿	8.1	1.6	3.0	I	100	良好	にぶい黄橙	SK183	京都信楽系か	内面～口縁部透明釉	内面ビン板	174-2
227	陶器	灯明皿	8.0	1.8	2.9	I	100	良好	褐灰	SK183	内外面灰釉	外面少量煤付着		174-3
228	陶器	灯明皿	7.9	1.6	3.4	E	100	良好	にぶい黄橙	SK183	内外面灰釉	口縁部僅かに煤付着		174-4
229	陶器	灯明皿	8.8	1.6	3.2	K	70	良好	灰白	SK183	京都信楽系	内面～口縁部透明釉	一部煤付着	一
230	陶器	灯明皿	8.3	1.4	3.4	EI	100	良好	灰白	SK183	内外面灰釉	外面少量煤付着		174-5
231	陶器	灯火具	7.2	5.0	5.7	E	100	良好	にぶい黄橙	SK183	底部糸切痕(右)	内外面灰釉	228と組物か	174-7
232	陶器	灯火具	7.9	5.6	4.4	E	100	良好	灰黄褐	SK183	底部糸切痕(右)	内外面灰釉		174-8
233	陶器	灯火具	7.6	5.4	5.2	I	100	良好	にぶい黄橙	SK183	底部糸切痕(右)	内外面灰釉		175-1
234	陶器	灯火具	7.7	5.3	4.6	EI	100	良好	灰黄褐	SK183	底部糸切痕(右)	内外面灰釉	底部	175-2
235	陶器	灯火具	7.6	4.9	4.6	I	90	良好	にぶい黄橙	SK183	底部糸切痕(右)	内外面灰釉		175-3
236	陶器	片口鉢	16.9	8.3	10.3	IK	100	良好	灰白	SK183	内外面灰釉	内外面目跡6	蛇の目状高台	
237	陶器	鉢	25.3	10.1	12.0	IK	75	良好	灰白・にぶい黄橙	SK183	内外面灰釉	内外面目跡6	蛇の目状高台	175-4
238	陶器	こね鉢	-	[12.7]	15.7	HIK	20	良好	灰白	SK183	内外面灰釉	内外面目跡6	遺存 蛇の目状高台・墨書き「樂橋町〔 〕店用〔小澤かり〕」	175-5
239	陶器	こね鉢	-	[3.6]	(14.1)	IK	20	良好	灰白	SK183	内外面灰釉	内外面目跡6	蛇の目状高台・墨書き「[喜紀カ]」	175-6
240	陶器	植木鉢	6.0	1.9	4.8	IK	100	良好	灰白	SK183	型成形	内面上～外外面灰釉	底部穿孔	176-1
241	陶器	植木鉢	30.8	5.8	29.5	IK	80	良好	灰白	SK183	板作成形か	口縁部～外外面灰釉	底部穿孔2	
242	陶器	植木鉢	14.0	9.3	(8.5)	IK	60	良好	灰白	SK183	口縁部～外外面灰釉	底部穿孔		
243	陶器	植木鉢	13.8	6.7	6.1	IK	95	良好	灰白	SK183	益子系か	口縁部～外外面植木	内面搖目	176-2
244	陶器	植木鉢	(16.2)	7.6	7.2	IK	65	良好	灰白	SK183	瀬戸美濃系か	口縁部～外外面植木	内面搖目	176-3
245	陶器	植木鉢	-	[6.1]	17.8	K	30	良好	灰白	SK183	外外面植木	内面搖目	高台内墨書き～ラ書き	176-4
246	陶器	植木鉢	(30.3)	13.1	(15.0)	IK	40	良好	にぶい橙	SK183	益子・笠間系	内外面植木	内面搖目	176-5
247	陶器	釜	21.2	15.9	10.1	K	75	良好	明褐灰	SK183	内面～外面上位灰釉	外外面鉄繪	イチジン掛文・底部煤付着	176-4
248	陶器	香炉	(10.2)	5.9	6.5	IK	60	良好	灰白	SK183	瀬戸美濃系	内面上位～外外面灰釉	外	
249	陶器	瓶	3.6	5.1	4.4	K	95	良好	灰白	SK183	硬質陶器	内外面灰釉	外鐵繪付(青) インク瓶	
250	陶器	水注	6.8	8.0	5.6	EK	70	良好	灰白	SK183	瀬戸美濃系	外外面植木		176-6
251	陶器	水注	(3.7)	9.0	7.1	K	90	良好	褐灰	SK183	外外面植木	底部墨書き		176-7
252	陶器	徳利	3.3	24.9	9.2	IK	80	良好	灰	SK183	外面上位灰釉	下位灰釉、トピガンナ	状施文	177-1
253	陶器	徳利	2.9	21.0	8.7	HIK	65	良好	にぶい黄橙	SK183	内面灰釉	外面上位鉄繪・下位灰釉、トピガンナ状施文		177-2
254	陶器	甕	21.7	21.0	15.1	IK	95	良好	灰白	SK183	瀬戸美濃系	内外面植木	外鐵釉流掛	177-3

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考		図版
255	陶器	甕	26.0	24.3	17.4	EIK	85	良好	灰白	SK183	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面鉄釉流掛 内面目跡7遺存	177-5	
256	陶器	甕	-	[23.6]	17.0	DIK	40	良好	にぶい褐	SK183	笠間か 内外面施釉 外面鉄釉流掛	177-7	
257	陶器	打平	14.2	9.5	9.0	IK	90	良好	灰白	SK183	内外面施釉 外面トビガンナ状施文・下位煤付着		
258	陶器	蓋	4.3	3.1	13.6	HIK	100	良好	灰白	SK183	内外面灰釉 外面施釉前に白化粧・鉄	177-4	
259	陶器	蓋	6.0	3.7	13.3	IK	100	良好	にぶい黄褐	SK183	内外面釉 外面施釉・白土染付 260と組		
260	陶器	鍋	16.2	7.9	9.6	IK	70	良好	にぶい黄褐	SK183	内外面釉 外面施釉・白土染付 底部	177-6	
261	陶器	鍋	19.2	8.7	9.5	IK	40	良好	浅黄褐	SK183	内外面施釉 底部煤付着 259と組		
262	陶器	蓋	8.5	5.1	18.2	IK	90	良好	にぶい褐	SK183	内外面灰釉 外面施釉 穿孔1 最大径21.4cm	177-8	
263	陶器	蓋	-	2.9	4.5	K	95	良好	灰白	SK183	上面灰釉・上繪付(茶・緑) 最大径6.4cm	178-1	
264	陶器	蓋	-	1.8	3.0	HIK	100	良好	にぶい黄褐	SK183	下面離糸切痕 上面灰釉・鉄鉢・白盛 絵付 最大径7.9cm	178-2	
265	陶器	蓋	-	1.7	2.8	CIK	100	良好	にぶい黄褐	SK183	下面離糸切痕 上面灰釉・鉄鉢・白盛 絵付 穿孔1 最大径7.3cm	178-3	
266	陶器	蓋	-	3.2	7.2	IK	85	良好	灰黄	SK183	上面施鉄釉・ピン痕4(窯道具痕) 最大径9.6cm	178-4	
267	陶器	蓋	-	4.2	9.5	IK	100	良好	灰白	SK183	上面施釉・三彩絵付・ピン痕5(窯道具痕)・穿孔1 (三彩土瓶の蓋) 最大径13.0cm	178-5	
268	陶器	蓋	-	4.1	8.6	IK	100	良好	にぶい赤褐	SK183	上面施釉・三彩絵付・ピン痕5(窯道具痕) 下面道具痕一部残る (三彩土瓶の蓋) 最大径11.2cm 269と組物	178-6	
269	陶器	土瓶	10.5	11.6	9.5	IK	70	良好	にぶい赤褐	SK183	底部白化粧 外面施釉・三彩絵付 268と組物	178-6	
270	陶器	蓋	-	2.7	4.8	E	100	良好	灰白	SK183	大堀相馬系か 上面縦白釉 (貰多い) 最大径6.9cm 271と組物	178-7	
271	陶器	土瓶	(7.4)	[9.8]	-	IK	15	良好	灰白	SK183	大堀相馬系か 外面縦白釉 (貰多い) 270と組物	178-8	
272	陶器	蓋	-	3.2	7.8	HIK	100	良好	灰白	SK183	上面灰釉 ピン痕4(窯道具痕) 最大径9.8cm 273と組物	179-1	
273	陶器	土瓶	9.3	13.1	9.8	IK	65	良好	灰白	SK183	外面灰釉 272と組物	179-1	
274	陶器	土瓶	8.6	10.5	8.0	IK	95	良好	灰黄	SK183	萬古系 上面釉絵付 (白盛・緑・金) 穿孔1 (急須の蓋)	179-2	
275	陶器	蓋	-	2.0	5.4	-	100	良好	褐灰	SK183	萬古系 口唇部施釉 外面白盛絵付 (文字) 底部布庄痕		
276	陶器	急須	5.9	6.9	5.3	-	70	良好	暗赤褐	SK183	萬古系 口唇部施釉 外面白盛絵付 274と組物	179-3	
277	陶器	急須	5.7	5.5	5.5	-	95	良好	暗赤灰	SK183	萬古系 口唇部施釉 外面白盛絵付 (文字) 底部布庄痕	179-4	
278	陶器	急須	5.4	5.7	5.1	-	90	良好	暗赤褐	SK183	萬古系 口唇部施釉 外面白盛絵付 「萬古」 底部布庄痕	179-5	
279	陶器	急須	-	[5.0]	4.6	I	40	良好	褐灰	SK183	萬古系 口唇部施釉 墨書	179-6	
280	陶器	急須	6.3	5.8	6.2	IK	80	良好	灰	SK183	型成形 外面施釉 貼付文に鉄釉を施す 底部刻印		
281	陶器	急須	7.6	6.2	6.0	I	70	良好	にぶい赤褐	SK183	萬古系 外面施文・施釉 上位船軸流掛 武部墨書	179-7	
282	陶器	急須	-	[0.4]	-	K	5	良好	灰白	SK183	型成形 底部布庄痕・墨書	179-8	
283	陶器	急須	(4.9)	[5.2]	-	K	15	良好	灰白	SK183	胎土2色練り込み 外面墨文	180-1	
284	施釉土器	甕	(7.4)	4.0	4.8	AI	60	普通	褐	SK183	江戸在地系 底部糸切痕(左)・墨書 内外面施釉 煙土粒質	180-2	
285	瓦質土器	火鉢	-	[5.5]	-	CIK	5	普通	灰白	SK183	外面口縁部ミガキ・施文 繪す 口唇部二次裁打		
286	瓦質土器	火鉢	(17.5)	[6.7]	-	CHIK	10	普通	灰白	SK183	口縁部ミガキ 外面トビガンナ状施文		
287	瓦質土器	提炉	-	[18.9]	(24.0)	ACEHIK	35	普通	にぶい褐・褐灰	SK183	砂目底 外面トビガンナ状施文 砂目底 やや酸化炎燒成	180-3	
288	瓦質土器	提炉	(20.5)	18.6	20.6	CHIK	70	普通	灰白・黒	SK183	砂目底 外面トビガンナ状施文 口縁部・体部の一部ミガキ 繪す 悪部幅は任意値で復元	180-4	
289	瓦質土器	甕	(32.6)	[15.3]	-	CHIK	30	普通	にぶい黄褐・褐灰	SK183	外面墨文 内面上位煤付着 繪す 悪部幅は任意値で復元	180-5	
290	瓦質土器	甕	(34.0)	[25.4]	-	OII	35	普通	褐・褐灰	SK183	外面墨文 内面上位煤付着 繪す 悪部幅は任意値で復元	180-6	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考		図版
291	瓦質土器	甌	29.8	27.8	25.5	CHIK	75	普通	灰白	SK183	砂目底 やや酸化焼成 内外面煤付着		180-7
292	瓦質土器	甌	33.1	27.6	33.5	GHIK	85	普通	にぶい椎	SK183	外面櫛齒波状文 口縁部煤付着		181-1
293	瓦質土器	堀炉類 か 堀炉	31.2	[13.7]	-	ECHIK	70	普通	にぶい赤褐	SK183	やや酸化焼成		181-2
294	土師質土器	焜炉	21.5	21.0	19.0	ADEHIK	75	普通	にぶい椎	SK183	三河系 底部ナデ・墨書「紀経や口」 外面ミガキ 扁裏に刻印		181-4
295	土師質土器	焜炉	20.7	20.3	19.5	DEHIK	50	普通	にぶい黄橙	SK183	三河系 底部ナデ・外外面ミガキ 扁裏に 刻印・墨書 上面煤付着		181-3
296	土師質土器	焜炉	19.9	19.9	19.0	ADHIK	45	普通	にぶい椎	SK183	三河系 外面ミガキ 扁裏に刻印 上 面煤付着		
297	土師質土器	焜炉	-	[12.4]	(18.5)	ADEHI	30	普通	にぶい椎	SK183	三河系 外面ミガキ 底部墨書		
298	土師質土器	焜炉	-	[5.4]	-	ACDEIK	5	普通	にぶい椎	SK183	三河系 扁裏刻印		
299	瓦質土器	火消壺	(18.4)	17.7	19.7	CHIK	70	普通	灰黄	SK183	砂目底 強く燒す		181-5
300	瓦質土器	壺	(22.2)	3.8	(24.2)	CHIK	45	普通	にぶい椎	SK183	上面砂目 燒す		
301	瓦質土器	火鉢	33.5	23.0	29.6	CHIK	90	普通	にぶい黄橙	SK183	砂目底 外面波文 口縁・脚部ミガキ 焼す 底部二次穿孔(植木鉢転用)		181-6
302	瓦質土器	火鉢	24.6	10.9	29.0	AHK	75	普通	灰褐	SK183	江戸在地系 砂目底 外面ミガキ 脚 上粉質 燒す		182-1
303	瓦質土器	電跨	(31.6)	3.3	(33.6)	AIK	35	普通	灰褐	SK183	煤多量に付着 最大径(38.7)cm		182-2
304	瓦質土器	電跨	(30.4)	2.8	(33.4)	ACIK	25	普通	にぶい椎	SK183	上面刻印(○ 岩崎) 燃す 煤付着 最大径(39.9)cm		182-7
305	瓦質土器	植木鉢	15.3	9.2	9.5	ACTK	95	普通	灰白・灰	SK183	底部穿孔 燃す		182-3
306	瓦質土器	植木鉢	(13.4)	9.6	9.7	AI	35	普通	灰	SK183	江戸在地系 底部希切痕 脚土粉質		182-4
307	瓦質土器	十能	-	[3.0]	-	CIK	30	普通	黒	SK183			182-5
308	土師質土器	把手付鍋	-	[3.8]	-	OHIK	10	普通	にぶい椎	SK183	把手部分		182-7
309	土師質土器	把手付鍋	-	[3.5]	-	CHIK	20	普通	灰白	SK183	把手部分 外面煤付着		182-6
310	土師質土器	把手付鍋	(17.8)	3.8	(15.6)	CHIK	30	普通	にぶい黄橙	SK183	砂目底		183-1
311	土師質土器	焜爐	(37.3)	[4.1]	(38.7)	CEHIK	10	普通	浅黃橙	SK183	底部シワ状痕 外面煤付着		
312	土師質土器	焜爐	(32.8)	4.3	(31.6)	CHIK	15	普通	椎	SK183	底部シワ状痕 外面煤付着		183-2
313	土師質土器	焜爐	(38.0)	[3.4]	-	CHIK	20	普通	にぶい椎	SK183	砂目底		182-8
314	磁器	鉢	-	[2.7]	6.3	-	25	良好	白	SK186	肥前系 内外面施釉・染付 焼き継ぎ 瓶・焼き継ぎ印(赤)		187-7
315	磁器	鉢	15.5	7.3	6.7	-	75	良好	白	SK186	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面鋼版転 写染付		187-8
316	陶器	皿	8.4	2.1	5.2	IK	90	良好	灰白	SK186	型成形 内外面灰釉、一部緑釉 内面 呉須繪・鉄絵、窯刷状施文 同文側脚 体1あり		188-1
317	陶器	甌	(11.3)	11.9	7.5	IK	55	良好	褐灰	SK186	笠間系 底部白化粧 内面鉄釉 外面 上位鉄釉混施、下位白化粧・銅緑釉 (二彩)		188-2
318	陶器	急須	6.1	5.7	5.0	I	90	良好	暗赤灰	SK186	萬古系 口輪部施釉・金線 外面イッ チン給付(文字)		188-3
319	瓦質土器	火鉢	(16.5)	[4.7]	-	CIK	5	普通	灰白	SK186	口縁部ミガキ 外面トピガンナ状施文 をナデ消し		
320	磁器	环	(5.6)	6.1	(3.4)	-	50	良好	白	SK187	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面上給付		
321	陶器	灯明皿	(9.2)	1.8	(4.0)	IK	25	良好	灰白	SK187	内外面灰釉・外面下位拭き取り 直重 ね焼瓶		188-4
322	陶器	土瓶	-	[2.5]	(8.4)	IK	10	良好	にぶい椎	SK187	松間系 内面海鼠釉 底部窓道具瓶		188-5
323	陶器	瓶類か	-	[3.3]	(5.6)	IK	25	良好	にぶい黄橙	SK187	底部ケズリ 内外面透明釉 上位灰釉 抜け分け 外面施文		188-6
324	土師質土器	器台	(23.8)	7.5	(20.1)	AHHK	20	普通	にぶい椎	SK187	三河系 穿孔2 遺存 上位煤付着		
325	瓦質土器	電跨	(27.2)	4.0	(29.5)	CIK	35	普通	にぶい黄橙	SK187	やや酸化焼成 上面煤付着 最大径 (33.4)cm		188-7
326	磁器	环	7.8	4.7	3.2	-	85	良好	白	SK188	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面鋼版転 写染付		189-1
327	磁器	环	(7.2)	4.5	3.3	-	50	良好	白	SK188	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面色繪 (缺) 高台内刻印		189-2
328	磁器	环	6.1	3.7	-	-	95	良好	白	SK188	瀬戸美濃系 内外面施釉 上位給付(赤・ 金・青・黄)		189-3
329	磁器	环	6.3	2.7	2.7	-	100	良好	白	SK188	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面上給付 (黒・金・緑・赤)		189-4

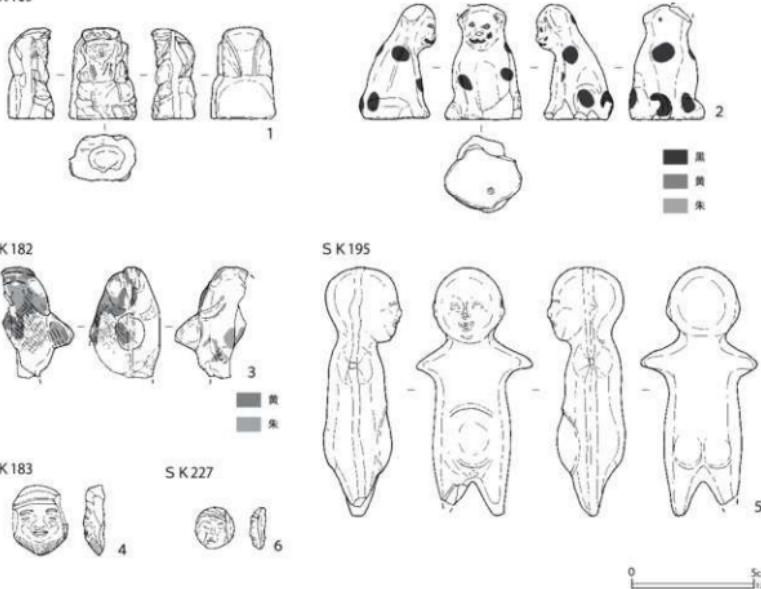
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考		図版	
330	磁器	壺	(7.5)	3.1	(3.0)	-	50	良好	白	SK188	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面上給付(赤・他)		189-5	
331	磁器	壺	(21.2)	3.3	(11.7)	-	35	良好	白	SK188	肥前系 内外面施釉 内面染付 高台内ハリ内ハリ支痕3遺存		189-6	
332	磁器	壺	-	[3.3]	(16.7)	-	20	良好	白	SK188	肥前系 内外面施釉・染付 高台内ハリ支痕4遺存		190-1	
333	磁器	猪口	7.2	6.3	5.0	-	85	良好	白	SK188	肥前系 内外面施釉・染付 蛇の目状高台		190-2	
334	磁器	徳利	3.6	25.8	(7.5)	-	35	良好	灰白	SK188	肥前系 外面施釉・染付			
335	陶器	蓋	-	[2.4]	9.3	I	50	良好	灰褐	SK188	内外面灰釉 外面給付(白)		190-3	
336	陶器	擂鉢	(18.3)	6.4	(8.6)	DEHIK	30	良好	にぶい赤褐	SK188	堺明石系 砂目底 内面擂目		190-4	
337	瓦質土器	土瓶	-	[8.9]	-	AHK	15	普通	にぶい黄褐	SK188	外面謹寸・煤付着		190-5	
338	施釉土器	鉢	(9.4)	1.9	(9.6)	AIK	20	普通	灰白	SK188	京都系 型成形 内外面透明釉 底部露胎・型押文		190-7	
339	瓦質土器	火鉢	(17.0)	9.7	11.5	CIK	60	普通	灰白	SK188	底部ナナデ 外面トビガンナ状施文 口縁部ミガキ 燐付		190-6	
340	瓦質土器	火消壺	(22.7)	[9.6]	-	CEIK	10	普通	灰白・褐灰	SK188	内面煤付着			
341	瓦質土器	火消壺	(21.6)	-	[13.6]	-	ACHIK	15	普通	黄灰・灰	SK188	口縁部～外面ミガキ 外面施文 内面煤付多箇に付着		191-1
342	磁器	壺	12.8	3.1	7.2	-	80	良好	白	SK189	瀬戸美濃系 内外面施釉・鋼版転写染付 口紅			
343	磁器	壺	4.8	2.7	2.2	-	70	良好	白	SK189	内面金彩 外面色々 高台内「九谷」銘(赤)		191-3	
344	磁器	不明	-	[6.8]	(6.0)	-	10	良好	白	SK189	瀬戸美濃系 内外面施釉・铁釉掛け分け・染付		191-2	
345	陶器	灯明皿	10.2	2.1	3.8	E	95	普通	浅黄	SK189	内面～口縁部灰釉 内面直重ね焼き痕		191-4	
346	陶器	灯明皿	10.7	2.3	(4.0)	E	20	良好	明褐灰	SK189	内面～口縁部灰釉		191-5	
347	磁器	徳利	3.5	11.5	7.1	-	70	良好	灰白	SK189	内外面施釉 外面染付 脱胎悪い		191-6	
348	陶器	豆甕	-	[4.2]	(4.6)	IK	25	良好	にぶい椎	SK189	底部糸切痕 内外面施釉		192-2	
349	陶器	五徳	-	[6.2]	-	E	10	良好	灰白	SK189	京都系(深草) 白色土器 刻印「ふか草」「ト【竈カ】」		192-1	
350	土師質土器	焜燄か	-	[4.0]	-	ADEI	10	良好	にぶい褐	SK189	三河系か 外面刻印			
351	瓦質土器	手燒り	-	[9.3]	-	CEI	15	良好	にぶい黄褐	SK189	外面一部ミガキ トビガンナ状施文			
352	土師質土器	把手付鉢	18.2	3.5	18.5	CHI	100	良好	にぶい椎	SK189	砂目底		192-4	
353	磁器	碗	(10.8)	5.5	3.8	-	15	良好	白	SK190	肥前系 内外面施釉・染付 焼き継ぎ		192-3	
354	磁器	碗	(10.9)	[4.6]	-	-	10	良好	白	SK190	肥前系 内外面施釉・染付			
355	磁器	碗	9.6	4.3	3.0	-	95	良好	白	SK190	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面上給付(赤・黄・緑)			
356	磁器	壺	15.0	4.5	8.8	-	95	良好	白	SK190	肥前系 内外面施釉 内面染付 口紅		192-6	
357	磁器	仏瓶器	(5.9)	6.8	4.0	-	45	良好	白	SK190	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面鋼版転写染付		192-5	
358	磁器	段重	(12.0)	6.0	(9.0)	-	45	良好	白	SK190	肥前系 内外面施釉 外面染付・色絵(赤・緑・紫・黄)		193-1	
359	陶器	蓋	-	1.9	5.6	I	95	良好	灰褐	SK190	萬古系 つまみ上端施釉・金彩 上面白盛給付(文字) 穿孔		193-2	
360	瓦質土器	植木鉢	12.3	7.6	7.5	CIK	75	普通	灰黄	SK190	底部へラナデ・穿孔 燐土		193-3	
361	瓦質土器	龜飼	(28.6)	2.6	(30.4)	AGHIK	20	普通	にぶい褐	SK190	やや酸化炎焼成 煤付着 最大径(34.9) cm		193-4	
362	土師質土器	龜飼	(35.4)	[9.3]	-	AIK	5	普通	褐・褐灰	SK190	外面櫛齒状施文 内面煤付着			
363	瓦質土器	龜飼	(36.5)	[10.6]	-	ACDHIK	10	普通	にぶい椎	SK190	外面櫛齒状施文・穿孔 やや酸化炎焼成 忍部遺存なし 口縁部煤付着			
364	瓦質土器	蓋	19.4	3.4	21.4	CIK	90	普通	褐灰	SK190	外面施文・一部ミガキ		193-5	
365	磁器	碗	-	[1.9]	(3.4)	-	10	良好	白	SK195	中国景德镇系 内外面施釉・染付 焼き継ぎ印(赤)		196-1	
366	磁器	碗	(11.7)	6.2	(6.5)	-	40	良好	白	SK195	肥前系 内外面施釉・染付 焼き継ぎ痕・焼き継ぎ印(赤)		196-2	
367	陶器	土瓶	7.1	10.7	(6.0)	IK	45	良好	黄灰	SK195	外面灰釉 底部少量煤付着		196-3	
368	磁器	碗	10.8	5.5	3.9	-	55	良好	白	SK201	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付・酸化コバルト染付 少量煤付着			
369	磁器	紅皿	(6.2)	1.4	1.9	-	35	良好	白	SK201	瀬戸美濃系 型成形 内面～外面上位施釉 外面型押施文 高台内刻印		198-4	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	
370	磁器	彫飾利	-	[14.8]	5.9	-	40	良好	白	SK201	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付	
371	陶器	环	4.2	3.2	2.0	E	60	良好	灰白	SK201	京都信楽系 内外面透明釉	198-5
372	陶器	蓋物	(10.4)	5.7	4.8	K	50	良好	灰白	SK201	内外面透明釉 外面鐵絵	198-6
373	陶器	土瓶	(6.0)	[2.2]	-	K	10	良好	灰白	SK201	大堀相馬系か 外面様白釉	199-1
374	陶器	土瓶	(8.0)	10.0	7.8	I	20	良好	にぶい黄緋	SK201	外面施釉・三彩繪付 下位煤付着	198-7
375	瓦質土器	瓦盤	8.3	[3.3]	-	CE	10	良好	灰白	SK201	内面煤付着	198-2
376	土師質土器	蓋	(5.5)	0.8	(4.9)	AHK	35	普通	橙	SK201	胎土粉質 被熱・赤変	
377	磁器	碗	11.5	5.2	3.9	-	60	良好	白	SK208	瀬戸美濃系 内外面施釉・銅版転写染付	
378	磁器	皿	10.6	2.2	6.4	-	90	良好	白	SK208	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面鋼版転写染付(緑) 口紅 体部外面ケズリ痕跡	
379	磁器	香炉か	-	[2.7]	-	-	5	良好	白	SK208	瀬戸美濃系 外面施釉・染付 脚部破片	200-3
380	陶器	徳利	3.6	26.4	11.6	-	100	良好	灰白	SK208	内外面施釉 外面鐵絵(文字) 内面油遺存	200-4
381	陶器	急須	6.1	7.6	4.8	-	65	良好	赤灰	SK208	萬古系 底部布庄痕 口縁部施釉 外面イッチャン染付(文字)・刻印「萬古」	
382	瓦質土器	植木鉢	(17.0)	10.4	(12.0)	AHK	45	普通	灰白	SK208	底部糸切痕(左)・ナデ消し 擾す	
383	土師質土器	目皿	(9.5)	1.4	(7.9)	AEK	30	普通	にぶい橙	SK208	三河系か 上面ヘラナデ・白化	
384	土師質土器	目皿	(11.7)	1.6	(10.6)	HHK	40	普通	にぶい桃	SK208	上面白化 被熱・赤変して瓦質土器の可能性あり	
385	土師質土器	火鉢	(22.6)	10.1	(21.3)	AHK	40	普通	灰黄緋	SK208	江戸在地系 砂目底 胎土粉質	
386	瓦質土器	電灯	(29.8)	3.2	(31.2)	HHK	45	普通	にぶい黄緋	SK208	やや酸化炎焼成 煙付着 最大径(36.9) cm	
387	陶器	皿	9.0	2.4	5.8	K	100	良好	灰白	SK210	型成形 内外面灰釉、一部錆釉 内面呉須鉢・鉢越・陽刻状の型押旋文	200-5
388	陶器	皿	9.0	2.1	5.6	IK	90	良好	灰白	SK210	型成形 内外面灰釉、一部錆釉 内面呉須鉢・鉢越・陽刻状の型押旋文	200-5
389	陶器	急須	5.5	5.8	5.0	-	90	良好	赤灰	SK210	萬古系 口唇部施釉・金縁 外面白盛輪付(文字)	
390	陶器	鉢	(29.8)	[9.6]	-	IK	20	良好	灰白	SK210	内面灰釉 外面鉄鉢 口縁部から二彩(糠白釉・錆釉)流掛	200-6
391	瓦質土器	蓋	(17.0)	3.5	(19.7)	CIK	20	普通	灰	SK210	上面砂目 塵土 内面煤付着	
392	磁器	蓋物	(15.4)	6.2	(7.2)	-	45	良好	白	SK212	肥前系 内外面施釉 外面染付 焼き	201-5
393	陶器	环	(6.6)	3.8	(2.4)	IK	30	良好	灰白	SK212	京都信楽系 内外面透明釉	
394	陶器	擂鉢	-	[5.4]	-	ADEIK	5	良好	灰赤	SK212	備前系 内面擅目	
395	磁器	碗	10.2	6.0	3.2	-	100	良好	白	SK217	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面ゴム印判染付	
396	磁器	碗	10.3	5.2	4.0	-	65	良好	白	SK217	瀬戸美濃系 内外面施釉(單色釉)	
397	磁器	环	8.2	4.9	2.7	-	100	良好	白	SK217	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面色絵(金・赤・橙・白盛) 金縁 高台内「九谷」款 純 同文別個体1あり	
398	磁器	环	6.3	6.6	3.4	-	95	良好	白	SK217	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面色絵(赤・緑・黒) 口紅 高台内「九谷」款	
399	磁器	环	4.0	1.8	1.7	-	100	良好	白	SK217	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面鋼版転写染付(紅环か)	202-1
400	陶器	甕	-	[3.7]	-	BHK	5	良好	灰褐	SK217	常滑 内面ヨコナデ 外面縱方向ヘラナデ 中輪	
401	陶器	土瓶	3.0	8.4	6.5	IK	60	良好	灰黄	SK217	瀬戸美濃系 汽車土瓶 型成形 内外面灰釉	202-2
402	陶器	皿	8.4	2.0	5.2	K	95	良好	灰白	SK217	型成形 内外面灰釉	202-3
403	陶器	灯火具	(7.3)	5.5	4.9	IK	70	良好	灰白	SK217	京都信楽系 内外面透明釉	
404	陶器	灯火具	4.5	6.0	6.8	IK	100	良好	灰白	SK217	底部糸切痕(右) 内外面灰釉	202-4
405	陶器	行平	14.0	8.4	9.2	IK	90	良好	にぶい桃	SK217	内面白化鉄後施釉 外面鉄釉 底部少量の煤付着	
406	施釉土器	羽釜	22.5	[14.1]	-	ADEIK	60	良好	にぶい桃	SK217	内外面施釉 外面下位露胎部煤付着 同形の資料1あり	
407	瓦質土器	植木鉢	(8.9)	5.1	(5.5)	CEIK	20	普通	灰白	SK217	底部ヘラナデ 擾す	
408	土師質土器	鍍銀 おこし	(11.9)	4.2	(11.1)	AIK	40	普通	灰白	SK217	底部ヘラナデ 被熱して赤変・白変	202-5

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
409	瓦質土器	竈跨	(27.6)	3.0	(29.2)	CIK	25	普通	褐灰	SK217	上面煤付着・二次的な切り込み状の傷あり 最大径(34.6)cm	202-6
410	瓦質土器	火鉢	32.9	19.8	24.1	I	90	普通	にぶい椎	SK217	砂目底 口縁部・脚部外面ミガキ 外面施文	202-7
411	瓦質土器	竈	36.0	34.4	37.9	DEGI	90	普通	にぶい椎	SK217	外面繩衛波状文 背面孔1 やや飛化成	202-8
412	瓦質土器	竈	(36.0)	[7.7]	-	ADEHIK	5	普通	灰白	SK217	外面繩衛状文 空1 残存 内面煤付着	
413	瓦質土器	竈	(35.2)	[10.7]	-	ADEHIK	5	普通	灰白	SK217	外面繩衛状施文 空1 残存 燐す 412と同一個体の可能性大きい	
414	陶器	施利	-	[24.0]	12.3	I	80	普通	灰白	SK224	外面灰釉・鉄繪(文字・店印)「新中屋」	203-1
415	陶器	涼炉	-	[2.7]	-	DEHI	5	良好	灰白	SK224	京都系 白色土器質 外面刻印	203-2
416	瓦質土器	楓木鉢	15.8	9.5	10.5	AI	80	普通	灰白	SK224	底部系切瓶 燐す	
417	瓦質土器	焜炉類	(16.0)	[4.7]	-	C	20	良好	にぶい椎	SK224	やや飛化成炎燒成	
418	瓦質土器	竈	(29.2)	[17.2]	-	CPHIK	20	普通	浅黄	SK224	外側面煤付着 宽幅は任意値で復元	
419	瓦質土器	器台	(28.0)	10.5	(23.6)	CEPHI	20	普通	灰白・椎	SK224	穿孔2 残存 やや飛化成炎燒成 口縁部内側に煤付着	
420	瓦質土器	竈跨	-	3.2	-	I	5	普通	にぶい黄	SK224	上面に刻印「 \ominus 岩崎」	203-3
421	土師質土器	培格	(34.0)	3.9	(35.4)	ACHI	20	良好	にぶい黄椎	SK224	砂目底	203-4
422	かわらけ	小皿	(8.8)	1.9	(5.8)	CIK	15	良好	灰黄	SK224	底部系切瓶 埋土砂質	
423	陶器	皿	8.8	2.2	5.5	K	55	普通	灰白	SK227	型成形 内外面灰釉、一部縫隙剥け分け 内面型押文(三日月)・兵頭繪 焼き継ぎ瓶・焼き継ぎ印(赤)・き九口」瀬戸美濃系 内外面施釉	209-1
424	磁器	碗	10.0	5.6	3.4	-	60	良好	白	SK252	「 \ominus 岩崎」 ゴム印判染付	
425	磁器	坏	8.1	4.8	3.0	-	95	良好	白	SK252	瀬戸美濃系 内外面施釉 ゴム印判染付	
426	磁器	坏	8.0	4.6	3.5	-	100	良好	白	SK252	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付・給付(茶) 高台内付着物	
427	磁器	坏	6.3	2.7	2.5	-	95	良好	白	SK252	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面酸化コバルト染付・上面付(緑・赤・茶・金)「泉川」古岡・西村・蒼海元一・御泉」	209-4
428	磁器	坏	6.9	3.1	2.2	-	95	良好	白	SK252	瀬戸美濃系 内外面施釉・上面付(金)	
429	磁器	坏	(7.2)	[3.0]	(2.8)	-	25	良好	白	SK252	瀬戸美濃系 内外面施釉 口縁部染付上面に繪付(青・赤)	
430	磁器	鉢	(14.2)	6.3	(5.8)	-	50	良好	白	SK252	瀬戸美濃系 内外面施釉(外面鉄釉單彩)・染付 煙付 煙き継ぎ瓶・焼き継ぎ印(赤)	209-5
431	陶器	碗	(9.8)	[4.6]	-	K	15	良好	黄灰	SK252	内面白化粧・施釉 外面鉄泥・イチッソニ施文	209-6
432	陶器	搖鉢	-	[2.6]	(4.2)	IK	25	良好	灰白	SK252	内外面施釉 内面撥目 小形	209-7
433	陶器	搖鉢	32.2	14.0	15.3	IK	75	良好	にぶい椎	SK252	笠間系 内外面施釉 内面撥目 底部白化粧・墨書き	209-8
434	陶器	施利	-	19.4	9.2	I	90	良好	灰白	SK252	外面灰釉・トピガンナ状施文・釘書き「いなりや」頭部鉄抽 内面下位に鉄針・鉄塊充填	210-1
435	陶器	急須	(7.2)	[5.2]	5.1	K	40	良好	灰白	SK252	外面施釉・給付 底部布目压痕・墨書き	210-6
436	陶器	急須	(5.7)	5.6	4.9	I	70	良好	褐灰	SK252	萬古系 外面給付(緑・金) 墨書き	210-7
437	瓦質土器	楓木鉢	(9.2)	[5.1]	-	AIK	10	普通	灰	SK252	江戸在地系 燐す	
438	瓦質土器	楓木鉢	-	[4.0]	9.2	CIK	20	普通	黄灰	SK252	底部静止系切 燐す	
439	瓦質土器	楓木鉢	-	[6.2]	(10.8)	CEGHIK	20	普通	灰黄褐	SK252	底部系切瓶 燐す	
440	瓦質土器	楓木鉢	-	[6.0]	(15.0)	CIK	20	普通	にぶい赤褐・黒褐	SK252	底部ナデ 燐す	
441	瓦質土器	火鉢	-	[7.6]	-	CIK	5	普通	にぶい椎・褐灰	SK252	燐す	
442	瓦質土器	蓋	(20.3)	[3.2]	(22.6)	CIK	45	普通	灰白・黒褐	SK252	上面砂目底をナデ 燐す 内面煤付着	210-2
443	瓦質土器	蓋	(24.8)	[3.5]	(27.4)	CIK	30	普通	灰白・黒褐	SK252	燐す 内面煤付着	
444	瓦質土器	蓋	(24.0)	[3.4]	-	CIK	20	普通	にぶい椎	SK252	やや飛化成炎燒成 上面砂目 燐す 煤付着	
445	瓦質土器	竈跨	-	3.1	-	EI	5	普通	黄灰	SK252	上面刻印「曾」 煤付着	210-3
446	瓦質土器	竈跨	(26.6)	2.6	(28.4)	CEIK	15	普通	にぶい椎・黒褐	SK252	煤付着 最大径(33.0)cm	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
447	土師質土器	壺	-	[6.8]	-	AHEHK	5	普通	にぶい椎	SK252	三河系	210-4
448	瓦質土器	壺	28.5	[7.7]	-	CHIK	15	普通	椎	SK252	外面柳条波状文 やや酸化焼成 煙付着	
449	瓦質土器	壺	(37.8)	[8.4]	-	CHIK	5	普通	浅黄椎	SK252	外面部2遺存・柳条状文施文 煙付着	
450	瓦質土器	壺	-	[9.3]	-	ACEHI	5	普通	灰白	SK252	燃す	
451	瓦質土器	壺	-	[16.5]	-	CTK	5	普通	灰白・黄灰	SK252	外面部柳条状文施文 燃す	
452	瓦質土器	壺	-	[6.6]	-	CEIK	5	普通	にぶい椎・灰	SK252	外面部柳条状文施文	
453	土師質土器	鍍炭灰 こし	10.7	12.0	11.1	ADEHK	85	普通	にぶい椎・赤	SK252	三河系か、底部静止系切被熱・内面白化、口縁部剥離多い	210-5
454	土師質土器	鍍炭灰 こし	-	[12.2]	-	ADEHK	5	普通	椎	SK252	三河系	
455	磁器	碗	12.2	6.4	5.2	-	95	良好	白	SK253	瀬戸美濃系 内外面施釉・ゴム印判染付	
456	磁器	皿	-	[1.3]	[6.0]	-	10	良好	白	SK253	肥前系 内外面施釉 内面染付 初期万里巻式	211-1
457	磁器	碗	-	[1.5]	4.0	-	20	良好	灰白	SK253	肥前系 内外面施釉 内面蛇の目状輪刻ぎ 二次加工(円盤状製品) 径4.9cm 重39.8g	211-2
458	磁器	环	(4.0)	1.5	1.0	-	40	良好	白	SK253	肥前系 内外面施釉 紅环か	211-3
459	瓦質土器	日皿	11.0	1.1	10.6	CHIHK	70	普通	にぶい椎	SK253	下面砂付 热・赤変	211-4
460	土師質土器	器台	(24.6)	5.7	(20.2)	AHK	15	普通	にぶい椎	SK253	三河系 内面煤付着	
461	磁器	碗	(9.4)	4.6	3.6	-	40	良好	白	SK314	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付(端反碗)	
462	磁器	碗	(10.0)	3.7	3.4	-	15	良好	白	SK314	瀬戸美濃系 内外面施釉 染付 繰ぎ痕・焼き繩き印(赤)「チ五七」	228-4
463	磁器	碗	(6.6)	4.6	(3.5)	-	45	普通	白	SK314	肥前系 内外面施釉・染付(湯呑形碗)	
464	磁器	环	-	[2.6]	2.4	-	45	良好	白	SK314	瀬戸美濃系 内外面施釉 内面上給付(青・赤・金) 外面染付	228-5
465	磁器	皿	(15.0)	2.9	(10.0)	-	20	普通	白	SK314	淡路底平系 内外面繪釉 内面型押施文	228-6
466	磁器	皿	(14.3)	5.0	9.0	-	50	普通	灰白	SK314	肥前系 内外面施釉(外面青磁釉)・染付 花綿付 煙付着	
467	陶器	土瓶	(7.4)	[6.6]	-	-	10	普通	白	SK314	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面染付	
468	陶器	灯火具	(8.0)	5.5	6.0	IK	65	普通	灰白	SK314	京都信楽系 内外面透明釉 煙付着	
469	陶器	香炉	(11.0)	[4.7]	-	I	15	普通	浅黄椎	SK314	外面灰釉 口縁部縦筋波掛	
470	陶器	片口鉢	(14.6)	[4.5]	-	EIK	5	良好	灰黄	SK314	内外面灰釉 口縁部縦白釉波掛	
471	陶器	こね鉢	(28.0)	[11.2]	-	IK	15	普通	灰白	SK314	益子系か 内外面灰釉 口縁部縦釉波掛 強弱く黒斑	
472	陶器	彌徳利	-	[8.5]	-	K	10	普通	淡黄	SK314	外面糠白釉(貢入多い)	229-2
473	陶器	蓋	-	2.9	(6.2)	K	75	良好	灰白	SK314	京都信楽系 上面透明釉・上給付(紫黄) 周囲二次敲打か	
474	瓦質土器	火鉢	(18.5)	[8.0]	(12.7)	ACEFIHK	30	普通	にぶい黄椎	SK314	やや酸化燒成 口縁部少量煤付着	
475	瓦質土器	火鉢	-	[6.2]	-	ACK	5	普通	浅黄	SK314	江戸在地系 外面施文 胎土粉質 燃す 内面色々布物模あり	
476	瓦質土器	蓋	(21.0)	3.4	(23.8)	IK	20	普通	灰	SK314	上面砂目底 燃す 内面煤付着	
477	磁器	碗	(11.0)	5.8	4.2	-	55	良好	白	SK337	肥前系 内外面施釉・染付	231-1
478	磁器	碗	-	[2.9]	4.0	-	25	良好	白	SK337	肥前系 内外面施釉・染付 烧き繩ぎ印(赤)「六ヵ」○	
479	磁器	碗	9.3	5.1	(3.7)	-	50	良好	白	SK337	瀬戸美濃系 内外面施釉・染付(端反碗)	
480	磁器	碗	(6.8)	[5.2]	-	-	20	良好	白	SK337	瀬戸美濃系 内外面施釉 外面染付	
481	陶器	土瓶	(4.8)	[1.4]	-	K	5	良好	灰白	SK337	京都信楽系 内外面透明釉	
482	陶器	水注	-	[4.8]	3.5	IK	50	良好	褐灰	SK337	瀬戸美濃系 底部系切瓶 内外面铁釉(耳付水注)	231-2
483	陶器	徳利	3.3	25.5	10.4	IK	100	良好	灰白	SK337	瀬戸美濃系 外面灰釉・底部拭き取り	

SK 169

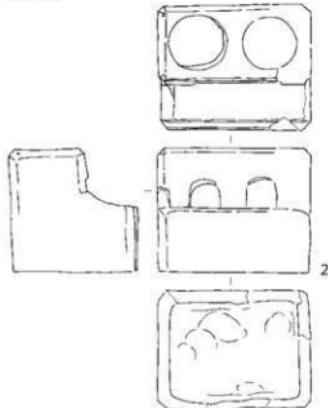


第463図 第5区画の土壤出土遺物(45)

SK 165



SK 169



SK 181

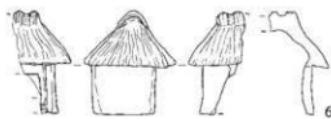
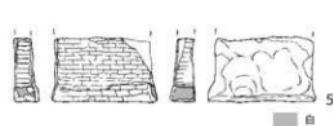


SK 182



第464図 第5区画の土壤出土遺物(46)

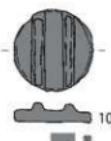
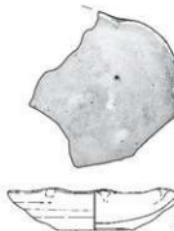
SK183



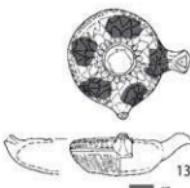
SK189



■ 黒
■ 黄



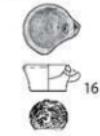
SK210



SK224



SK252



SK314



0 5cm

第465図 第5区画の土壤出土遺物 (47)

第201表 第5区画の土壤出土遺物観察表(2)(第463~465図)

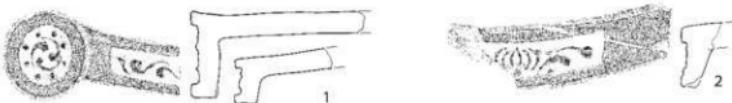
番号	種別	器種	幅/長	高さ	厚さ	重さ	胎土	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	土製品	人形	2.8/3.7	-	1.9	12.7	AK	良好	にぶい褐色	SK169	江戸在地系 恵比寿 前後合二枚型成形 中空 彩色(青)僅かに遺存	243-16
2	磁器	人形	3.1/4.6	-	2.8	33.7	-	良好	白	SK169	瀬戸美濃系 猫 前後合二枚型成形 中実 施釉 上絵付(赤・黄・黒) 下面露胎	
3	磁器	人形	[2.9]/[4.5]	-	(2.9)	9.7	-	良好	白	SK182	瀬戸美濃系 金魚 上下合二枚型成形 中空 上面施釉 彩色(黄・桜)	
4	土製品	芥子面	[2.2]/2.8	-	0.85	3.8	-	良好	にぶい褐色	SK183	江戸在地系 一枚型成形	244-3
5	土製品	人形	4.8/10.2	-	3.1	47.7	AEH	良好	褐色	SK195	江戸在地系 ぶら人形 前後合二枚型成形 中空	244-10
6	土製品	芥子面	1.6/1.6	-	0.55	1.0	AK	良好	にぶい褐色	SK227	江戸在地系 一枚型成形	245-3
番号	種別	器種	口径	器高	底径	重量	胎土	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	施釉土器	ミニチュア	-	[7.2]	-	10.7	AIK	普通	橙	SK165	江戸在地系 磁器利 外面化粧土施釉 緑釉流し掛け 接点のない2片から復元	243-15
2	土製品	玩具類	幅5.0 横6.2 高さ5.1	-	-	45.0	HIK	普通	橙	SK169	江戸在地系 瓦 板作り成形 胎土粉質	243-17
3	施釉土器	ミニチュア	1.1	[1.4]	3.4	2.3	EI	良好	灰白	SK181	京都系 茶釜 上下合二枚型成形 内外面緑釉	243-18
4	施釉土器	ミニチュア	-	1.1	1.5	4.8	A	良好	にぶい褐色	SK182	江戸在地系 瓦 型成形 上面白土施釉 新粉質	243-19
5	土製品	箱庭道具	長さ[2.5] 幅4.4	-	-	9.2	AHK	良好	橙	SK183	江戸在地系 瓦 一枚型成形 上側面施釉(一部白土) 下面指頭底	243-20
6	土製品	箱庭道具	長さ4.1 幅[2.4]	厚さ1.5	厚さ0.7	13.1	HK	良好	灰白	SK183	民家 二枚型成形 上下別作り	244-1
7	施釉土器	ミニチュア	-	2.7	[3.7]	-	IK	普通	灰白	SK183	京都系 内外面赤彩後施釉 外面施文 大鉢	244-2
8	土製品	ミニチュア	(5.4)	0.9	(2.4)	5.4	K	良好	にぶい黄	SK189	京都系 型成形 内面黒釉 底部指頭板	244-5
9	施釉土器	ミニチュア	7.2	1.7	3.0	2.3	I	良好	灰白	SK189	京都系 底部糸切痕(左) 内外面黄色釉	244-6
10	磁器	ミニチュア	-	0.9	3.2	10.2	-	普通	白	SK189	瀬戸美濃系 瓦 型成形 上面施釉 黄色塗付	244-7
11	磁器	ミニチュア	3.4	1.7	1.4	10.8	-	普通	白	SK189	瀬戸美濃系 紋 型成形 内外面施釉 内面上給付(青・緑・赤・金)	244-8
12	磁器	ミニチュア	2.6	3.4	2.3	20.4	-	良好	白	SK189	瀬戸美濃系 急須 上下合二枚型成形 外面施釉 六角形	244-9
13	施釉土器	ミニチュア	1.3	1.7	-	10.6	EK	普通	灰白	SK210	京都系 急須 上下合二枚型成形 上面施釉 緑釉 線4.5 横5.0	244-12
14	施釉土器	ミニチュア	3.3	1.6	3.2	12.9	IK	良好	灰白	SK210	京都系 内外面施釉	244-14
15	土製品	ミニチュア	4.9	1.5	2.0	8.3	K	普通	にぶい褐色	SK224	外表面光沢 内面擦目 摺鉢	244-13
16	施釉土器	ミニチュア	2.2	1.1	1.5	3.3	K	普通	灰白	SK252	京都系 片口鉢 底部離し糸切痕 内外面黄色釉	245-4
17	施釉土器	ミニチュア	4.0	2.4	1.8	13.6	K	普通	灰白	SK252	京都系 型成形 外面白色釉 外面緑釉流し掛け	245-5
18	施釉土器	ミニチュア	幅4.1 横[5.7]	高さ2.7	-	18.7	K	普通	灰白	SK252	京都系 型成形 内外面黄色釉・緑釉流し掛け	
19	磁器	ミニチュア	4.6	1.7	2.2	9.8	-	普通	白	SK252	瀬戸美濃系 瓢 内外面施釉(褐色・青)	
20	磁器	ミニチュア	2.2	3.1	1.8	13.0	-	普通	白	SK252	瀬戸美濃系 瓢 前後合二枚型成形 内外面施釉	
21	施釉土器	ミニチュア	5.8	1.3	2.8	-	E	良好	灰白	SK252	京都系 内外面施釉 銀か	245-6
22	施釉土器	ミニチュア	1.2	8.9	2.8	35.9	EIK	普通	灰白	SK314	京都系 徳利 底部離し糸切痕(右) 内外面施釉 緑釉流し掛け	245-18

が、これらは個別に生産者を表すものらしい(能芝2011)。第473図81~86は金属製品である。81は、がま口の口金で、丸のつかないタイプと考えられる。

第190号土壤は、第189号土壤と重複する土壤

で、長軸1.6m以上の不整長方形を呈する。第451・452図353~364に出土した陶器を示す。361は瓦質土器の鼈螺である。上面には「〇」が二個並ぶ刻印がある。胎土に微細な雲母を少し含んでおり、角閃石は含まれていない。

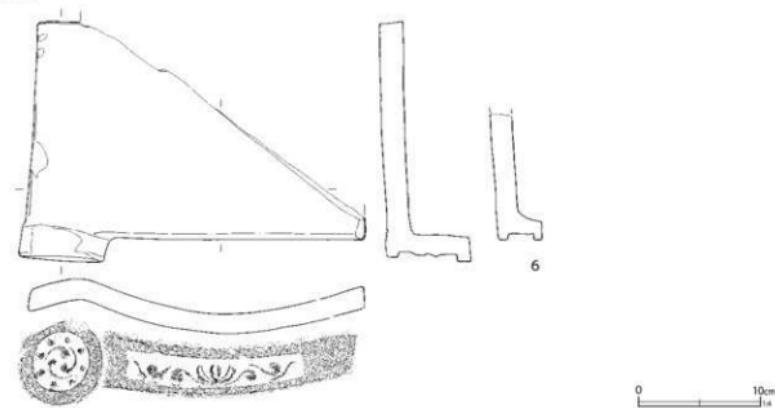
SK177



SK195



SK337



第466図 第5区画の土壤出土遺物(48)

第202表 第5区画の土壤出土遺物観察表(3)(第466図)

番号	種別	器種	長さ	幅	径	胎土	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	瓦	軒棟瓦	[14.4]	[15.6]	6.8	AIK	良好	灰白	SK177	右巻き 8珠文 始土硬質	254-10
2	瓦	軒棟瓦	[4.9]	[8.5]	-	ACIK	普通	灰白	SK177		255-3
3	瓦	軒棟瓦	[7.0]	[15.2]	6.1	ACIK	良好	灰白	SK195		
4	瓦	軒棟瓦	-	[6.0]	-	ACHIK	良好	灰黄	SK195	被熱・赤変	
5	瓦	軒棟瓦	-	[7.4]	-	AHK	良好	灰	SK195	始土硬質	
6	瓦	軒棟瓦	[17.5]	28.3	7.1	HK	普通	灰白	SK337	右巻き	256-6

第195号土壤は、区画西側に位置する土壤で、長軸1.1mの楕円形を呈する。第452図365～367に出土した陶磁器を示す。

365は中国清朝磁器で、景德鎮窯系のものである。高台端部は面取りされて下端断面は尖る。内

外面に畫文が施される。366は肥前系磁器の広東碗で、底部に「上十七」の焼き離ぎ印がみられる。367は陶器の土瓶である。陶磁器は少なく、詳細な時期は不明である。

第201号土壤は、第314号土壤など複数の土壤

SK181



1



2



3

SK183



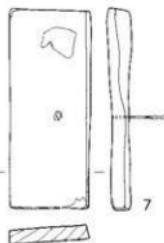
4



5



6



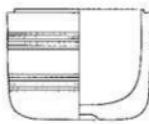
7



8



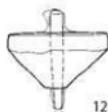
9



10



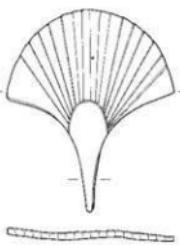
11



12



13



14

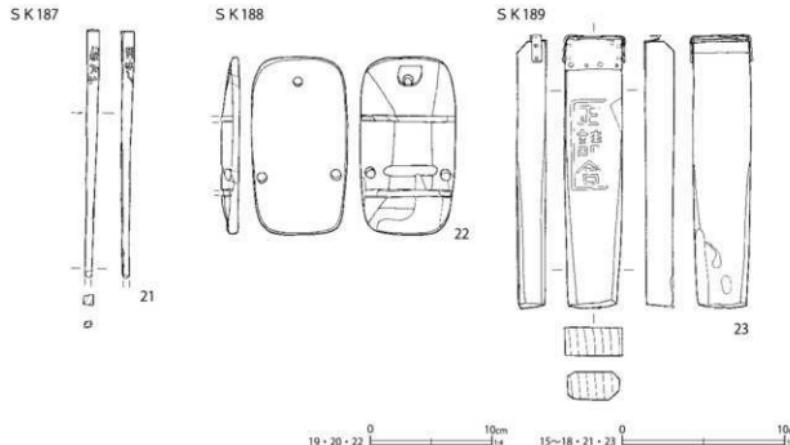
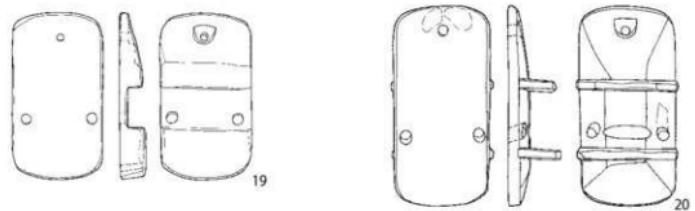
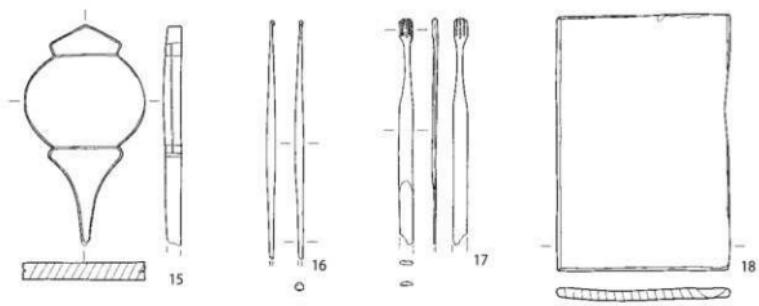
4

10cm

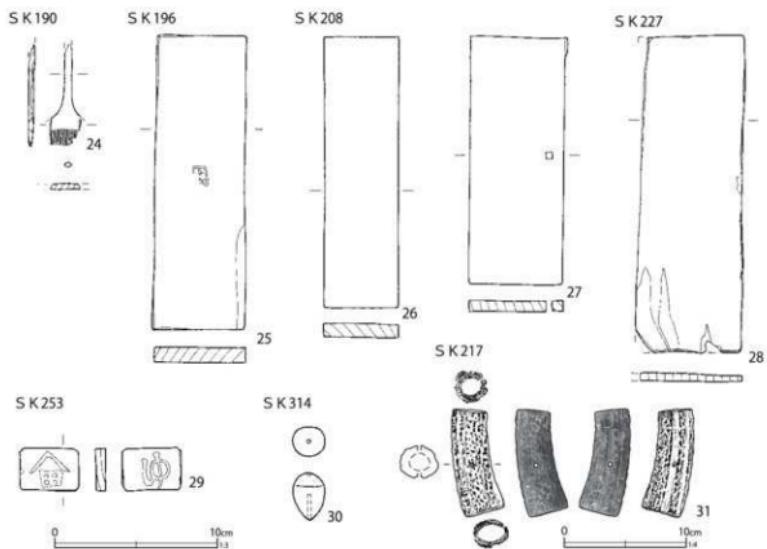
0

10cm

第467図 第5区画の土壤出土遺物(49)



第468図 第5区画の土壤出土遺物 (50)



第469図 第5区画の土壤出土遺物(51)

第203表 第5区画の土壤出土遺物観察表(4)(第467~469図)

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径/径	高さ	底径	木取り	遺構	備考	図版
1	木製品	漆椀	-	-	-	11.2	5.3	5.4	横木取り	SK181	内面赤漆 高台内黒漆 高台内「センジ」の文字	265-5
2	木製品	木札	20.7	[3.5]	1.0	-	-	-	板目	SK181	表面墨書き 第241表27	
3	木製品	絹木	[11.8]	[2.9]	0.05	-	-	-	板目	SK181	両面墨書き 第241表28	
4	木製品	勝	19.3	18.0	1.5	-	-	-	板目	SK183	両面黒漆 側板の痕跡 焼印「㊣」針穴 18 木釘残 12	265-6
5	木製品	木札	11.9	4.4	0.6	-	-	-	板目	SK183	表面朱墨 両面墨書き 第241表30	298-1
6	木製品	木札	9.0	3.8	0.7	-	-	-	板目	SK183	表面墨書き「拾五」孔1 第241表31	
7	木製品	木札	12.2	5.0	0.8	-	-	-	板目	SK183	釘付き 片面墨書き 第241表32	298-2
8	木製品	絹木	11.6	[2.8]	0.05	-	-	-	板目	SK183	両面墨書き 第241表33	298-3
9	木製品	絹木	[4.4]	[3.3]	0.06	-	-	-	板目	SK183	両面墨書き 第241表34	
10	木製品	漆椀	-	-	-	(8.8)	6.7	4.8	横木取り	SK183	内外面黒漆 一部赤漆残 外面に構6が2段 わたり径(7.8)cm	266-1
11	木製品	板	4.6	13.7	1.1	-	-	-	板目	SK183	孔6(孔貫通3鉄釘残3) 焼印「㊣」カカ	
12	木製品	独楽	[6.1]	6.2	6.1	-	-	-	芯持材	SK183	鉄軸	266-7
13	木製品	神酒口	[12.5]	10.0	0.4	-	-	-	板目	SK183		266-2
14	木製品	神酒口	12.4	10.2	0.4	-	-	-	板目	SK183	中央に孔	266-3
15	木製品	神酒口	[13.5]	7.4	1.1	-	-	-	板目	SK183	表面線で区切り 側面溝状の切り込み	266-4
16	木製品	編み針	[14.6]	0.5	0.5	-	-	-	削出し板目	SK183	かぎ編みの編み針	266-5
17	木製品	衝突子	[13.8]	0.8	0.2	-	-	-	-	SK183	竹製 構3列 孔12	266-6
18	木製品	木札	15.7	10.8	0.7	-	-	-	板目	SK183	両面墨書き 第241表29	
19	木製品	下駄	13.5	7.3	-	-	2.2	-	板目	SK183	例り下駄	266-8
20	木製品	下駄	16.4	7.9	-	-	4.3	-	板目	SK183	陰卯下駄	

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径 / 径	高さ	底径	木取り	遺構	備考	図版
21	木製品	箸	[15.1]	0.8	0.6	-	-	-	削出し	SK187	表面「八坂神社」裏面「栗はし」の焼印あり	267-3
22	木製品	下駄	14.4	7.8	-	-	[2.1]	-	板目	SK188	陰卯下駄 朱漆	
23	木製品	皮剥き	16.8	3.8	1.8	-	-	-	板目	SK189	鞘をひがせてある 表も鋼 孔8 鋼釘5枚 表面焼印「正請合」(筋立て)	267-4
24	木製品	櫛	[6.2]	1.8	0.3	-	-	-	板目	SK190	表面焼印 裏面焼印「◎」	267-5
25	木製品	木札	18.0	5.6	0.9	-	-	-	板目	SK196	両面墨書 第241表37	298-7
26	木製品	木札	16.5	4.6	0.8	-	-	-	板目	SK208	両面墨書 第241表36	298-6
27	木製品	木札	15.1	6.0	0.7	-	-	-	板目	SK208	表面墨書 第241表41	298-11
28	木製品	木札	19.2	[6.6]	0.5	-	-	-	板目	SK227	表面墨書 第241表41	298-11
29	木製品	木札	2.6	3.6	0.6	-	-	-	板目	SK253	表面「會」裏面「ゆ」焼印	269-1
30	木製品	浮子	2.8	-	-	2.0	-	-	板目	SK314	上部赤漆 下部黒漆 上下端面に孔	272-3
31	骨製品	不明	8.8	4.2	2.7	-	-	-	-	SK217	鹿角 穿孔 重さ 63.9g	285-3

と重複して全体形が把握し難い。第452・453図368～376に出土した陶磁器を示す。368は瀬戸美濃系磁器の丸皿で、酸化コバルト染付が施される。369は瀬戸美濃系磁器の紅皿で、高台内に刻印がある。370は瀬戸美濃系磁器の爛徳利で、外面に酸化コバルト染付が施される。頭～体部間で括れる独特の形態である。371は京都信楽系陶器の壺、372は産地不詳の陶器蓋物である。373は陶器の土瓶で、外面に貫入の多い糠白釉を施釉する。胎土はやや磁質で良く焼き締まっている。大堀相馬系陶器の可能性がある。374は陶器の三彩土瓶である。375の土器は瓦灯の上部である。胎土には角閃石が目立つ。376は土師質土器焼塗壺の蓋である。

第208号土壙は、区画北東部に位置し、第183号土壙と重複して検出された。長軸1.6mの隅丸方形を呈する。第435～454図377～385に出土した陶磁器を示す。

377は瀬戸美濃系磁器の平碗である。内外面とも、銅版転写染付が施される。高台内には、○枠内に「戸忠」の銘款がみられる。380は陶器の徳利で、鉄絵で「本店」「固」の文字が書かれる。栗橋の原勢屋に関わる遺物である。内面に油が遺存しているらしく、臭いが強い。

第210号土壙は区画中央部のやや北側に位置し、長軸1.20mの楕円形を呈する土壙である。覆土は遺物を多く含む暗褐色土で、廃棄土壙と思

われる。

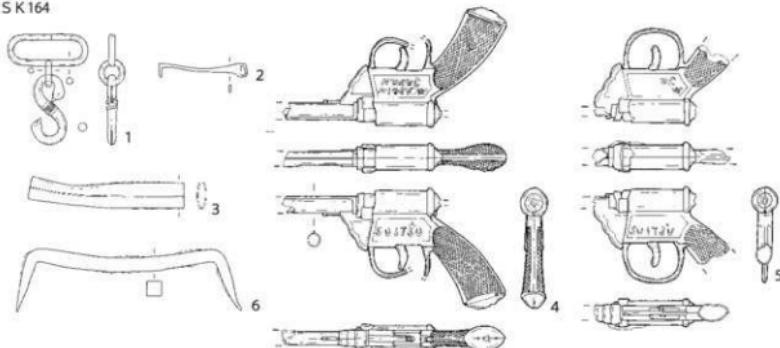
第454図387～391に出土した陶磁器を示す。このうち、387・388は型成形の陶器の皿である。平面形は五角形を基調とした変形である。产地不明としたが、瀬戸美濃系陶器の可能性がある。灰釉を地とし、一辺の口縁部に綠釉を施釉する。内底面には型押しによる三日月文様が陽刻状に表され、その部分に呉須絵・鉄絵で絵付けが施される。同様の皿は、第183号土壙（第435図221）や第186号土壙（第448図316）・第227号土壙（第458図423）等からも出土している。

第212号土壙は、区画北東部に位置するが、第183・184号土壙と重複し、遺存状態が悪い。第184号土壙を掘り込んで構築されている。

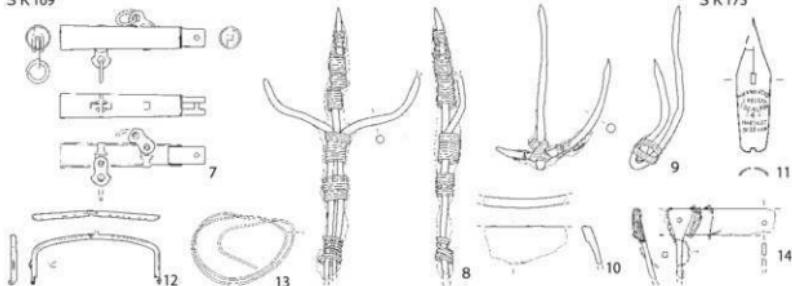
第454図392～394に出土した陶磁器を示す。392は肥前系磁器である。口縁部の釉が拭き取られ、蓋物であることが分かる。外面に唐花文などを丁寧に染付する。焼き締ぎが認められ、底部に小さく「ト二一」と読める焼き締ぎ印を認める。393は京都信楽系陶器の壺で、小杉碗を小型にした形態のものである。394は備前系陶器の擂鉢で、内面の擂目は一单位9条と思われる。陶磁器は少なかったが、青綠釉土瓶や地方窯系の柿釉甕が認められる。

第217号土壙は、区画中央部のやや北側に位置し、長軸2.30mの隅丸長方形を呈する。第455～456図395～413に出土した陶磁器を示す。396は

SK 164



SK 169



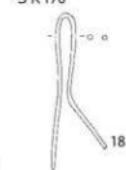
SK 174



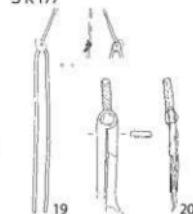
SK 175



SK 176



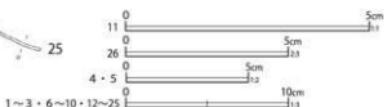
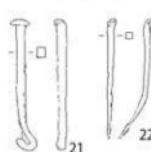
SK 177



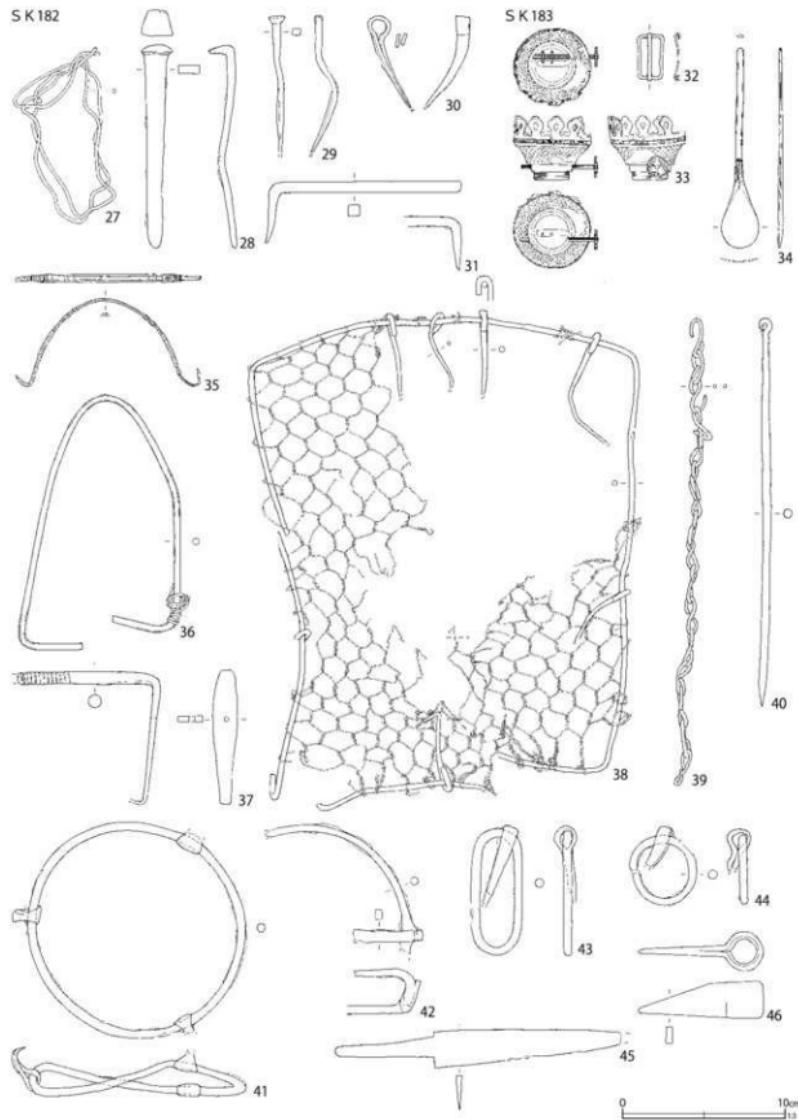
SK 181



SK 182

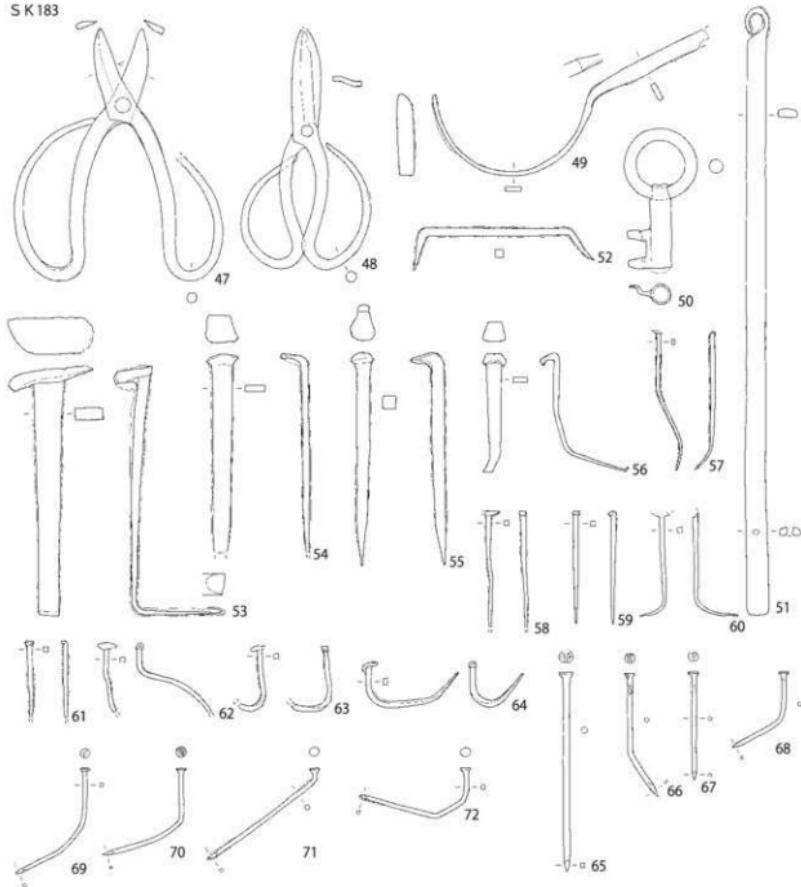


第470図 第5区画の土壤出土遺物 (52)

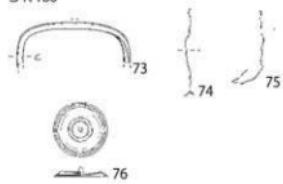


第471図 第5区画の土壤出土遺物 (53)

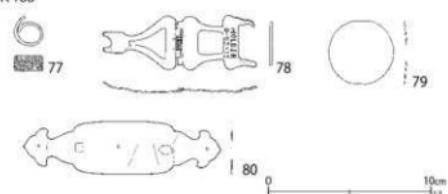
SK 183



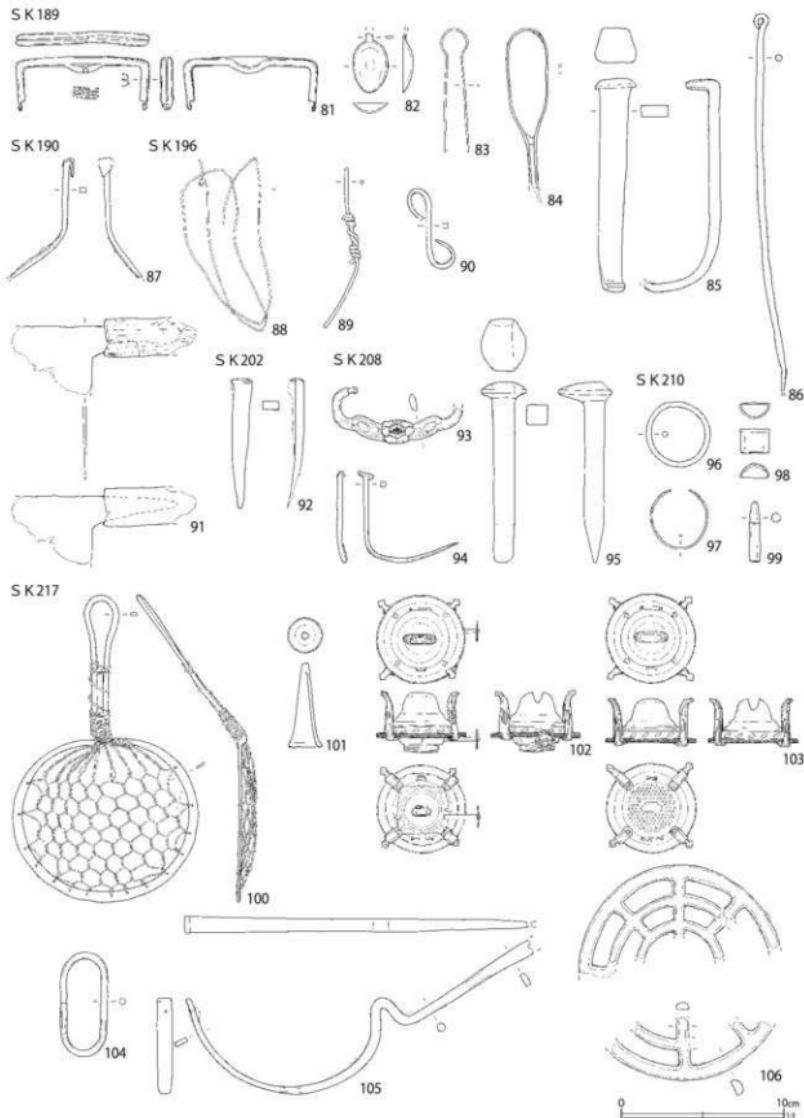
SK 186



SK 188

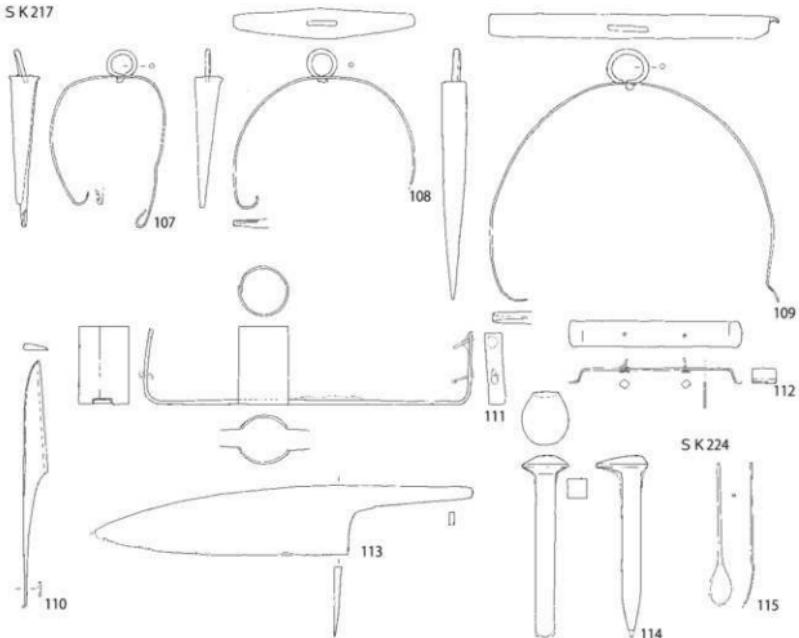


第472図 第5区画の土壤出土遺物 (54)

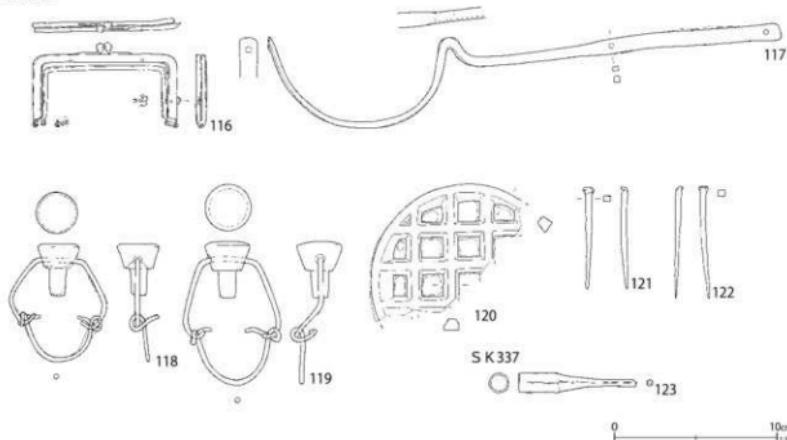


第473図 第5区画の土壤出土遺物 (55)

SK 217



SK 252



第474図 第5区画の土壤出土遺物 (56)

第204表 第5区画の土壤出土遺物観察表(5)(第470~474図)

番号	種別	器種	法量	遺構	備考	図版
1	銅製品	掛金具	縦6.75 横4.9 重さ21.8	SK164	楕円形の環金具に円環を介してS字状掛具(両端鳥頭)が垂下する 鐘の掛具か	278-2
2	銅製品	不明	長さ5.4 幅0.8 厚さ0.1 重さ1.2	SK164		
3	銅製品	不明	長さ9.5 幅1.6 厚さ0.1 重さ18.3	SK164	中空	
4	銅製品	トイガン	長さ[9.2] 高さ5.0 幅1.1 鋼身径0.55 重さ36.1	SK164	銃口欠損 表「SUITSU」裏「MADE IN JAPAN」	277-4
5	銅製品	トイガン	長さ[5.6] 高さ[3.8] 幅1.0 重さ26.5	SK164	銃身・銃把欠損 表「SUITSU」裏「MADE IN JAPAN」	277-4
6	鉄製品	鍔	長さ14.0 幅0.9 厚さ0.9 重さ59.3	SK164		
7	銅・鉄製品	竿秤	長さ8.9 径1.5 厚さ0.1 重さ47.8	SK169	取締金具2は鉄製	277-1
8	鉄製品	不明	縦[16.8] 横[9.7] 厚さ0.5 重さ66.8	SK169	3本の鉄棒を針金で連結	
9	鉄製品	不明	縦[10.1] 横[7.1] 厚さ0.5 重さ28.8	SK169	2本の鉄棒を針金で連結	
10	鉄製品	鍔	縦[2.3] 横[5.2] 厚さ0.6 重さ18.3	SK169		
11	金属製品	ペン先	長さ2.8 幅0.7 厚さ0.05 重さ0.2	SK173	材質不明 刻印「WARRANTED SPECIAL IDEAL PEN (4) HARDEST TRIDI UN X」 口金の片方玉欠失	
12	銅製品	がま口	縦[3.1] 横8.2 厚さ0.07 重さ3.0	SK173		
13	銅製品	針金	縦4.5 横6.4 厚さ0.1 重さ4.4	SK173		
14	銅・鉄製品	不明	縦[4.7] 横[6.9] 厚さ0.3 重さ10.4	SK173	鉄製金具に銅線がからまる	
15	銅製品	引出し	縦5.7 横[6.9] 奥行[6.6] 厚さ0.05 重さ48.1	SK174	径に蓋	
16	銅製品	不明	縦7.0 横4.1 厚さ0.3 重さ6.3	SK175		
17	鉄製品	釘	長さ9.7 幅0.3 厚さ0.3 重さ5.4	SK175	洋釘頭方形 刻みあり	
18	銅製品	簪	長さ9.6 幅1.3 厚さ0.3 重さ8.5	SK176		
19	銅製品	簪	長さ[12.5] 幅0.8 厚さ0.15 重さ3.1	SK177	耳かき・飾り欠失	274-1
20	銅・鉄製品	コンパス	長さ[8.2] 幅1.3 厚さ0.4 重さ7.5	SK177	持ち手は銅製で革?を巻く	
21	鉄製品	釘	長さ8.0 幅0.5 厚さ0.6 重さ12.1	SK177		
22	鉄製品	釘	長さ[7.1] 幅0.4 厚さ0.4 重さ3.1	SK177		
23	銅製品	がま口	縦[3.8] 横7.7 厚さ0.07 重さ6.9	SK181	口金の片方変形	274-2
24	銅製品	がま口	縦[4.5] 横[8.0] 厚さ0.08 重さ7.6	SK181	口金	274-2
25	銅製品	把手	長さ15.9 高さ3.5 厚さ0.15 重さ8.2	SK181	銅芯に布巻き	
26	銅製品	掛金具	径3.1 厚さ0.1 重さ5.0	SK182	釣瓶井戸	279-1
27	銅製品	針金	縦10.9 横6.3 厚さ0.2 重さ15.8	SK182		
28	鉄製品	釘	長さ12.5 幅1.3 厚さ0.5 重さ31.2	SK182		
29	鉄製品	釘	長さ[9.4] 幅0.5 厚さ0.4 重さ5.1	SK182		
30	鉄製品	環釘	長さ[5.6] 幅0.2 厚さ0.7 重さ7.6	SK182		
31	鉄製品	鍔	長さ12.1 幅0.7 厚さ0.7 重さ32.8	SK182		
32	銅製品	革留金具	縦2.9 横1.7 重さ2.1	SK183		
33	銅製品	オイルランプ	縦4.8 横5.2 高さ3.9 重さ11.7	SK183	口金	277-2
34	銅製品	匙	長さ12.3 幅2.3 厚さ0.05 重さ8.2	SK183		277-3
35	銅製品	把手	長さ11.4 高さ5.4 幅0.5 厚さ0.2 重さ3.8	SK183	番?の芯に銅板を重ねて銅線を巻く	274-2
36	鉄製品	把手	縦15.6 横10.5 厚さ0.4 重さ37.9	SK183		
37	鉄製品	把手	長さ[8.5] 高さ8.2 厚さ0.8 重さ43.4	SK183		
38	銅・鉄製品	金網	縦30.9 横24.3 厚さ0.1 重さ107.8	SK183	怍金鉄製	278-5
39	鉄製品	鍔	長さ28.6 幅0.8 厚さ0.2 重さ14.8	SK183	S字状16連	
40	鉄製品	火箸	長さ23.8 厚さ0.5 重さ28.5	SK183	箸頭瘤状	
41	鉄製品	五徳	高さ[3.0] 幅14.5 厚さ0.5 重さ53.5	SK183		
42	鉄製品	五徳	高さ2.7 幅[9.7] 厚さ0.5 重さ20.7	SK183		
43	鉄製品	吊金具	径7.8×3.2 縦8.0 厚さ0.5 重さ30.6	SK183		276-1
44	鉄製品	吊金具	径4.3×4.2 縦4.8 厚さ0.5 重さ14.5	SK183		276-1
45	鉄製品	刀子	長さ[17.7] 刃長[11.5] 刃幅2.1 背幅0.3 重さ38.8	SK183		275-2

番号	種別	器種	法量	遺構	備考	図版
46	鉄製品	盾口	縦2.3 横7.7 厚さ0.7 重さ51.2	SK183		
47	鉄製品	鍔	長さ15.5 刃幅1.3 背幅0.4 重さ162.8	SK183	植木鉢	276-2
48	鉄製品	鍔	長さ[14.7] 刃幅1.3 背幅0.3 重さ100.2	SK183	植木鉢	276-2
49	鉄製品	雨樋受け 金具	長さ[17.0] 幅1.0 厚さ0.3 重さ28.8	SK183		
50	鉄製品	鍔	長さ8.5 重さ56.2	SK183		
51	鉄製品	不明	長さ37.4 幅1.3 厚さ0.6 重さ144.3	SK183	端部環状 孔1あり	
52	鉄製品	鍔	長さ11.2 幅0.5 厚さ0.5 重さ20.0	SK183		
53	鉄製品	釘	長さ[15.3] 幅1.7 厚さ0.7 重さ134.1	SK183		
54	鉄製品	釘	長さ[12.2] 幅1.2 厚さ0.4 重さ45.2	SK183		
55	鉄製品	釘	長さ13.1 幅0.8 厚さ0.8 重さ50.7	SK183		
56	鉄製品	釘	長さ[7.3] 幅0.9 厚さ0.3 重さ18.3	SK183		
57	鉄製品	釘	長さ[8.6] 幅0.2 厚さ0.3 重さ4.1	SK183		
58	鉄製品	釘	長さ[7.2] 幅0.3 厚さ0.3 重さ3.1	SK183		
59	鉄製品	釘	長さ6.6 幅0.3 厚さ0.3 重さ3.2	SK183		
60	鉄製品	釘	長さ[6.3] 幅0.3 厚さ0.3 重さ3.1	SK183		
61	鉄製品	釘	長さ[4.7] 幅0.3 厚さ0.3 重さ2.6	SK183		
62	鉄製品	釘	長さ[4.3] 幅0.3 厚さ0.3 重さ3.5	SK183		
63	鉄製品	釘	長さ[4.0] 幅0.3 厚さ0.3 重さ3.3	SK183		
64	鉄製品	釘	長さ[2.8] 幅0.3 厚さ0.4 重さ4.0	SK183		
65	鉄製品	釘	長さ12.2 幅0.4 厚さ0.4 重さ13.7	SK183	洋釘 刺みあり	
66	鉄製品	釘	長さ[7.4] 幅0.3 厚さ0.3 重さ5.6	SK183	洋釘 刺みあり	
67	鉄製品	釘	長さ6.6 幅0.3 厚さ0.3 重さ3.3	SK183	洋釘 刺みあり	
68	鉄製品	釘	長さ4.7 幅0.3 厚さ0.3 重さ2.2	SK183	洋釘 刺みあり	
69	鉄製品	釘	長さ6.5 幅0.25 厚さ0.25 重さ3.5	SK183	洋釘 刺みあり	
70	鉄製品	釘	長さ5.3 幅0.3 厚さ0.3 重さ3.3	SK183	洋釘 刺みあり	
71	鉄製品	釘	長さ5.6 幅0.3 厚さ0.3 重さ3.7	SK183	洋釘	
72	鉄製品	釘	長さ3.1 幅0.3 厚さ0.3 重さ3.7	SK183	洋釘	
73	銅製品	がま口	縦[2.8] 横7.0 厚さ0.1 重さ2.6	SK186	口金の片方 丸欠失	
74	銅製品	針金	長さ5.4 厚さ0.06 重さ0.2	SK186		
75	銅製品	針金	縦4.5 横2.0 厚さ0.06 重さ0.1	SK186		
76	銅製品	蓋	径3.3 高さ0.6 厚さ0.1 重さ5.9	SK186		
77	銅製品	指貫	径1.8 高さ0.9 厚さ0.15 重さ4.8	SK188		
78	銅製品	紙挟み	縦9.5 横3.3 厚さ0.07 重さ7.8	SK188	HOLDER G-63712 ねじりコイルバネ式 襷引手の一部か	
79	銅製品	不明	縦3.8 横4.0 厚さ0.05 重さ3.7	SK188		
80	銅製品	飾金具	縦3.2 横12.2 厚さ0.05 重さ11.8	SK188		
81	銅製品	がま口	縦3.3 横8.2 厚さ0.06 重さ10.3	SK189	口金 丸のないタイプ	274-2
82	銅製品	スプーン	長さ[3.6] 幅2.1 厚さ0.1 重さ5.5	SK189	つば 桟欠損	
83	鉄製品	不明	縦7.7 横2.8 厚さ0.1 重さ1.2	SK189	ヘアピン状	
84	鉄製品	不明	縦[10.7] 横2.5 厚さ0.1 重さ11.2	SK189		
85	鉄製品	釘	長さ[13.5] 幅1.5 厚さ0.7 重さ97.3	SK189		
86	鉄製品	火箸	長さ[23.2] 厚さ0.4 重さ22.4	SK189	箸頭環状	
87	鉄製品	釘	長さ[7.9] 幅0.4 厚さ0.3 重さ5.2	SK190		
88	銅製品	針金	縦10.7 横5.6 厚さ0.1 重さ4.7	SK196		
89	銅製品	針金	縦9.9 横2.3 厚さ0.2 重さ6.0	SK196		
90	鉄製品	不明	縦5.0 横3.0 厚さ0.3 重さ4.7	SK196		
91	鉄製品	包丁	長さ[11.3] 刃長[4.9] 刃幅[4.2] 背幅0.2 重さ22.4	SK196	木柄付き	
92	鉄製品	釘	長さ[8.0] 幅1.0 厚さ0.5 重さ15.2	SK202		
93	鉄製品	引出しの 把手	縦3.5 横[8.0] 厚さ0.4 重さ26.2	SK208		274-2
94	鉄製品	釘	長さ5.6 幅0.3 厚さ0.3 重さ3.6	SK208		
95	鉄製品	釘	長さ11.1 幅1.3 厚さ1.2 重さ138.5	SK208		
96	銅製品	環金具	径4.0 厚さ0.3 重さ7.0	SK210		
97	銅製品	不明	径3.7 × 3.5 厚さ0.02 重さ0.8	SK210		
98	銅製品	不明	縦1.5 横1.8 厚さ0.1 重さ3.9	SK210		

番号	種別	器種	法量	遺構	備考	図版
99	銅製品	キャップ	縦3.7 横0.7 厚さ0.02 重さ0.6	SK210	鉛筆のキャップか	
100	銅製品	口すくい	縦18.9 横11.5 高さ7.5 重さ52.0	SK217		278-6
101	鉄製品か 金具	不明	口径2.1 高さ5.2 重さ23.3	SK217		
102	銅製品	オイルランプ	縦5.5 横6.4 高さ3.8 重さ20.3	SK217	口金	277-2
103	銅製品	オイルランプ	縦5.6 横5.6 高さ2.9 重さ11.5	SK217	口金	
104	鉄製品	燐金具	径6.4×2.9 厚さ0.4 重さ12.6	SK217		
105	鉄製品	雨滴受け金具	長さ[21.4] 幅0.8 厚さ0.4 重さ61.1	SK217		
106	鉄製品	火格子	径(13.0) 厚さ0.5 重さ83.0	SK217	接合しないが同一個体	
107	鉄製品	提灯金具	縦1.8 横7.1 高さ10.9 厚さ0.1 重さ18.6	SK217	把手 変形	
108	鉄製品	提灯金具	縦1.8 横11.2 高さ9.8 厚さ0.1 重さ17.5	SK217	把手	274-2
109	鉄製品	提灯金具	縦1.5 横17.9 高さ15.6 厚さ0.1 重さ34.5	SK217	把手	
110	鉄製品	鋸歯	長さ[15.1] 刃幅1.5 背幅0.4 重さ22.6	SK217		
111	鉄製品	提灯金具	横20.5 高さ4.8 幅1.0 厚さ0.3 重さ81.3	SK217	台部か 針3残存	
112	鉄製品	提灯金具	縦1.5 横10.6 高さ1.6 厚さ0.1 重さ11.7	SK217	脚台 針2残存	
113	鉄製品	包丁	長さ[23.2] 刃長[15.6] 刃幅4.3 背幅0.5 重さ107.3	SK217		274-1
114	鉄製品	釘	長さ11.1 幅1.2 厚さ1.2 重さ140.1	SK217		
115	銅製品	扉	長さ[8.7] 幅1.3 厚さ0.05 重さ1.6	SK224		277-3
116	銅製品	がま口	縦5.2 横9.2 厚さ0.07 重さ24.6	SK252	口金 内部の仕切り金あり	274-2
117	鉄製品	雨滴受け金具	長さ31.5 幅1.0 厚さ0.3 重さ74.1	SK252		276-2
118	磁器・鉄製品	栓	縦7.3 横6.0 厚さ0.3 重さ25.7	SK252		274-2
119	磁器・鉄製品	栓	縦8.8 横6.0 厚さ0.3 重さ30.6	SK252		
120	鉄製品	火格子	縦[8.9] 横[9.4] 厚さ0.7 重さ121.8	SK252		278-3
121	鉄製品	釘	長さ6.2 幅0.4 厚さ0.4 重さ3.4	SK252		
122	鉄製品	釘	長さ8.9 幅0.4 厚さ0.4 重さ3.3	SK252		
123	銅製品	煙管	長さ7.2 小口径1.2 口付径0.4 重さ7.9	SK337	吸口	273-1

瀬戸美濃系磁器の端反碗で、茶色の単色釉を全体に施す。内面の端反部分の稜は強い。397・398は瀬戸美濃系磁器の坏で、高台内に「九谷」の铭を有す。399は瀬戸美濃系磁器の小型の坏で、外面に花文や蝶文などが銅版転写で染付される。第235号土壤（第9区画・次年度以降に報告予定）の遺物に同サイズ・形態で「紅消」铭を有すものがあるので、本資料も红坏とみられる。

401は汽車土瓶である。類例から瀬戸・古藤製陶所製と考えられる（辻本2011）。406は施釉土器の羽釜である。内面から外面上位を施釉、底部以下は露胎で回転ケズリで仕上げる。この部分には煤が著しく多く付着する。胎土には微細な雲母を多く含む。409は瓦質土器の竈甥で、第210号土壤出土のものと接合した。第210号土壤は隣接しているが、直接の重複関係は認められない。破

損部に接近して、二次的な刻みを上面～側面に入れている部分がある。切断を意図した二次加工と考えられる。上面に刻印（「〇〇」）がある。

第473～475図100～114は金属製品である。このうち100は口すくいと考えられる。口すくいは「座縁などで糸を取る際に、口立等で煮繭の糸口を探し出し、それをすくい取る用具」とされる（日本民具学会編1997）。ただし、栗橋宿で養蚕をしていたかどうかは、この例だけでは判断できない。107～109は提灯の提げ金具、111は提灯の台座につけた金具と思われる。112も提灯の台座であろうか。第469図31は骨製品で鹿角を切断、穿孔する。

第224号土壤は西側調査区際で検出され、大部分は調査区外とみられる。南北長は3.25m以上である。第457図414～422に出土した陶磁器を

SK164



SK165



SK189



SK190



SK212



SK217



SK253



SK314

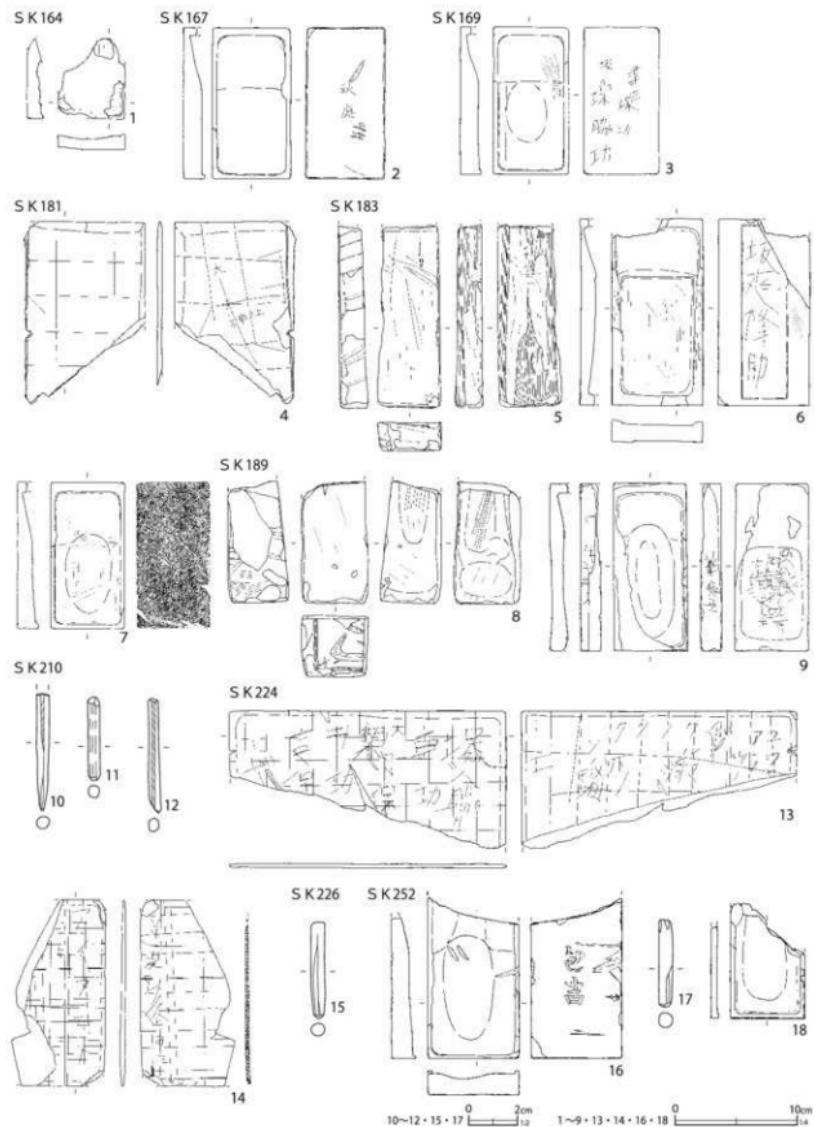


0 5cm

第475図 第5区画の土壤出土遺物(57)

第205表 第5区画の土壤出土遺物観察表(6)(第475図)

番号	種別	器種	法量	造構	備考	国版
1	銅製品	銭貨	径24.3 厚さ1.1 重さ3.2	SK164	寛永通寶(新)	
2	銅製品	銭貨	径28.2 厚さ1.3 重さ4.1	SK164	寛永通寶(新)11波	
3	銅製品	銭貨	径27.6 厚さ1.3 重さ4.4	SK164	寛永通寶(新)21波	
4	銅製品	銭貨	径26.7 厚さ0.9 重さ3.2	SK164	文久永寶	
5	銅製品	銭貨	径28.1 厚さ1.2 重さ4.4	SK165	寛永通寶(新)11波	
6	銅製品	銭貨	径24.9 厚さ1.1 重さ3.4	SK183	寛永通寶(新)背文	
7	銅製品	銭貨	径24.3 厚さ1.2 重さ3.1	SK183	寛永通寶(新)	
8	銅製品	銭貨	径24.0 厚さ1.7 重さ3.0	SK183	寛永通寶(新)	
9	銅製品	銭貨	径22.8 厚さ1.2 重さ3.3	SK186	桐一銭銅貨 大正七年	
10	銅製品	銭貨	径27.6 厚さ1.5 重さ6.7	SK189	龍一銭銅貨 明治十二年	
11	銅製品	銭貨	径27.6 厚さ1.4 重さ6.5	SK190	龍一銭銅貨 明治十八年	
12	銅製品	銭貨	径27.9 厚さ1.2 重さ4.4	SK212	寛永通寶(新)11波	
13	銅製品	銭貨	径23.8 厚さ1.1 重さ3.0	SK217	寛永通寶(古)	
14	銅製品	銭貨	径22.4 厚さ0.8 重さ1.8	SK253	寛永通寶(新)	
15	銅製品	御宝銭	縦4.1 横2.5 厚さ0.2 重さ8.4	SK253	江ノ島大神	279-5
16	銅製品	銭貨	径23.1 厚さ1.4 重さ2.4	SK314	寛永通寶(新)	



第476図 第5区画の土壤出土遺物 (58)

第206表 第5区画の土壤出土遺物観察表(7)(第476図)

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	重さ	石材	遺構	備考	図版
1	石製品	硯	[6.5]	[5.5]	-	56.3	石灰岩	SK164	器高1.3cm 朱墨・墨付着(内面)	282-7
2	石製品	硯	12.4	6.5	-	276.7	粘板岩	SK164	器高1.8cm 内面墨付着 表面刻書 刃物傷か	282-8
3	石製品	硯	12.1	5.2	-	266.8	粘板岩	SK169	器高1.2cm 内面墨付着 表面刻書	282-9
4	石製品	石板	[15.0]	[10.0]	0.4	115.0	粘板岩	SK181	両面界線あり 表面刻書 側面工具痕	282-10
5	石製品	砥石	[14.9]	5.2	2.3	330.1	流紋岩	SK183	ノコギリ痕 幅広工具痕 裏刃物痕 砥面3	282-11
6	石製品	硯	15.3	7.5	-	322.1	粘板岩	SK183	器高1.4cm 内面墨付着 潜欠失部内底面二次加工 裏面刻書	282-12
7	石製品	硯	12.0	6.1	-	205.8	粘板岩	SK183	器高1.7cm 内外面墨付着 裏面刻書	282-13
8	石製品	砥石	[10.0]	5.5	5.0	478.2	砂岩	SK189	未使用面に刻み 砥面3	
9	石製品	硯	13.7	6.1	-	265.1	粘板岩	SK189	器高1.7cm 側面黒色塗付物 側面・裏面刻書	282-14
10	石製品	石筆	[4.8]	径0.5	-	2.2	滑石	SK210	黄色味帯びる	284-2
11	石製品	石筆	3.4	径0.5	-	1.8	滑石	SK210		284-2
12	石製品	石筆	4.7	径0.5	-	2.4	滑石	SK210		284-2
13	石製品	石板	[11.2]	22.6	0.3	142.3	粘板岩	SK224	両面界線あり・刻書	282-15
14	石製品	石板	15.2	[7.7]	0.4	88.4	粘板岩	SK224	両面界線あり・刻書 側面工具痕	283-1
15	石製品	石筆	3.9	径0.5	-	2.7	滑石	SK226	白色不透明	284-2
16	石製品	硯	[13.1]	7.5	-	259.4	凝灰岩	SK252	器高2.0cm 内面墨付着 中央部凹み 裏面刻書 「包吉」	283-3
17	石製品	石筆	3.6	径0.6	-	1.3	滑石	SK252	白色不透明	284-2
18	石製品	硯	[9.4]	6.1	-	62.3	粘板岩	SK252	器高0.6cm	

示す。このうち、414は瀬戸美濃系陶器の徳利で鉄絵で、「新中屋」の文字と、店印と見られる模様を描く。415は白色土器質の陶器で、京都産の涼炉である。420は瓦質土器の竈鍔で、上面に「 \ominus 岩崎」の刻印を3つ連ねる。

第252号土壤は区画中央部よりやや南東に位置し、長軸2.25mの隅丸長方形を呈する。第458～460図424～454に出土した陶磁器を示す。このうち427は、古河市の増田屋・西村辨蔵家に関わる酒杯である。第188号土壤の解説も参照されたい。434は外面に「いなりや」銘を有す「すず徳利」で、鉄漿壺に転用されている。

第474図116～122は金属製品である。116は「がま口」の口金で、内部を2つに仕切るための金具がつく。固定するための金具がついた磁器製の栓である。117は雨樋を受けるために軒下に固定した金具で完形である。装着部分と受け部は幅広の面が縦から横に90度変わる。

第253号土壤は、区画中央の北東に位置し、長

軸1.35mの不整形を呈する。

第461図455～460に出土した陶磁器を示す。455は高台内に「東洋軒平八製」銘を有す磁器碗である。458は肥前系磁器で小型の壺である。高台は非常に小さい。紅坏であろうか。

第475図15は江ノ島大神の御宝鏡である。モチーフは、江島神社(藤沢市江の島)の祭神である弁財天女であろう。鏡と香炉を手にしている。

第314号土壤は、区画のほぼ中央に位置するが、多くの土壤と重複して平面形は不明瞭である。長軸2.25mほどである。第461・462図461～476に出土した陶磁器を示す。

第337号土壤は区画東部で検出された南北に長い土壤で、長軸3.70mの不整形を呈する。第462図477～483に出土した陶磁器を示す。このうち、482は瀬戸美濃系陶器の鉄軸の耳付き水注で、17世紀に遡るものと考えられる。非掲載の陶磁器には糠白釉を掛けた陶器土瓶があり、本跡は栗橋8期頃に帰属する可能性が高い。